

第2章 障害者等の状況

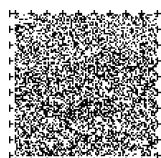
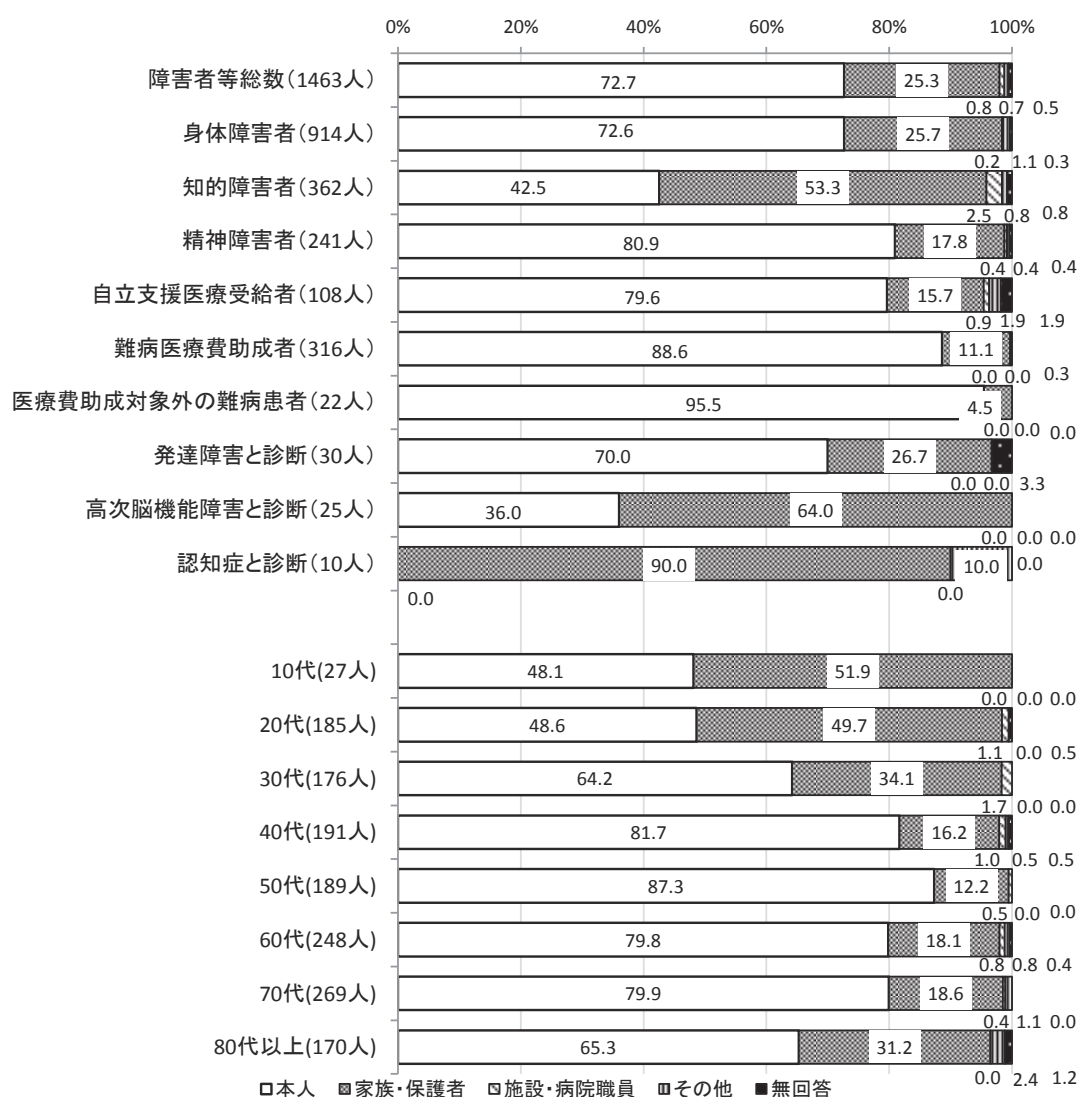
1 基本的属性

(1) 記入者

記入者を障害別にみると、知的障害者、高次脳機能障害と診断された人、認知症と診断された人を除く全ての障害で「本人」の割合が70.0～95.5%と高くなっている。一方、知的障害者、高次脳機能障害と診断された人は「家族・保護者」がそれぞれ53.3%、64.0%となっている。

年代別にみると、10代、20代以外の年代で「本人」が64.2～87.3%と高くなっている。一方、10代、20代では「家族・保護者」がそれぞれ51.9%、49.7%となっている。

図表 2-1 記入者〔単数回答〕(Q1) - 障害別、年代別

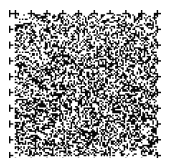
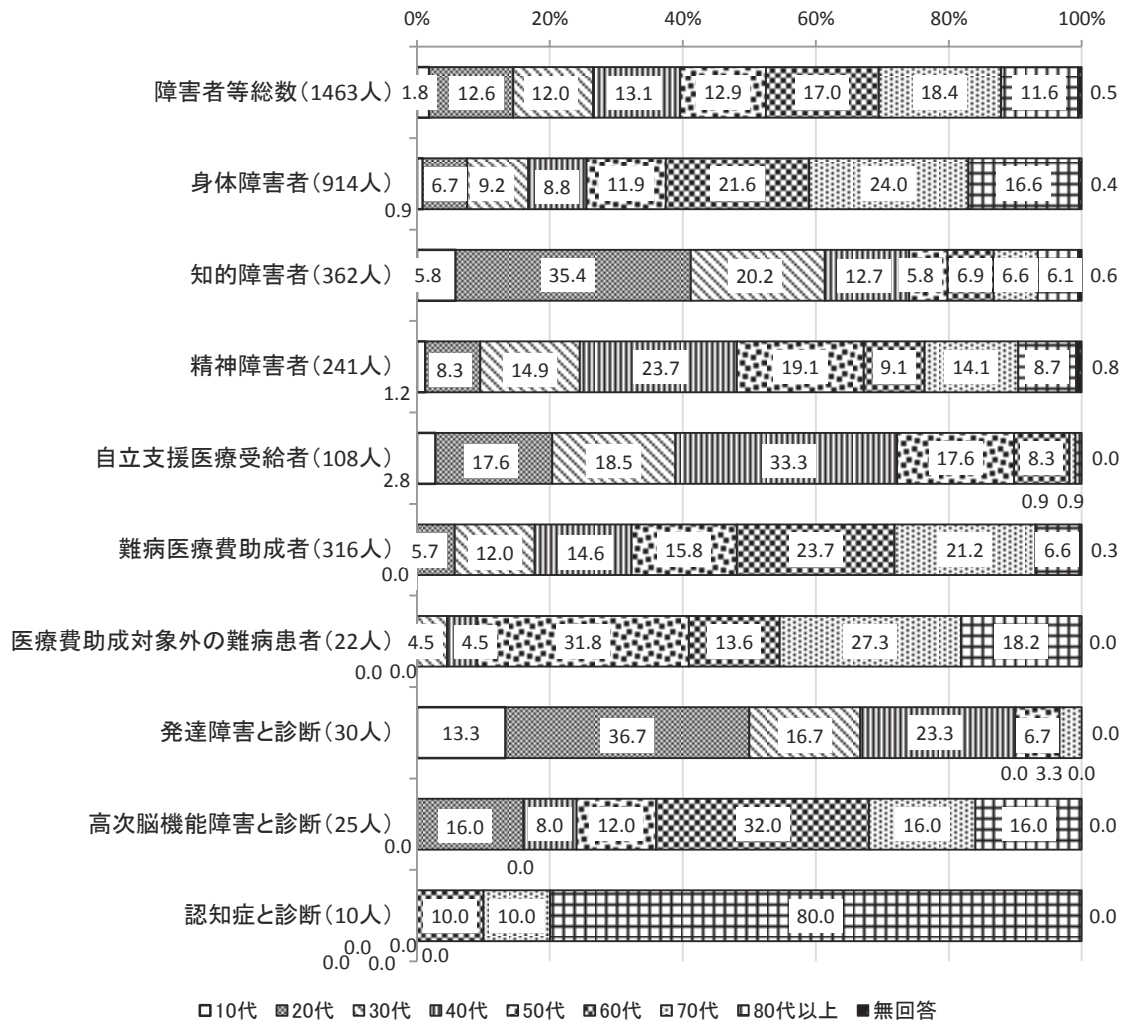


(2) 年齢階級

年齢階級は、「70代」の割合が最も高く18.4%、次いで「60代」（17.0%）となっている。

障害別にみると、障害によってばらつきがみられ、身体障害者、難病医療費助成者は「60代以上」がそれぞれ62.2%、51.5%と半数を占めているのに対し、知的障害者は「20代」、「30代」が55.6%、精神障害者は「40代まで」が48.1%と、約半数を占めている。

図表 2-2 年齢階級〔数値回答〕(Q2) - 障害別



(3) 現在の生活の場所

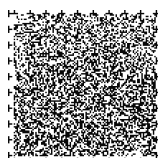
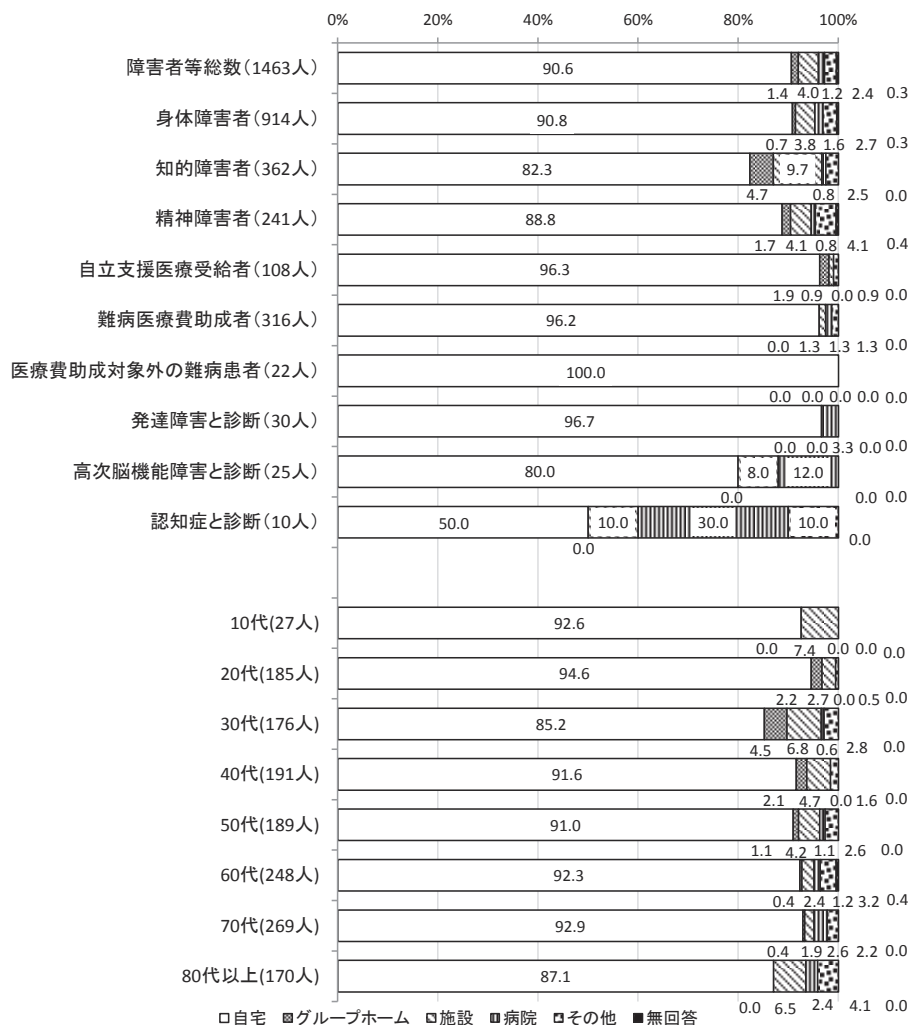
「施設」の割合は、知的障害者（9.7%）、高次脳機能障害と診断された人（8.0%）、認知症と診断された人（10.0%）で高く、「病院」の割合は高次脳機能障害と診断された人（12.0%）、認知症と診断された人（30.0%）で高い

現在の生活の場所をみると、「自宅」が90.6%、「グループホーム」が1.4%、「施設」が4.0%、「病院」が1.2%となっている。

障害別にみると、どの障害においても、「自宅」の割合が最も高くなっている。その他、身体障害者や精神障害者は「施設」（それぞれ3.8%、4.1%）が、知的障害者は「グループホーム」（4.7%）、「施設」（9.7%）が他に比べて高くなっている。

年代別にみると、どの年代も「自宅」の割合が最も高くなっている。その他、30代は「グループホーム」（4.5%）が他の年代に比べて高い。

図表 2-3 現在の生活の場所〔単数回答〕(Q3) - 障害別、年代別



(4) 現在一緒に生活している人

「配偶者（夫、妻）」と生活している割合は、難病医療費助成者（63.0%）、身体障害者（47.3%）で高く、「親」と生活している割合は、知的障害者（64.9%）、自立支援医療受給者（44.4%）、発達障害と診断された人（80.0%）で高い

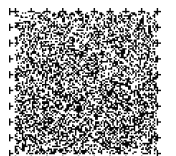
「親」と生活している割合は、10代（88.9%）、20代（82.2%）で高く、「配偶者（夫、妻）」と生活している割合は、60代（64.5%）、70代（65.8%）で高い

現在一緒に生活している人は、「配偶者（夫、妻）」の割合が41.1%と最も高く、次いで「親」28.3%、「子供」24.1%となっている。

障害別にみると、身体障害者や難病医療費助成者は、「配偶者（夫、妻）」（それぞれ47.3%、63.0%）、「子供」（27.7%、35.4%）、知的障害者は「親」（64.9%）、「兄弟姉妹」（32.9%）、精神障害者は「一人で暮らしている」（25.3%）、自立支援医療受給者は「親」（44.4%）、発達障害と診断された人は「親」（80.0%）の割合が高くなっている。年代別にみると、「親」と一緒に生活している割合は年齢が上がるにつれ低くなる一方で、「配偶者（夫、妻）」は70代までで年齢が上がるにつれ高くなっている。

図表 2-4 現在一緒に生活している人〔複数回答〕（Q4）－障害別、年代別

	総数	親	配偶者 (夫、妻)	子供	兄弟姉 妹	その他 の親族	一人で 暮らしている	その他	無回答	
障害者等総数	1463	414	601	352	171	46	260	91	12	
	100.0	28.3	41.1	24.1	11.7	3.1	17.8	6.2	0.8	
Q 29 保有している手帳 難病医療費助成、 障害の診断	身体障害者	914	173	432	253	70	31	177	45	7
		100.0	18.9	47.3	27.7	7.7	3.4	19.4	4.9	0.8
	知的障害者	362	235	38	24	119	17	29	52	3
		100.0	64.9	10.5	6.6	32.9	4.7	8.0	14.4	0.8
	精神障害者	241	80	71	42	15	8	61	15	2
		100.0	33.2	29.5	17.4	6.2	3.3	25.3	6.2	0.8
	自立支援医療受 給者	108	48	22	17	14	4	31	7	0
		100.0	44.4	20.4	15.7	13.0	3.7	28.7	6.5	0.0
	難病医療費助成 者	316	42	199	112	12	8	50	11	2
	100.0	13.3	63.0	35.4	3.8	2.5	15.8	3.5	0.6	
医療費助成対象 外の難病患者	22	0	13	9	0	2	3	0	0	
	100.0	0.0	59.1	40.9	0.0	9.1	13.6	0.0	0.0	
発達障害と診断	30	24	1	2	9	2	3	2	0	
	100.0	80.0	3.3	6.7	30.0	6.7	10.0	6.7	0.0	
高次脳機能障害 と診断	25	5	14	7	3	2	0	2	1	
	100.0	20.0	56.0	28.0	12.0	8.0	0.0	8.0	4.0	
認知症と診断	10	0	3	4	1	0	0	1	1	
	100.0	0.0	30.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	
Q 2 年代	10代	27	24	0	0	16	3	0	3	0
		100.0	88.9	0.0	0.0	59.3	11.1	0.0	11.1	0.0
	20代	185	152	6	3	91	15	17	14	0
		100.0	82.2	3.2	1.6	49.2	8.1	9.2	7.6	0.0
	30代	176	95	32	17	26	1	29	20	2
		100.0	54.0	18.2	9.7	14.8	0.6	16.5	11.4	1.1
	40代	191	83	58	42	8	2	33	11	0
		100.0	43.5	30.4	22.0	4.2	1.0	17.3	5.8	0.0
50代	189	44	92	64	12	4	36	12	0	
	100.0	23.3	48.7	33.9	6.3	2.1	19.0	6.3	0.0	
60代	248	14	160	83	12	5	51	14	2	
	100.0	5.6	64.5	33.5	4.8	2.0	20.6	5.6	0.8	
70代	269	0	177	80	3	5	55	7	2	
	100.0	0.0	65.8	29.7	1.1	1.9	20.4	2.6	0.7	
80代以上	170	0	75	62	3	11	39	9	2	
	100.0	0.0	44.1	36.5	1.8	6.5	22.9	5.3	1.2	



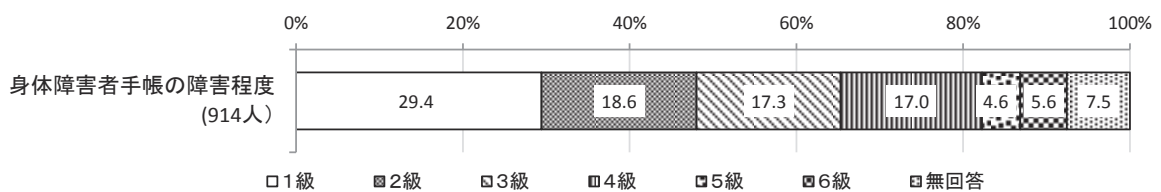
(5) 身体障害者手帳の障害程度

※「身体障害者手帳を持っている」と回答した 914 人が対象

身体障害者手帳の障害程度は、「1級」(29.4%)、「2級」(18.6%)、「3級」(17.3%)、「4級」(17.0%)が高い

身体障害者手帳の障害程度は、「1級」が 29.4%と最も高く、次いで「2級」(18.6%)、「3級」(17.3%)、「4級」(17.0%)となっている。

図表 2-5 身体障害者手帳の障害程度〔単数回答〕(Q30①)



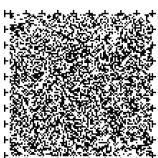
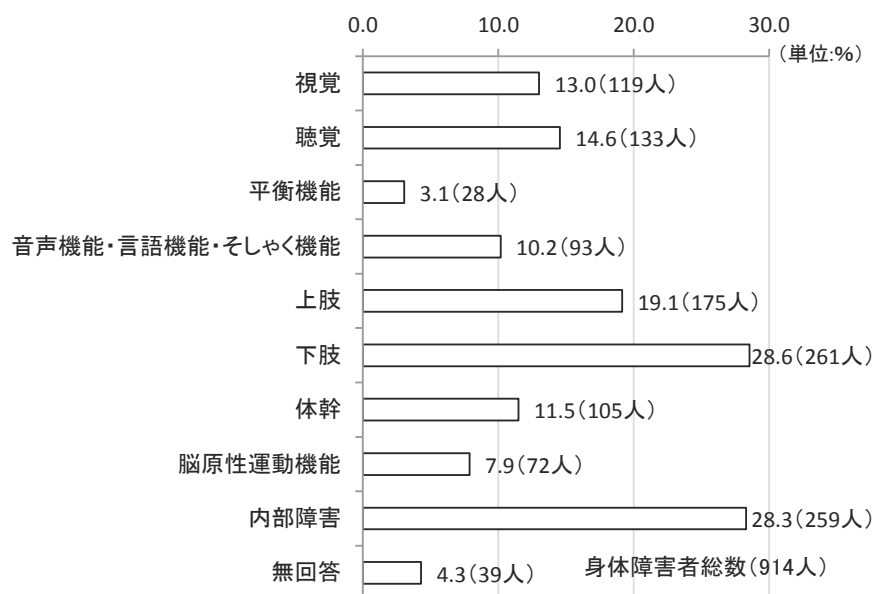
(6) (身体障害者) 障害の種類

※「身体障害者手帳を持っている」と回答した 914 人が対象

身体障害者の障害種類は、「下肢」(28.6%)、「内部障害」(28.3%)、「上肢」(19.1%)、「聴覚」(14.6%)、「視覚」(13.0%)が高い

身体障害者の障害種類は、「下肢」が 28.6%と最も高く、次いで「内部障害」(28.3%)、「上肢」(19.1%)、「聴覚」(14.6%)、「視覚」(13.0%)となっている。

図表 2-6 (身体障害者) 障害の種類〔複数回答〕(Q30②)



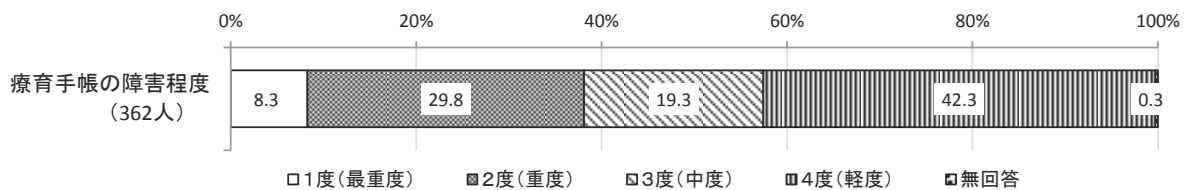
(7) 療育手帳の障害程度

※「療育手帳を持っている」と回答した 362 人が対象

療育手帳の障害程度は、「4度(軽度)」(42.3%)が約4割。次いで「2度(重度)」(29.8%)、「3度(中度)」(19.3%)、「1度(最重度)」(8.3%)となっている

療育手帳を持っている人の障害程度は、「4度(軽度)」が42.3%と最も高い。次いで「2度(重度)」(29.8%)、「3度(中度)」(19.3%)、「1度(最重度)」(8.3%)となっている。

図表 2-7 療育手帳の障害程度〔単数回答〕(Q31)



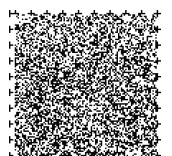
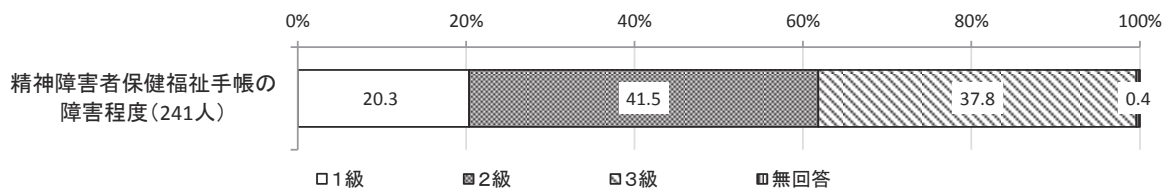
(8) 精神障害者保健福祉手帳の障害程度

※「精神障害者保健福祉手帳を持っている」と回答した 241 人が対象

精神障害者保健福祉手帳の障害程度は、「2級」(41.5%)と「3級」(37.8%)が各4割前後。「1級」(20.3%)が2割となっている

精神障害者保健福祉手帳を持っている人の障害程度は、「2級」が41.5%と最も高く、次いで「3級」(37.8%)、「1級」(20.3%)となっている。

図表 2-8 精神障害者保健福祉手帳の障害程度〔単数回答〕(Q32)



(9) 障害者になった時期

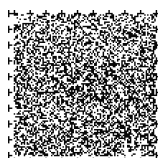
障害者になった時期は、出生時が 17.8%、出生後が 73.0%
 障害別では、知的障害者は「出生時～10代」が7割以上、精神障害者は「10代～30代」
 が4割を占めており、他の障害に比べて、障害になった年齢が低い

障害者になった時期については、出生時が 17.8%、出生後が 73.0%で、中でも 60代以上が 24.3%を占める。

障害別にみると、身体障害者は「50代～70代」が、知的障害者は「出生時～10代」が、精神障害者は「10代～30代」が、自立支援医療受給者は「20代～30代」が、難病医療費助成者は「20代～30代」と「50代」が、発達障害と診断されている人は「20代」が他の障害に比べて高くなっている。

図表 2-9 障害者になった時期〔単数回答、数値回答〕(Q33) - 障害別

	総数	出生時	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	時期不明	無回答
障害者等総数	1463	261	121	80	107	102	134	161	180	138	38	7	134
	100.0	17.8	8.3	5.5	7.3	7.0	9.2	11.0	12.3	9.4	2.6	0.5	9.2
身体障害者	914	142	80	24	38	42	89	120	156	122	36	7	58
	100.0	15.5	8.8	2.6	4.2	4.6	9.7	13.1	17.1	13.3	3.9	0.8	6.3
知的障害者	362	173	65	34	7	8	7	9	15	15	4	3	22
	100.0	47.8	18.0	9.4	1.9	2.2	1.9	2.5	4.1	4.1	1.1	0.8	6.1
精神障害者	241	28	7	23	42	35	31	17	21	22	2	4	9
	100.0	11.6	2.9	9.5	17.4	14.5	12.9	7.1	8.7	9.1	0.8	1.7	3.7
自立支援医療受給者	108	14	10	8	20	26	16	7	2	1	0	1	3
	100.0	13.0	9.3	7.4	18.5	24.1	14.8	6.5	1.9	0.9	0.0	0.9	2.8
難病医療費助成者	316	5	5	14	32	38	37	51	43	28	6	1	56
	100.0	1.6	1.6	4.4	10.1	12.0	11.7	16.1	13.6	8.9	1.9	0.3	17.7
医療費助成対象外の難病患者	22	1	1	0	2	1	3	5	2	3	1	0	3
	100.0	4.5	4.5	0.0	9.1	4.5	13.6	22.7	9.1	13.6	4.5	0.0	13.6
発達障害と診断	30	8	5	3	6	2	2	0	1	0	0	0	3
	100.0	26.7	16.7	10.0	20.0	6.7	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	10.0
高次脳機能障害と診断	25	1	0	1	1	0	4	5	8	4	0	0	1
	100.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	16.0	20.0	32.0	16.0	0.0	0.0	4.0
認知症と診断	10	0	1	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0
	100.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0



(10) 外出時に利用しているサービス・手段

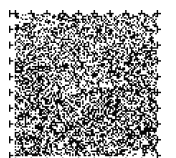
外出時に利用しているサービス・手段は、「補装具を使用している」が 26.2%、「外出支援を利用している」が 14.8%、「特にない」が 58.9%
 身体障害者は「補装具を使用している」(38.8%)、知的障害者は「外出支援を利用している」(32.6%) で高い。一方、「特にない」は、自立支援医療受給者、難病医療費助成者で7割を超える

現在、外出時に利用しているサービス・手段は、「補装具（車椅子、義肢、杖、白杖、補聴器など）を使用している」が 26.2%、「外出支援（同行援護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、盲ろう者通訳・介助者派遣など）を利用している」が 14.8%となっている。一方、「特にない」が 58.9%となっている。

障害別にみると、身体障害者は「補装具（車椅子、義肢、杖、白杖、補聴器など）を使用している」(38.8%) が、知的障害者は「外出支援（同行援護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、盲ろう者通訳・介助者派遣など）を利用している」(32.6%) が高くなっている。一方、「特にない」は、自立支援医療受給者（77.8%）、難病医療費助成者（71.2%）で7割を超えている。

図表 2-10 外出時に利用しているサービス・手段〔複数回答〕(Q34) - 障害別

	総数	外出支援(同行援護、 重度訪問介護、行動 援護、移動支援、盲 ろう者通訳・介助者派 遣など)を利用している	補装具(車椅子、義 肢、杖、白杖、補聴 器など)を使用している	補助犬(盲導犬、介 助犬、聴導犬)と一 緒に外出している	特にな い	無回 答
障害者等総数	1463 100.0	217 14.8	384 26.2	1 0.1	862 58.9	103 7.0
身体障害者	914 100.0	155 17.0	355 38.8	1 0.1	445 48.7	54 5.9
知的障害者	362 100.0	118 32.6	92 25.4	0 0.0	180 49.7	16 4.4
精神障害者	241 100.0	36 14.9	49 20.3	0 0.0	160 66.4	15 6.2
自立支援医療受給者	108 100.0	12 11.1	15 13.9	0 0.0	84 77.8	3 2.8
難病医療費助成者	316 100.0	20 6.3	53 16.8	0 0.0	225 71.2	30 9.5
医療費助成対象外 の難病患者	22 100.0	4 18.2	7 31.8	0 0.0	12 54.5	2 9.1
発達障害と診断	30 100.0	1 3.3	4 13.3	0 0.0	23 76.7	2 6.7
高次脳機能障害と 診断	25 100.0	5 20.0	10 40.0	0 0.0	9 36.0	4 16.0
認知症と診断	10 100.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0



(11) 収入を伴う仕事の有無

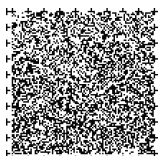
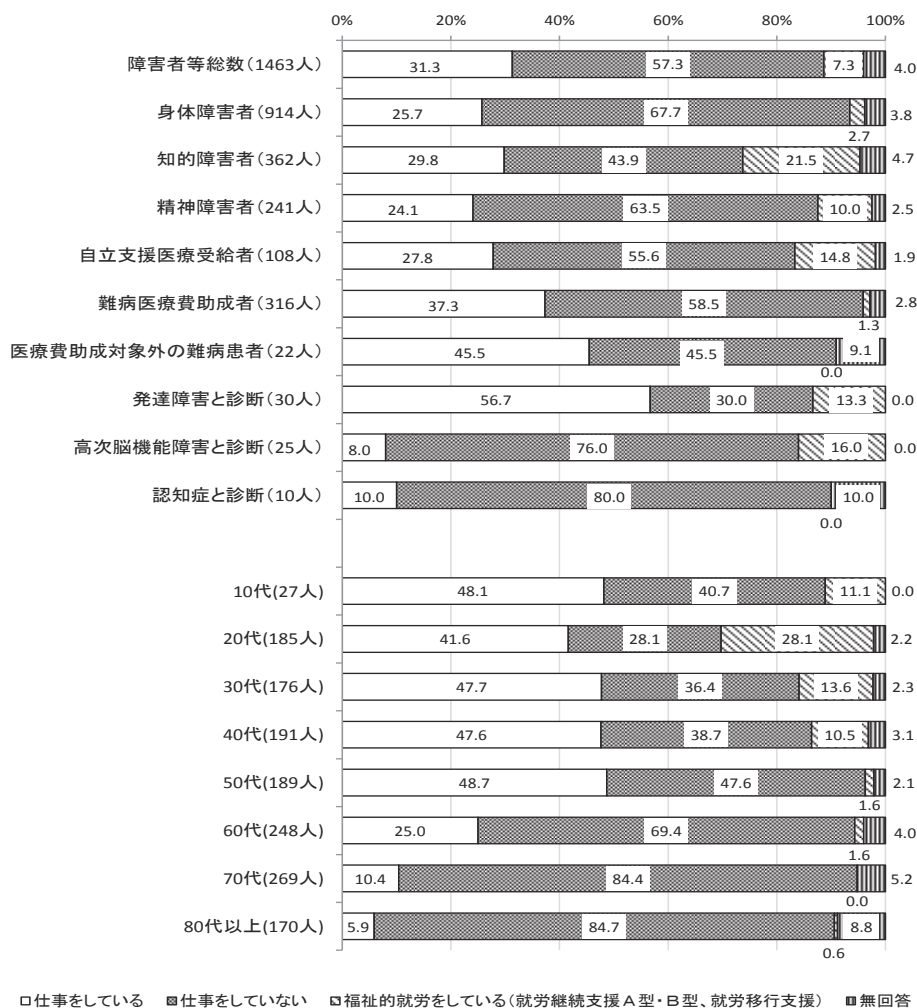
「仕事をしている」人は31.3%、「福祉的就労をしている」人は7.3%
 障害別では、難病医療費助成者は「仕事をしている」(37.3%)が、身体障害者は「仕事をしていない」(67.7%)、知的障害者は「福祉的就労をしている」(21.5%)が高い
 年代別では、50代までは「仕事をしている」が、「仕事をしていない」は60代以上で、20代で「福祉的就労をしている」が比較的高い

平成28年7月1日時点での収入を伴う仕事の有無は、「仕事をしている」が31.3%、「福祉的就労をしている(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)」が7.3%で、一方「仕事をしていない」が57.3%となっている。

障害別にみると、身体障害者は「仕事をしていない」(67.7%)、知的障害者や自立支援医療受給者は「福祉的就労をしている(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)」(21.5%、14.8%)が、難病医療費助成者は「仕事をしている」(37.3%)が高くなっている。

年代別にみると、50代までが「仕事をしている」が、20代は「福祉的就労をしている(就労継続支援A型・B型、就労移行支援)」が高くなっている。一方「仕事をしていない」は60代以上で7、8割となっている。

図表 2-11 収入を伴う仕事の有無〔単数回答〕(Q35)－障害別、年代別



(12) 平日の日中、主に過ごした場所

平日の日中、主に過ごした場所として、「自分の家」が 52.2%、「職場（一般企業など）」が 22.8%

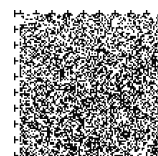
障害別では、身体障害者や精神障害者、難病医療費助成者で「自分の家」が、知的障害者で「職場（一般企業など）」と「職場（福祉的就労の施設）」、「通所施設」の割合が高い

年代別では 50 代以上で「自分の家」の割合が高い

この 1 年間で平日の日中、主に過ごした場所は、「自分の家」が 52.2%と最も高く、次いで「職場（一般企業など）」が 22.8%となっている。

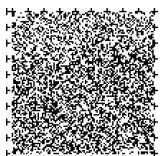
障害別にみると、身体障害者や精神障害者、難病医療費助成者は「自分の家」（60.2%、60.2%、63.0%）が高く、知的障害者は「職場（一般企業など）」（23.2%）、「職場（福祉的就労の施設）」（22.4%）、「通所施設」（20.7%）が高くなっている。

年代別にみると、「自分の家」は 50 代以上で 5 割を超えている。また、「職場（一般企業など）」は 50 代までで 3、4 割となっている。「職場（福祉的就労の施設）」は 20 代で高くなっている。



図表 2-12 平日の日中、主に過ごした場所〔単数回答〕(Q36)－障害別、年代別

	総数	自分の家	職場（一般企業など）	職場（福祉的就労の施設）（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）	学校	通所施設（生活介護、デイケアなど）	入所施設	その他	無回答	
障害者等総数	1463	763	334	108	18	122	57	36	25	
	100.0	52.2	22.8	7.4	1.2	8.3	3.9	2.5	1.7	
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	914	550	167	32	83	37	25	12	
		100.0	60.2	18.3	3.5	0.9	9.1	4.0	2.7	1.3
	知的障害者	362	73	84	81	6	75	31	9	3
		100.0	20.2	23.2	22.4	1.7	20.7	8.6	2.5	0.8
	精神障害者	241	145	42	17	2	15	8	9	3
		100.0	60.2	17.4	7.1	0.8	6.2	3.3	3.7	1.2
	自立支援医療受給者	108	57	27	15	1	6	1	1	0
		100.0	52.8	25.0	13.9	0.9	5.6	0.9	0.9	0.0
難病医療費助成者	316	199	84	6	4	10	3	9	1	
	100.0	63.0	26.6	1.9	1.3	3.2	0.9	2.8	0.3	
医療費助成対象外の難病患者	22	13	7	0	0	1	0	0	1	
	100.0	59.1	31.8	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	
発達障害と診断	30	8	12	4	2	1	1	2	0	
	100.0	26.7	40.0	13.3	6.7	3.3	3.3	6.7	0.0	
高次脳機能障害と診断	25	11	1	4	0	4	2	3	0	
	100.0	44.0	4.0	16.0	0.0	16.0	8.0	12.0	0.0	
認知症と診断	10	4	1	0	0	1	3	1	0	
	100.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	
Q 2 年代	10代	27	2	9	3	7	5	1	0	0
		100.0	7.4	33.3	11.1	25.9	18.5	3.7	0.0	0.0
	20代	185	22	63	51	10	31	3	3	2
		100.0	11.9	34.1	27.6	5.4	16.8	1.6	1.6	1.1
	30代	176	38	69	25	1	29	11	3	0
		100.0	21.6	39.2	14.2	0.6	16.5	6.3	1.7	0.0
	40代	191	70	77	20	0	11	7	4	2
		100.0	36.6	40.3	10.5	0.0	5.8	3.7	2.1	1.0
50代	189	97	69	4	0	8	6	3	2	
	100.0	51.3	36.5	2.1	0.0	4.2	3.2	1.6	1.1	
60代	248	172	36	4	0	15	6	10	5	
	100.0	69.4	14.5	1.6	0.0	6.0	2.4	4.0	2.0	
70代	269	225	9	1	0	11	9	8	6	
	100.0	83.6	3.3	0.4	0.0	4.1	3.3	3.0	2.2	
80代以上	170	132	2	0	0	12	13	5	6	
	100.0	77.6	1.2	0.0	0.0	7.1	7.6	2.9	3.5	



2 スポーツや運動について

(1) この1年間に行ったスポーツ

この1年間に「スポーツを行った」人は、68.9%
 医療費助成対象外の難病患者と認知症と診断された人以外の障害で62.7~73.4%
 年代が若いほど、スポーツを行った人の割合が高い
 行ったスポーツとしては、「ウォーキング、散歩」、「体操」の割合が高い

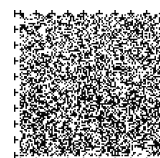
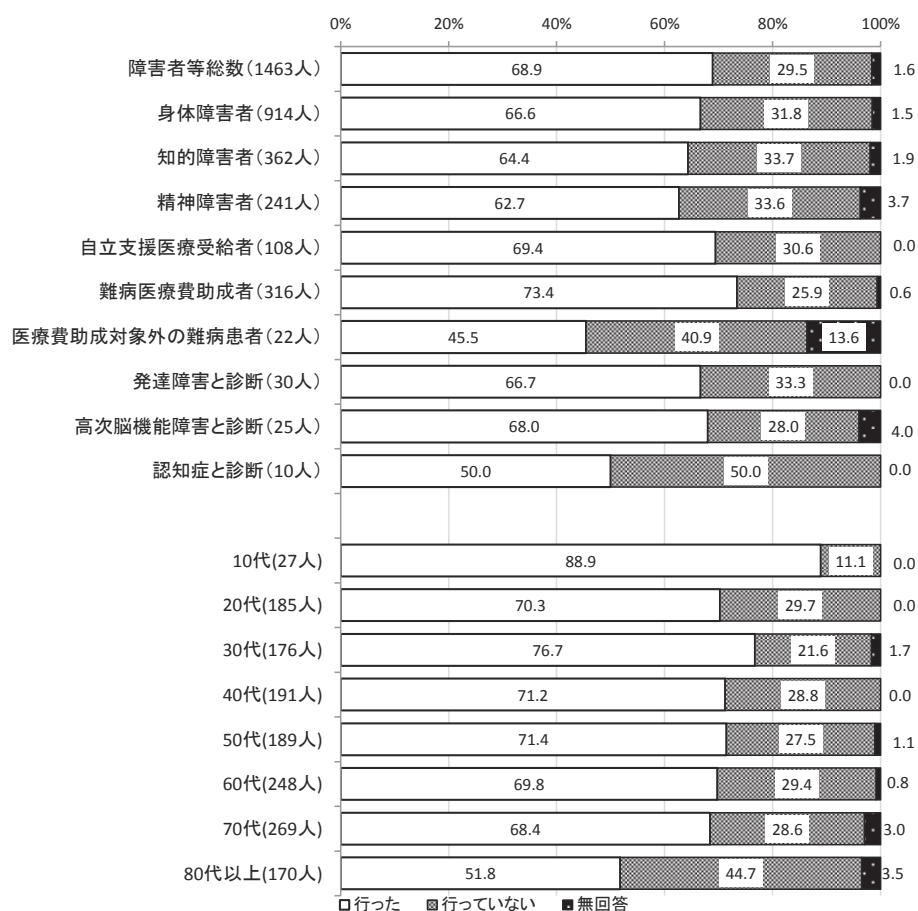
この1年間に何らかのスポーツを行った人は68.9%となっている。

障害別にみると、医療費助成対象外の難病患者（45.5%）と認知症と診断された人（50.0%）を除く、どの障害の人でも62.7~73.4%がスポーツを行っている。

年代別にみると、スポーツを行っている割合は年代が若い方が高く、10代で88.9%となっている一方で、80代以上ではスポーツを行っている人は51.8%にとどまる。

スポーツの種類としては、医療費助成対象外の難病患者と認知症と診断された人以外の障害では「ウォーキング、散歩」、「体操」を挙げる人の割合が高い。その他、知的障害者では「陸上競技」、「水泳・遊泳」、「球技」、「ダンス」を挙げる人の割合が他の障害に比べて高くなっている。

図表 2-13 この1年間にスポーツを行ったか〔単数回答〕(Q5) - 障害別、年代別

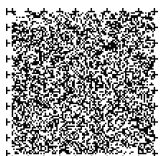


図表 2-14 この1年間に行ったスポーツ〔複数回答〕(Q5) - 障害別

	総数	行った								
		ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	
障害者等総数	1463	1008	800	437	225	68	155	107	66	2
	100.0	68.9	54.7	29.9	15.4	4.6	10.6	7.3	4.5	0.1
身体障害者	914	609	486	247	139	27	77	57	26	0
	100.0	66.6	53.2	27.0	15.2	3.0	8.4	6.2	2.8	0.0
知的障害者	362	233	173	84	32	27	64	38	29	0
	100.0	64.4	47.8	23.2	8.8	7.5	17.7	10.5	8.0	0.0
精神障害者	241	151	116	61	28	10	18	10	10	1
	100.0	62.7	48.1	25.3	11.6	4.1	7.5	4.1	4.1	0.4
自立支援医療受給者	108	75	65	31	12	8	15	6	4	0
	100.0	69.4	60.2	28.7	11.1	7.4	13.9	5.6	3.7	0.0
難病医療費助成者	316	232	190	127	67	13	25	27	10	1
	100.0	73.4	60.1	40.2	21.2	4.1	7.9	8.5	3.2	0.3
医療費助成対象外の難病患者	22	10	6	6	4	1	1	0	1	0
	100.0	45.5	27.3	27.3	18.2	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
発達障害と診断	30	20	17	5	3	2	3	1	3	0
	100.0	66.7	56.7	16.7	10.0	6.7	10.0	3.3	10.0	0.0
高次脳機能障害と診断	25	17	13	11	7	1	2	2	0	0
	100.0	68.0	52.0	44.0	28.0	4.0	8.0	8.0	0.0	0.0
認知症と診断	10	5	1	3	3	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	10.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	行った								
		武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ	スカイスポーツ	アウトドアスポーツ	サイクリング、モータースポーツ	ブラインドサッカー	車いすテニス
障害者等総数	1463	4	12	30	11	0	72	55	0	0
	100.0	0.3	0.8	2.1	0.8	0.0	4.9	3.8	0.0	0.0
身体障害者	914	0	5	9	7	0	42	34	0	0
	100.0	0.0	0.5	1.0	0.8	0.0	4.6	3.7	0.0	0.0
知的障害者	362	0	2	10	2	0	12	10	0	0
	100.0	0.0	0.6	2.8	0.6	0.0	3.3	2.8	0.0	0.0
精神障害者	241	2	2	4	2	0	8	9	0	0
	100.0	0.8	0.8	1.7	0.8	0.0	3.3	3.7	0.0	0.0
自立支援医療受給者	108	0	2	0	1	0	6	4	0	0
	100.0	0.0	1.9	0.0	0.9	0.0	5.6	3.7	0.0	0.0
難病医療費助成者	316	1	6	11	2	0	18	11	0	0
	100.0	0.3	1.9	3.5	0.6	0.0	5.7	3.5	0.0	0.0
医療費助成対象外の難病患者	22	0	0	0	0	0	2	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0
発達障害と診断	30	0	0	0	0	0	1	4	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	13.3	0.0	0.0
高次脳機能障害と診断	25	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0
認知症と診断	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	行った						行っていない	無回答
		サウンドテーブルテニス	シットイングバレーボール	車椅子バスケットボール	ウィルチェアーラグビー	ボッチャ	その他		
障害者等総数	1463	2	1	0	0	11	84	431	24
	100.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.8	5.7	29.5	1.6
身体障害者	914	2	1	0	0	7	54	291	14
	100.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.8	5.9	31.8	1.5
知的障害者	362	0	0	0	0	7	28	122	7
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	7.7	33.7	1.9
精神障害者	241	0	0	0	0	3	6	81	9
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.5	33.6	3.7
自立支援医療受給者	108	0	0	0	0	2	2	33	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	30.6	0.0
難病医療費助成者	316	1	1	0	0	0	14	82	2
	100.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	4.4	25.9	0.6
医療費助成対象外の難病患者	22	0	0	0	0	0	1	9	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	40.9	13.6
発達障害と診断	30	0	0	0	0	0	1	10	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	33.3	0.0
高次脳機能障害と診断	25	0	0	0	0	0	2	7	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	28.0	4.0
認知症と診断	10	0	0	0	0	0	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0



(2) この1年間にスポーツを行った頻度

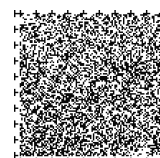
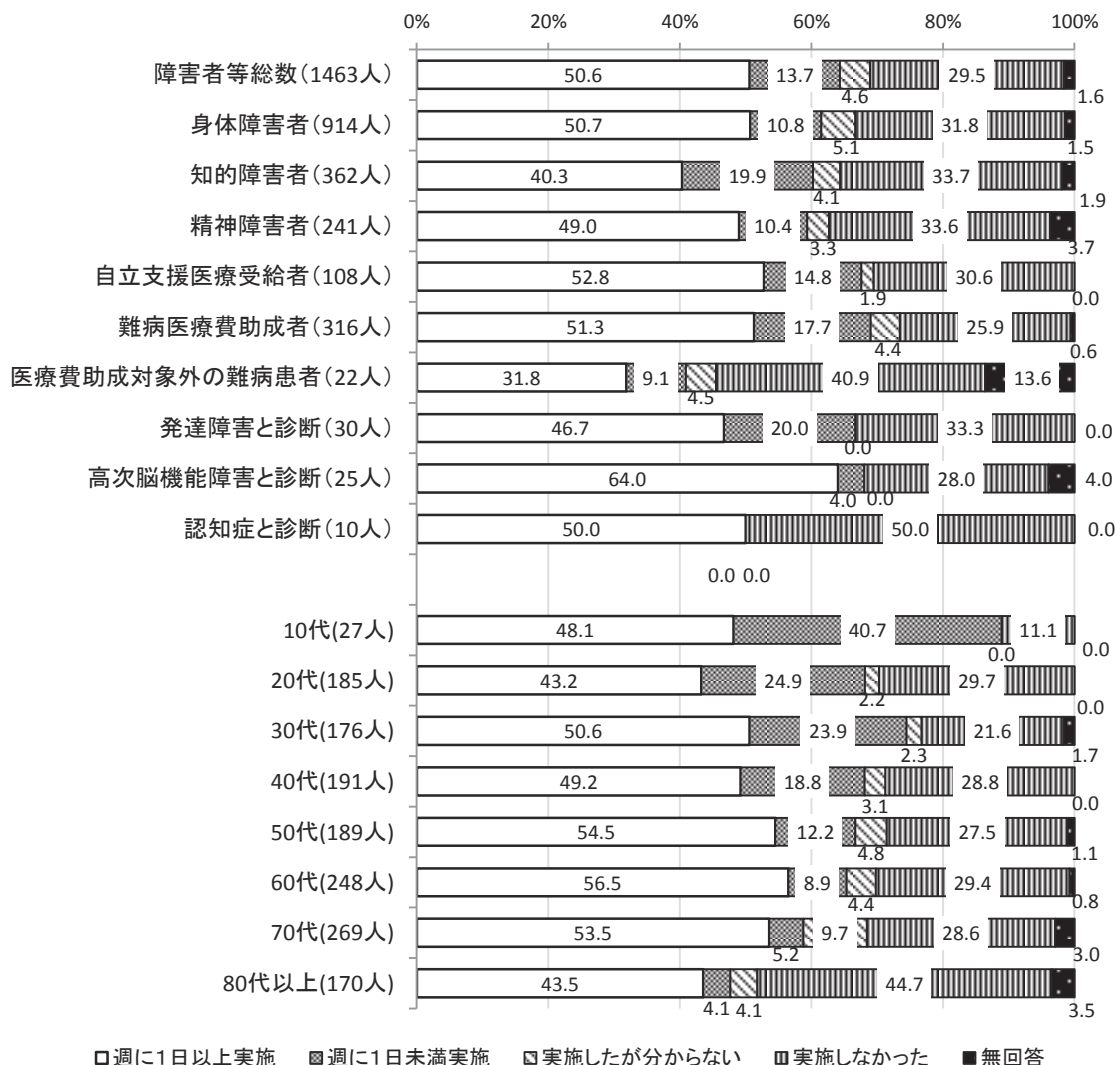
スポーツを行った頻度は、「週に1日以上」が50.6%、「週に1日未満」が13.7%
 おおむねどの障害も「週に1日以上」が半数前後を占める
 また、60代は「週に1日以上」(56.5%)でやや高い

この1年間にスポーツを行った頻度をみると、「週に1日以上」が50.6%、「週に1日未満」が13.7%となっている。一方、「実施しなかった」が29.5%となっている。

障害別にみると、大きな違いはみられず、おおむねどの障害も半数前後が「週に1日以上」としているものの、知的障害者は「週に1日未満」(19.9%)が他の障害に比べて高くなっている。

年代別にみると、大きな違いはみられないものの、「週に1日以上」スポーツを行っている人は、60代(56.5%)でやや高くなっている。

図表 2-15 この1年間にスポーツを行った頻度〔単数回答〕(Q6) - 障害別、年代別



(3) スポーツや運動を行った場所

※この1年間に何らかのスポーツや運動を行ったことがあると回答した1008人が対象

スポーツや運動を行った場所は「道路や遊歩道」(50.9%)、「自宅」(28.9%)、「広場や公園」(24.5%)が高い

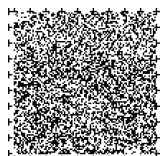
スポーツを行った場所をみると、「道路や遊歩道」が50.9%と最も高く、次いで「自宅」(28.9%)、「広場や公園」(24.5%)となっている。

障害別にみると、上位に挙がっている場所に違いはみられないものの、知的障害者では「公共のスポーツ施設(障害者専用施設)」(13.7%)、「公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)」(23.6%)、「福祉施設」(17.2%)の割合が他の障害に比べて高くなっている。

図表 2-16 スポーツや運動を行った場所〔複数回答〕(Q7) - 障害別

	総数	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	公立小中学校の体育施設	特別支援学校の体育施設
障害者等総数	1008	291	513	247	137	58	146	30	24
	100.0	28.9	50.9	24.5	13.6	5.8	14.5	3.0	2.4
身体障害者	609	173	307	162	78	37	64	16	6
	100.0	28.4	50.4	26.6	12.8	6.1	10.5	2.6	1.0
知的障害者	233	39	98	53	30	32	55	16	19
	100.0	16.7	42.1	22.7	12.9	13.7	23.6	6.9	8.2
精神障害者	151	41	83	35	14	6	22	1	1
	100.0	27.2	55.0	23.2	9.3	4.0	14.6	0.7	0.7
自立支援医療受給者	75	23	49	20	12	3	14	1	2
	100.0	30.7	65.3	26.7	16.0	4.0	18.7	1.3	2.7
難病医療費助成者	232	88	128	54	40	5	29	8	1
	100.0	37.9	55.2	23.3	17.2	2.2	12.5	3.4	0.4
医療費助成対象外の難病患者	10	4	3	5	2	0	1	0	0
	100.0	40.0	30.0	50.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
発達障害と診断	20	8	15	9	2	1	4	0	1
	100.0	40.0	75.0	45.0	10.0	5.0	20.0	0.0	5.0
高次脳機能障害と診断	17	7	11	4	1	2	1	1	1
	100.0	41.2	64.7	23.5	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9
認知症と診断	5	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	職場のスポーツ施設	福祉施設	医療機関	山・川・海	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1008	11	110	22	83	76	3	43
	100.0	1.1	10.9	2.2	8.2	7.5	0.3	4.3
身体障害者	609	7	72	15	43	44	1	35
	100.0	1.1	11.8	2.5	7.1	7.2	0.2	5.7
知的障害者	233	3	40	0	16	20	1	11
	100.0	1.3	17.2	0.0	6.9	8.6	0.4	4.7
精神障害者	151	1	16	5	13	7	0	5
	100.0	0.7	10.6	3.3	8.6	4.6	0.0	3.3
自立支援医療受給者	75	0	6	1	8	4	0	3
	100.0	0.0	8.0	1.3	10.7	5.3	0.0	4.0
難病医療費助成者	232	2	11	7	22	16	0	9
	100.0	0.9	4.7	3.0	9.5	6.9	0.0	3.9
医療費助成対象外の難病患者	10	0	0	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
発達障害と診断	20	0	0	1	2	2	0	0
	100.0	0.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0
高次脳機能障害と診断	17	0	6	1	1	4	0	0
	100.0	0.0	35.3	5.9	5.9	23.5	0.0	0.0
認知症と診断	5	0	4	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0



(4) スポーツや運動を一緒にする人

※この1年間に何らかのスポーツや運動を行ったことがあると回答した1008人が対象

スポーツや運動を一緒にする人は、いない（「一人」）（55.3%）、「家族」（31.6%）が高い

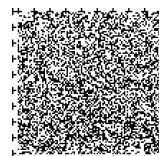
障害別では、知的障害者や認知症と診断された人以外は、いない（「一人」）が高く、知的障害者は「家族」、「福祉施設の職員・仲間」が高い

いない（「一人」）は50代、60代、「家族」は10代、20代、「福祉施設の職員・仲間」は20代で高い

スポーツや運動を一緒にする人をみると、いない（「一人」）が55.3%と最も高く、次いで「家族」（31.6%）、「福祉施設の職員・仲間」（14.5%）となっている。

障害別にみると、知的障害者や認知症と診断された人以外は、いない（「一人」）が最も高く、次いで、身体障害者や精神障害者、自立支援医療費受給者、難病医療費助成者は「家族」となっているが、知的障害者は、「家族」が最も高く、次いで「福祉施設の職員・仲間」となっている。その他、知的障害者では「障害がある人のサークル・障害者スポーツのサークル等の仲間」が他の障害に比べて高くなっている。

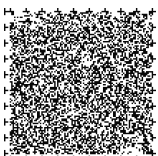
年代別にみると、いない（「一人」）は、50代（72.6%）、60代（67.6%）で高く、「家族」は10代（50.0%）、20代（46.2%）で高く、「福祉施設の職員・仲間」は20代（25.4%）で高くなっている。



図表 2-17 スポーツや運動と一緒にする人〔複数回答〕(Q8) - 障害別

	総数	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	障害がある人のサークル・障害者スポーツのサークル等の仲間
障害者等総数	1008 100.0	557 55.3	319 31.6	146 14.5	80 7.9	24 2.4	16 1.6	72 7.1
身体障害者	609 100.0	338 55.5	170 27.9	86 14.1	45 7.4	9 1.5	13 2.1	37 6.1
知的障害者	233 100.0	68 29.2	90 38.6	75 32.2	21 9.0	5 2.1	5 2.1	42 18.0
精神障害者	151 100.0	98 64.9	37 24.5	16 10.6	7 4.6	2 1.3	3 2.0	9 6.0
自立支援医療受給者	75 100.0	53 70.7	22 29.3	9 12.0	5 6.7	0 0.0	1 1.3	4 5.3
難病医療費助成者	232 100.0	153 65.9	82 35.3	13 5.6	23 9.9	9 3.9	3 1.3	5 2.2
医療費助成対象外の難病患者	10 100.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	20 100.0	14 70.0	9 45.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害と診断	17 100.0	8 47.1	7 41.2	9 52.9	1 5.9	0 0.0	2 11.8	3 17.6
認知症と診断	5 100.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

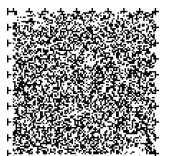
	総数	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	その他の友人・知人	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1008 100.0	64 6.3	32 3.2	13 1.3	130 12.9	55 5.5	2 0.2	39 3.9
身体障害者	609 100.0	37 6.1	14 2.3	4 0.7	80 13.1	35 5.7	1 0.2	31 5.1
知的障害者	233 100.0	15 6.4	23 9.9	7 3.0	10 4.3	18 7.7	1 0.4	9 3.9
精神障害者	151 100.0	7 4.6	3 2.0	2 1.3	14 9.3	4 2.6	0 0.0	5 3.3
自立支援医療受給者	75 100.0	2 2.7	2 2.7	1 1.3	9 12.0	4 5.3	0 0.0	2 2.7
難病医療費助成者	232 100.0	13 5.6	2 0.9	3 1.3	41 17.7	12 5.2	0 0.0	9 3.9
医療費助成対象外の難病患者	10 100.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	20 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害と診断	17 100.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9
認知症と診断	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



図表 2-18 スポーツや運動と一緒にする人〔複数回答〕(Q8) 一年代別

	総数	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	障害がある人のサークル・障害者スポーツのサークル等の仲間
障害者等総数	1008 100.0	557 55.3	319 31.6	146 14.5	80 7.9	24 2.4	16 1.6	72 7.1
10代	24 100.0	9 37.5	12 50.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2	1 4.2	5 20.8
20代	130 100.0	51 39.2	60 46.2	33 25.4	17 13.1	3 2.3	5 3.8	23 17.7
30代	135 100.0	69 51.1	55 40.7	24 17.8	8 5.9	1 0.7	1 0.7	16 11.9
40代	136 100.0	82 60.3	52 38.2	16 11.8	6 4.4	3 2.2	1 0.7	9 6.6
50代	135 100.0	98 72.6	35 25.9	15 11.1	9 6.7	2 1.5	0 0.0	2 1.5
60代	173 100.0	117 67.6	52 30.1	12 6.9	14 8.1	1 0.6	2 1.2	6 3.5
70代	184 100.0	89 48.4	39 21.2	21 11.4	21 11.4	10 5.4	2 1.1	7 3.8
80代以上	88 100.0	41 46.6	13 14.8	19 21.6	4 4.5	3 3.4	4 4.5	4 4.5

	総数	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	その他の友人・知人	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1008 100.0	64 6.3	32 3.2	13 1.3	130 12.9	55 5.5	2 0.2	39 3.9
10代	24 100.0	0 0.0	1 4.2	6 25.0	3 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	130 100.0	11 8.5	13 10.0	5 3.8	10 7.7	13 10.0	0 0.0	2 1.5
30代	135 100.0	8 5.9	6 4.4	1 0.7	25 18.5	8 5.9	0 0.0	1 0.7
40代	136 100.0	10 7.4	4 2.9	0 0.0	18 13.2	4 2.9	0 0.0	2 1.5
50代	135 100.0	7 5.2	2 1.5	0 0.0	14 10.4	5 3.7	1 0.7	2 1.5
60代	173 100.0	4 2.3	4 2.3	0 0.0	24 13.9	5 2.9	1 0.6	8 4.6
70代	184 100.0	17 9.2	2 1.1	1 0.5	25 13.6	8 4.3	0 0.0	19 10.3
80代以上	88 100.0	7 8.0	0 0.0	0 0.0	9 10.2	12 13.6	0 0.0	5 5.7



(5) スポーツや運動をした理由

※この1年間に何らかのスポーツや運動を行ったことがあると回答した1008人が対象

スポーツや運動をした理由として、「健康・体力づくりのため」(67.1%)、「運動不足解消のため」(53.9%)、「楽しみや気晴らしのため」(45.1%)が高い

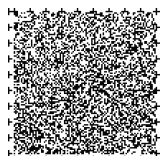
障害別では、発達障害と診断されている人を除く全ての障害で、「健康・体力づくりのため」が高い

年代別では、「健康・体力づくりのため」、「リハビリテーションや医療・治療のため」は年齢が比較的高い人で割合が高い一方、「楽しみや気晴らしのため」、「友人・仲間との交流のため」は年齢が比較的低い人で割合が高い

スポーツや運動をした理由は、「健康・体力づくりのため」(67.1%)が最も高く、次いで「運動不足解消のため」(53.9%)、「楽しみや気晴らしのため」(45.1%)、「友人・仲間との交流のため」(20.3%)となっている。

障害別にみると、発達障害と診断されている人を除く障害で、「健康・体力づくりのため」が高くなっている。その他では、身体障害者は「リハビリテーションや医療・治療のため」(20.9%)が、知的障害者は「楽しみや気晴らしのため」(52.4%)が、精神障害者や自立支援医療受給者は「精神の修養や訓練のため」(13.2%、17.3%)、「美容や肥満解消のため」(21.9%、30.7%)が、他の障害に比べて高い。

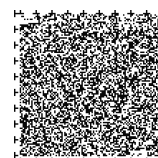
年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、「健康・体力づくりのため」、「リハビリテーションや医療・治療のため」は年齢が比較的高い人で割合が高くなっている。また、「楽しみや気晴らしのため」、「友人・仲間との交流のため」は年齢が比較的低い人で割合が高くなっている。



図表 2-19 スポーツや運動をした理由〔複数回答〕(Q9) - 障害別

	総数	健康・体力 づくりのため	楽しみや気 晴らしのため	運動不足解 消のため	精神の修養 や訓練のため	自己の記録 や能力を向 上させるため	リハビリ テーション や医療・治 療のため	家族のふれ あいのため
障害者等総数	1008 100.0	676 67.1	455 45.1	543 53.9	48 4.8	33 3.3	162 16.1	94 9.3
身体障害者	609 100.0	410 67.3	242 39.7	314 51.6	17 2.8	21 3.4	127 20.9	44 7.2
知的障害者	233 100.0	142 60.9	122 52.4	118 50.6	9 3.9	7 3.0	24 10.3	25 10.7
精神障害者	151 100.0	98 64.9	72 47.7	84 55.6	20 13.2	4 2.6	20 13.2	12 7.9
自立支援医療受給者	75 100.0	54 72.0	37 49.3	47 62.7	13 17.3	3 4.0	13 17.3	10 13.3
難病医療費助成者	232 100.0	155 66.8	107 46.1	132 56.9	8 3.4	7 3.0	41 17.7	27 11.6
医療費助成対象外の 難病患者	10 100.0	6 60.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	20 100.0	6 30.0	12 60.0	10 50.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0
高次脳機能障害と診断	17 100.0	11 64.7	4 23.5	6 35.3	1 5.9	1 5.9	9 52.9	0 0.0
認知症と診断	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	1 20.0

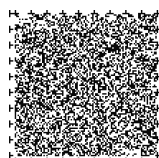
	総数	友人・仲間 との交流の ため	美容や肥満 解消のため	障害者ス ポーツ大会 に参加する ため	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1008 100.0	205 20.3	120 11.9	27 2.7	41 4.1	8 0.8	52 5.2
身体障害者	609 100.0	125 20.5	53 8.7	13 2.1	21 3.4	3 0.5	37 6.1
知的障害者	233 100.0	55 23.6	20 8.6	18 7.7	12 5.2	4 1.7	14 6.0
精神障害者	151 100.0	20 13.2	33 21.9	2 1.3	8 5.3	1 0.7	9 6.0
自立支援医療受給者	75 100.0	12 16.0	23 30.7	2 2.7	3 4.0	2 2.7	4 5.3
難病医療費助成者	232 100.0	45 19.4	35 15.1	1 0.4	8 3.4	0 0.0	12 5.2
医療費助成対象外の 難病患者	10 100.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
発達障害と診断	20 100.0	5 25.0	4 20.0	0 0.0	5 25.0	0 0.0	2 10.0
高次脳機能障害と診断	17 100.0	5 29.4	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9
認知症と診断	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



図表 2-20 スポーツや運動をした理由〔複数回答〕(Q9) 一年代別

	総数	健康・体力 づくりのため	楽しみや気 晴らしのため	運動不足解 消のため	精神の修養 や訓練のため	自己の記録 や能力を向 上させるため	リハビリ テーション や医療・治 療のため	家族のふれ あいのため
障害者等総数	1008 100.0	676 67.1	455 45.1	543 53.9	48 4.8	33 3.3	162 16.1	94 9.3
10代	24 100.0	12 50.0	19 79.2	14 58.3	3 12.5	2 8.3	0 0.0	5 20.8
20代	130 100.0	77 59.2	68 52.3	69 53.1	3 2.3	5 3.8	7 5.4	15 11.5
30代	135 100.0	88 65.2	87 64.4	79 58.5	14 10.4	5 3.7	12 8.9	20 14.8
40代	136 100.0	88 64.7	79 58.1	70 51.5	9 6.6	5 3.7	10 7.4	19 14.0
50代	135 100.0	94 69.6	60 44.4	81 60.0	8 5.9	4 3.0	30 22.2	8 5.9
60代	173 100.0	126 72.8	55 31.8	92 53.2	4 2.3	3 1.7	37 21.4	11 6.4
70代	184 100.0	127 69.0	60 32.6	97 52.7	4 2.2	6 3.3	38 20.7	11 6.0
80代以上	88 100.0	62 70.5	26 29.5	40 45.5	3 3.4	3 3.4	28 31.8	4 4.5

	総数	友人・仲間 との交流の ため	美容や肥満 解消のため	障害者ス ポーツ大会 に参加する ため	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1008 100.0	205 20.3	120 11.9	27 2.7	41 4.1	8 0.8	52 5.2
10代	24 100.0	8 33.3	1 4.2	3 12.5	1 4.2	0 0.0	1 4.2
20代	130 100.0	40 30.8	16 12.3	9 6.9	10 7.7	3 2.3	3 2.3
30代	135 100.0	32 23.7	27 20.0	5 3.7	5 3.7	0 0.0	2 1.5
40代	136 100.0	21 15.4	31 22.8	5 3.7	7 5.1	2 1.5	4 2.9
50代	135 100.0	15 11.1	22 16.3	2 1.5	8 5.9	1 0.7	3 2.2
60代	173 100.0	21 12.1	14 8.1	0 0.0	5 2.9	0 0.0	14 8.1
70代	184 100.0	46 25.0	8 4.3	2 1.1	3 1.6	2 1.1	20 10.9
80代以上	88 100.0	20 22.7	1 1.1	1 1.1	2 2.3	0 0.0	5 5.7



(6) スポーツや運動を行っていない理由

※この1年間にスポーツや運動を行ったことがないと回答した431人が対象

スポーツや運動を行っていない理由として、「活動したいが、身体的にできない」が50.8%と高い

特に、「活動したいが、身体的にできない」は難病医療費助成者と身体障害者の6割強、

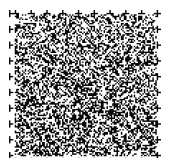
「活動したいと思わない」は、知的障害者、精神障害者の3割弱と高い

また、年代別では、70代、80代以上で「活動したいが、身体的にできない」が6割強と高い

スポーツや運動を行っていないと回答した人にその理由を聞くと、「活動したいが、身体的にできない」が50.8%と最も高く、次いで「活動したいと思わない」が20.9%となっている。その他、活動したいが「自分に合ったスポーツや運動の情報がない」(9.5%)、「一緒にやる人がいない」(8.6%)、「身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない」(7.9%)のためにできない人も一定数みられた。

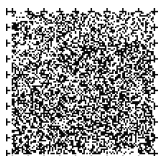
障害別にみると、おおむねどの障害においても「活動したいが、身体的にできない」を半数前後が挙げている。特に、難病医療費助成者(64.6%)、身体障害者(60.1%)で6割強と高くなっている。一方、「活動したいと思わない」は、知的障害者(27.0%)、精神障害者(28.4%)で3割弱と高い。

年代別にみると、「活動したいが、身体的にできない」は年代が上がるほど高く、70代(64.9%)、80代以上(63.2%)で6割強と高くなっている。また、その他では、20代で「活動したいと思わない」(27.3%)、「活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない」(25.5%)が他の年代に比べて高い。



図表 2-21 スポーツや運動を行っていない理由〔複数回答〕(Q10)－障害別、年代別

	総数	活動したいが、身体的にできない	活動したいが、身近なところにスポーツや運動がやれる場所がない	活動したいが、自分に合ったスポーツや運動の情報がない	活動したいが、一緒にやる人がいない	活動したいが、時間がない	その他	活動したいと思わない	無回答	
障害者等総数	431 100.0	219 50.8	34 7.9	41 9.5	37 8.6	43 10.0	44 10.2	90 20.9	11 2.6	
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	291 100.0	175 60.1	24 8.2	22 7.6	20 6.9	21 7.2	29 10.0	51 17.5	10 3.4
	知的障害者	122 100.0	49 40.2	12 9.8	16 13.1	16 13.1	10 8.2	13 10.7	33 27.0	1 0.8
	精神障害者	81 100.0	39 48.1	9 11.1	9 11.1	5 6.2	8 9.9	5 6.2	23 28.4	3 3.7
	自立支援医療受給者	33 100.0	16 48.5	3 9.1	4 12.1	5 15.2	4 12.1	1 3.0	8 24.2	1 3.0
	難病医療費助成者	82 100.0	53 64.6	3 3.7	5 6.1	4 4.9	11 13.4	7 8.5	13 15.9	2 2.4
	医療費助成対象外の難病患者	9 100.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0
	発達障害と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0
	高次脳機能障害と診断	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	認知症と診断	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0
	Q 2 年代	10代	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
20代		55 100.0	12 21.8	12 21.8	14 25.5	12 21.8	9 16.4	5 9.1	15 27.3	0 0.0
30代		38 100.0	17 44.7	1 2.6	5 13.2	4 10.5	4 10.5	7 18.4	9 23.7	0 0.0
40代		55 100.0	23 41.8	6 10.9	6 10.9	10 18.2	11 20.0	1 1.8	12 21.8	0 0.0
50代		52 100.0	26 50.0	5 9.6	5 9.6	3 5.8	11 21.2	2 3.8	12 23.1	1 1.9
60代		73 100.0	40 54.8	2 2.7	4 5.5	3 4.1	5 6.8	8 11.0	15 20.5	5 6.8
70代		77 100.0	50 64.9	4 5.2	3 3.9	3 3.9	1 1.3	6 7.8	16 20.8	4 5.2
80代以上		76 100.0	48 63.2	4 5.3	3 3.9	1 1.3	1 1.3	15 19.7	11 14.5	1 1.3

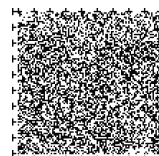


(7) 今後、行いたいスポーツや運動

今後、行いたいスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩」(49.6%)、「体操」(28.2%)、「水泳・遊泳」(21.8%)が高い

今後、行いたいスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩」(49.6%)が5割で最も高い。次いで「体操」(28.2%)、「水泳・遊泳」(21.8%)となっている。一方、「特にない」(19.3%)が約2割となっている。

障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられず、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「水泳・遊泳」が高い。

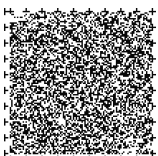


図表 2-22 今後行いたいスポーツや運動〔複数回答〕(Q11)－障害別

	総数	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を用いる運動	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道
障害者等総数	1463 100.0	725 49.6	412 28.2	237 16.2	86 5.9	319 21.8	142 9.7	135 9.2	23 1.6	44 3.0
身体障害者	914 100.0	454 49.7	240 26.3	152 16.6	42 4.6	163 17.8	65 7.1	60 6.6	8 0.9	19 2.1
知的障害者	362 100.0	147 40.6	72 19.9	38 10.5	31 8.6	102 28.2	39 10.8	38 10.5	6 1.7	8 2.2
精神障害者	241 100.0	116 48.1	65 27.0	29 12.0	14 5.8	44 18.3	31 12.9	21 8.7	6 2.5	15 6.2
自立支援医療受給者	108 100.0	54 50.0	28 25.9	15 13.9	10 9.3	27 25.0	17 15.7	11 10.2	4 3.7	6 5.6
難病医療費助成者	316 100.0	174 55.1	124 39.2	70 22.2	16 5.1	76 24.1	27 8.5	47 14.9	6 1.9	9 2.8
医療費助成対象外の 難病患者	22 100.0	11 50.0	4 18.2	4 18.2	0 0.0	6 27.3	0 0.0	3 13.6	0 0.0	1 4.5
発達障害と診断	30 100.0	10 33.3	10 33.3	5 16.7	2 6.7	8 26.7	6 20.0	2 6.7	0 0.0	2 6.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	12 48.0	7 28.0	3 12.0	2 8.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
認知症と診断	10 100.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	総数	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ	スカイスポーツ	アウトドアスポーツ	サイクリング、モータースポーツ	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス
障害者等総数	1463 100.0	63 4.3	86 5.9	60 4.1	27 1.8	142 9.7	81 5.5	2 0.1	2 0.1	6 0.4
身体障害者	914 100.0	31 3.4	37 4.0	37 4.0	17 1.9	79 8.6	45 4.9	1 0.1	2 0.2	4 0.4
知的障害者	362 100.0	11 3.0	22 6.1	9 2.5	2 0.6	31 8.6	19 5.2	0 0.0	1 0.3	0 0.0
精神障害者	241 100.0	17 7.1	16 6.6	12 5.0	5 2.1	20 8.3	15 6.2	1 0.4	0 0.0	1 0.4
自立支援医療受給者	108 100.0	9 8.3	10 9.3	8 7.4	5 4.6	15 13.9	10 9.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
難病医療費助成者	316 100.0	19 6.0	28 8.9	14 4.4	9 2.8	38 12.0	17 5.4	0 0.0	0 0.0	2 0.6
医療費助成対象外の 難病患者	22 100.0	1 4.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	30 100.0	4 13.3	3 10.0	2 6.7	3 10.0	4 13.3	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害と診断	25 100.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	総数	シットイングバレーボール	車椅子バスケットボール	ウィルチェアーラグビー	ボッチャ	その他	特になし	無回答
障害者等総数	1463 100.0	1 0.1	2 0.1	0 0.0	21 1.4	56 3.8	283 19.3	91 6.2
身体障害者	914 100.0	1 0.1	1 0.1	0 0.0	16 1.8	34 3.7	187 20.5	62 6.8
知的障害者	362 100.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	9 2.5	17 4.7	97 26.8	22 6.1
精神障害者	241 100.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	4 1.7	8 3.3	41 17.0	24 10.0
自立支援医療受給者	108 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	5 4.6	16 14.8	7 6.5
難病医療費助成者	316 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	15 4.7	49 15.5	11 3.5
医療費助成対象外の 難病患者	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	5 22.7
発達障害と診断	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7	5 16.7	4 13.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	7 28.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	2 20.0



(8) スポーツや運動を行う際に必要な支援

スポーツや運動を行う際に必要な支援は、「適切な指導者」が 25.5%と最も高く、次いで「一緒に行く仲間」が 19.5%

スポーツや運動を行う際に必要な支援は、「適切な指導者」が 25.5%と最も高く、次いで「一緒に行く仲間」が 19.5%と高くなっている。その他、「会場までの送迎」(14.9%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(14.6%)、「施設の利用料減免」(14.3%)、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(14.1%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(13.0%)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(12.4%)などがあげられ、分散している。

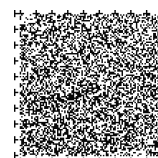
障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、身体障害者は「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(16.1%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(14.8%)、「介助者や手話通訳などの支援」(8.6%)が、知的障害者は「障害者への施設開放の促進」(16.9%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(21.5%)が、精神障害者や自立支援医療受給者は「施設の利用料減免」(22.0%、38.9%)の割合が他の障害に比べて高い。また、難病医療費助成者は「特になし」(25.3%)の割合が高い。

年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、全体的に10代、20代はいろいろな支援を挙げている人が他の年代に比べて高く、特に10代では「施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援」、「一緒に行く仲間」を、20代では「会場までの送迎」、「障害者への施設開放の促進」、「障害にあわせたプログラムの充実」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」、「施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援」、「適切な指導者」、「一緒に行く仲間」が高い。

身体障害者の障害種別にみると、視覚では「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(22.7%)が、聴覚や脳原性運動機能では「介助者や手話通訳などの支援」(20.3%、25.0%)が他の身体障害種別に比べて高い。

外出時のサービス利用別にみると、「外出支援を利用している」人は「会場までの送迎」(34.1%)、「介助者や手話通訳などの支援」(16.1%)を、「補装具を使用している」人は「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(20.1%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(19.0%)、「介助者や手話通訳などの支援」(13.5%)を挙げる人が他に比べて高い。

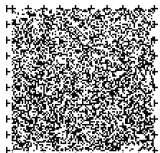
仕事の有無別にみると、「仕事をしている」人は「施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援」(8.3%)を、「仕事をしていない」人は「会場までの送迎」(18.4%)を、「福祉的就労をしている」人は「会場までの送迎」(25.2%)、「障害者への施設開放の促進」(20.6%)、「障害に合わせたプログラムの充実」(26.2%)、「一緒に行く仲間」(34.6%)、「施設の利用料減免」(21.5%)を挙げる人が他に比べて高い。



図表 2-23 スポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q12)－障害別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	207 14.1	190 13.0	218 14.9	142 9.7	213 14.6	92 6.3	182 12.4	86 5.9	94 6.4
身体障害者	914 100.0	147 16.1	135 14.8	146 16.0	78 8.5	131 14.3	79 8.6	116 12.7	48 5.3	62 6.8
知的障害者	362 100.0	55 15.2	40 11.0	76 21.0	61 16.9	78 21.5	36 9.9	51 14.1	32 8.8	28 7.7
精神障害者	241 100.0	30 12.4	28 11.6	30 12.4	33 13.7	40 16.6	8 3.3	42 17.4	18 7.5	17 7.1
自立支援医療受給者	108 100.0	13 12.0	14 13.0	13 12.0	16 14.8	22 20.4	8 7.4	27 25.0	13 12.0	9 8.3
難病医療費助成者	316 100.0	41 13.0	46 14.6	37 11.7	16 5.1	29 9.2	4 1.3	24 7.6	14 4.4	12 3.8
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	1 4.5	0 0.0	2 9.1	1 4.5	1 4.5	0 0.0	3 13.6	2 9.1	1 4.5
発達障害と診断	30 100.0	3 10.0	2 6.7	3 10.0	4 13.3	4 13.3	0 0.0	10 33.3	3 10.0	5 16.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	5 20.0	2 8.0	7 28.0	1 4.0	8 32.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0

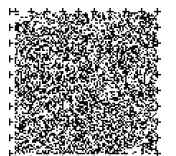
	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	373 25.5	286 19.5	86 5.9	209 14.3	32 2.2	245 16.7	48 3.3	87 5.9	150 10.3
身体障害者	914 100.0	214 23.4	159 17.4	41 4.5	103 11.3	20 2.2	154 16.8	36 3.9	52 5.7	100 10.9
知的障害者	362 100.0	107 29.6	90 24.9	17 4.7	52 14.4	7 1.9	37 10.2	12 3.3	26 7.2	40 11.0
精神障害者	241 100.0	49 20.3	43 17.8	23 9.5	53 22.0	5 2.1	34 14.1	8 3.3	14 5.8	29 12.0
自立支援医療受給者	108 100.0	27 25.0	29 26.9	13 12.0	42 38.9	3 2.8	16 14.8	5 4.6	5 4.6	5 4.6
難病医療費助成者	316 100.0	74 23.4	60 19.0	25 7.9	53 16.8	7 2.2	80 25.3	4 1.3	16 5.1	23 7.3
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	8 36.4	3 13.6	2 9.1	5 22.7	1 4.5	3 13.6	1 4.5	3 13.6	1 4.5
発達障害と診断	30 100.0	9 30.0	7 23.3	6 20.0	7 23.3	1 3.3	1 3.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	6 24.0	9 36.0	0 0.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 28.0
認知症と診断	10 100.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0



図表 2-24 スポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q12) 一年代別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	207 14.1	190 13.0	218 14.9	142 9.7	213 14.6	92 6.3	182 12.4	86 5.9	94 6.4
10代	27 100.0	6 22.2	3 11.1	6 22.2	4 14.8	7 25.9	3 11.1	5 18.5	6 22.2	4 14.8
20代	185 100.0	30 16.2	22 11.9	43 23.2	38 20.5	48 25.9	19 10.3	39 21.1	20 10.8	18 9.7
30代	176 100.0	29 16.5	23 13.1	21 11.9	20 11.4	31 17.6	14 8.0	27 15.3	11 6.3	16 9.1
40代	191 100.0	27 14.1	21 11.0	27 14.1	25 13.1	31 16.2	14 7.3	26 13.6	12 6.3	16 8.4
50代	189 100.0	35 18.5	35 18.5	17 9.0	18 9.5	27 14.3	8 4.2	27 14.3	14 7.4	11 5.8
60代	248 100.0	35 14.1	36 14.5	32 12.9	10 4.0	25 10.1	13 5.2	28 11.3	9 3.6	12 4.8
70代	269 100.0	32 11.9	28 10.4	44 16.4	22 8.2	25 9.3	14 5.2	18 6.7	9 3.3	13 4.8
80代以上	170 100.0	12 7.1	21 12.4	27 15.9	4 2.4	17 10.0	7 4.1	12 7.1	5 2.9	3 1.8

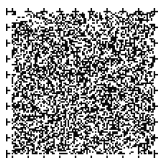
	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	373 25.5	286 19.5	86 5.9	209 14.3	32 2.2	245 16.7	48 3.3	87 5.9	150 10.3
10代	27 100.0	11 40.7	11 40.7	3 11.1	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 3.7	2 7.4
20代	185 100.0	71 38.4	61 33.0	17 9.2	36 19.5	4 2.2	12 6.5	5 2.7	14 7.6	5 2.7
30代	176 100.0	49 27.8	35 19.9	13 7.4	37 21.0	5 2.8	29 16.5	2 1.1	8 4.5	9 5.1
40代	191 100.0	45 23.6	38 19.9	12 6.3	41 21.5	3 1.6	35 18.3	6 3.1	8 4.2	12 6.3
50代	189 100.0	48 25.4	32 16.9	19 10.1	33 17.5	4 2.1	26 13.8	7 3.7	10 5.3	14 7.4
60代	248 100.0	51 20.6	39 15.7	8 3.2	26 10.5	6 2.4	62 25.0	8 3.2	13 5.2	25 10.1
70代	269 100.0	63 23.4	38 14.1	10 3.7	26 9.7	8 3.0	47 17.5	11 4.1	21 7.8	47 17.5
80代以上	170 100.0	35 20.6	32 18.8	4 2.4	6 3.5	2 1.2	31 18.2	9 5.3	12 7.1	33 19.4



図表 2-25 スポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q12)－身体障害種別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
身体障害者総数	914 100.0	147 16.1	135 14.8	146 16.0	78 8.5	131 14.3	79 8.6	116 12.7	48 5.3	62 6.8
視覚	119 100.0	16 13.4	22 18.5	26 21.8	9 7.6	19 16.0	10 8.4	27 22.7	8 6.7	9 7.6
聴覚	133 100.0	14 10.5	10 7.5	13 9.8	6 4.5	12 9.0	27 20.3	24 18.0	7 5.3	14 10.5
平衡機能	28 100.0	5 17.9	4 14.3	8 28.6	2 7.1	4 14.3	5 17.9	3 10.7	1 3.6	3 10.7
音声機能・言語機能・そ しゃく機能	93 100.0	15 16.1	13 14.0	14 15.1	9 9.7	13 14.0	13 14.0	7 7.5	2 2.2	6 6.5
上肢	175 100.0	42 24.0	41 23.4	35 20.0	21 12.0	40 22.9	21 12.0	27 15.4	11 6.3	17 9.7
下肢	261 100.0	62 23.8	58 22.2	55 21.1	33 12.6	50 19.2	20 7.7	32 12.3	12 4.6	20 7.7
体幹	105 100.0	29 27.6	27 25.7	26 24.8	13 12.4	12 11.4	20 19.0	15 14.3	4 3.8	7 6.7
脳原性運動機能	72 100.0	26 36.1	18 25.0	14 19.4	12 16.7	16 22.2	18 25.0	11 15.3	6 8.3	11 15.3
内部障害	259 100.0	28 10.8	26 10.0	25 9.7	20 7.7	29 11.2	7 2.7	21 8.1	16 6.2	8 3.1

	総数	適切な指導者	一緒に行う仲間	スポーツ用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特にない	活動したいと思わない	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	214 23.4	159 17.4	41 4.5	103 11.3	20 2.2	154 16.8	36 3.9	52 5.7	100 10.9
視覚	119 100.0	27 22.7	20 16.8	2 1.7	6 5.0	3 2.5	13 10.9	3 2.5	9 7.6	11 9.2
聴覚	133 100.0	29 21.8	24 18.0	6 4.5	10 7.5	4 3.0	30 22.6	9 6.8	9 6.8	11 8.3
平衡機能	28 100.0	11 39.3	5 17.9	0 0.0	4 14.3	0 0.0	3 10.7	1 3.6	3 10.7	5 17.9
音声機能・言語機能・そ しゃく機能	93 100.0	24 25.8	19 20.4	1 1.1	7 7.5	1 1.1	20 21.5	3 3.2	5 5.4	10 10.8
上肢	175 100.0	59 33.7	33 18.9	4 2.3	15 8.6	3 1.7	14 8.0	6 3.4	12 6.9	18 10.3
下肢	261 100.0	75 28.7	42 16.1	9 3.4	32 12.3	8 3.1	26 10.0	12 4.6	14 5.4	25 9.6
体幹	105 100.0	28 26.7	16 15.2	1 1.0	5 4.8	4 3.8	4 3.8	2 1.9	12 11.4	14 13.3
脳原性運動機能	72 100.0	22 30.6	18 25.0	3 4.2	12 16.7	2 2.8	3 4.2	1 1.4	7 9.7	7 9.7
内部障害	259 100.0	54 20.8	50 19.3	20 7.7	41 15.8	6 2.3	59 22.8	9 3.5	11 4.2	30 11.6



図表 2-26 スポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q12)

－外出時のサービス利用別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	207 14.1	190 13.0	218 14.9	142 9.7	213 14.6	92 6.3	182 12.4	86 5.9	94 6.4
外出支援を利用している	217 100.0	37 17.1	34 15.7	74 34.1	31 14.3	50 23.0	35 16.1	33 15.2	12 5.5	24 11.1
補装具を使用している	384 100.0	77 20.1	73 19.0	78 20.3	40 10.4	63 16.4	52 13.5	54 14.1	23 6.0	36 9.4
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
特になし	862 100.0	104 12.1	93 10.8	82 9.5	74 8.6	107 12.4	20 2.3	99 11.5	53 6.1	44 5.1

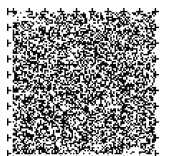
	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	373 25.5	286 19.5	86 5.9	209 14.3	32 2.2	245 16.7	48 3.3	87 5.9	150 10.3
外出支援を利用している	217 100.0	67 30.9	47 21.7	5 2.3	26 12.0	3 1.4	12 5.5	2 0.9	15 6.9	23 10.6
補装具を使用している	384 100.0	97 25.3	60 15.6	14 3.6	35 9.1	15 3.9	43 11.2	16 4.2	23 6.0	42 10.9
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特になし	862 100.0	216 25.1	183 21.2	62 7.2	153 17.7	15 1.7	186 21.6	29 3.4	51 5.9	66 7.7

図表 2-27 スポーツや運動を行う際に必要な支援〔3つまで〕(Q12)

－仕事の有無別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	207 14.1	190 13.0	218 14.9	142 9.7	213 14.6	92 6.3	182 12.4	86 5.9	94 6.4
仕事をしている	458 100.0	67 14.6	56 12.2	29 6.3	40 8.7	64 14.0	19 4.1	62 13.5	38 8.3	35 7.6
仕事をしていない	839 100.0	129 15.4	122 14.5	154 18.4	78 9.3	115 13.7	58 6.9	99 11.8	38 4.5	49 5.8
福祉的就労をしている	107 100.0	7 6.5	8 7.5	27 25.2	22 20.6	28 26.2	12 11.2	20 18.7	7 6.5	8 7.5

	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	スポーツ用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	373 25.5	286 19.5	86 5.9	209 14.3	32 2.2	245 16.7	48 3.3	87 5.9	150 10.3
仕事をしている	458 100.0	116 25.3	90 19.7	32 7.0	88 19.2	13 2.8	100 21.8	11 2.4	22 4.8	20 4.4
仕事をしていない	839 100.0	200 23.8	150 17.9	42 5.0	94 11.2	16 1.9	128 15.3	34 4.1	56 6.7	106 12.6
福祉的就労をしている	107 100.0	45 42.1	37 34.6	8 7.5	23 21.5	1 0.9	7 6.5	1 0.9	6 5.6	6 5.6



(9) この1年間でのスポーツ観戦の有無

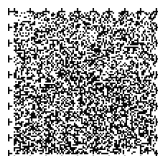
この1年間でのスポーツ観戦の有無は、「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」が69.0%と最も高く、「観戦したことはない」が19.1%

この1年間でのスポーツ観戦の有無をみると、「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」が69.0%と最も高く、「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」人は14.4%、「沿道で実際に観戦したことがある」人は2.3%にとどまっている。また、「観戦したことはない」という回答も19.1%みられた。

障害別にみると、全ての障害で「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」が5割以上で最も高い。一方、知的障害者は「観戦したことはない」(32.3%)が他の障害に比べて高くなっている。年代別にみると、どの年代も「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」が高い。その他、40代は「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」(26.2%)が他の年代に比べて高い。

図表 2-28 1年間に観戦したスポーツ〔複数回答〕(Q13)－障害別、年代別

		総数	スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	沿道で実際に観戦したことがある	テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	その他	観戦したことはない	わからない	無回答
障害者等総数		1463 100.0	211 14.4	33 2.3	1010 69.0	25 1.7	280 19.1	35 2.4	71 4.9
Q 29 保有している手帳、 障害の診断、難病医療費助成	身体障害者	914 100.0	118 12.9	20 2.2	664 72.6	20 2.2	151 16.5	20 2.2	45 4.9
	知的障害者	362 100.0	54 14.9	9 2.5	182 50.3	7 1.9	117 32.3	20 5.5	20 5.5
	精神障害者	241 100.0	29 12.0	7 2.9	153 63.5	3 1.2	45 18.7	9 3.7	23 9.5
	自立支援医療受給者	108 100.0	13 12.0	3 2.8	77 71.3	1 0.9	25 23.1	1 0.9	4 3.7
	難病医療費助成者	316 100.0	53 16.8	5 1.6	244 77.2	2 0.6	43 13.6	1 0.3	11 3.5
	医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	2 9.1	1 4.5	15 68.2	0 0.0	3 13.6	0 0.0	4 18.2
	発達障害と診断	30 100.0	5 16.7	1 3.3	17 56.7	0 0.0	10 33.3	2 6.7	1 3.3
	高次脳機能障害と診断	25 100.0	2 8.0	1 4.0	15 60.0	1 4.0	6 24.0	0 0.0	4 16.0
	認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0
	Q 2 年代	10代	27 100.0	5 18.5	1 3.7	14 51.9	0 0.0	9 33.3	1 3.7
20代		185 100.0	27 14.6	5 2.7	102 55.1	1 0.5	59 31.9	8 4.3	5 2.7
30代		176 100.0	28 15.9	4 2.3	101 57.4	4 2.3	56 31.8	3 1.7	5 2.8
40代		191 100.0	50 26.2	4 2.1	137 71.7	2 1.0	36 18.8	7 3.7	1 0.5
50代		189 100.0	27 14.3	3 1.6	141 74.6	3 1.6	27 14.3	3 1.6	6 3.2
60代		248 100.0	28 11.3	8 3.2	187 75.4	8 3.2	31 12.5	4 1.6	17 6.9
70代		269 100.0	39 14.5	6 2.2	209 77.7	5 1.9	29 10.8	5 1.9	16 5.9
80代以上		170 100.0	7 4.1	2 1.2	115 67.6	2 1.2	33 19.4	3 1.8	17 10.0



(10) スポーツを観戦する上で必要な支援

スポーツを観戦する上で必要な支援は、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(22.0%)、「障害者に配慮した観戦席の充実」(21.7%)、「観戦料の減免」(20.2%)が高い

スポーツを観戦する上で必要な支援をみると、「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」が22.0%、「障害者に配慮した観戦席の充実」が21.7%、「観戦料の減免」が20.2%と高くなっている。

障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、特に、身体障害者では「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(25.4%)、「テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応」(11.5%)が、知的障害者では「障害者に配慮した観戦席の充実」(30.9%)、「一緒に観戦する仲間」(19.1%)が、精神障害者では「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(14.5%)が、自立支援医療受給者では「情報機器操作の支援」(6.5%)、「観戦料の減免」(39.8%)が他の障害に比べて高い。

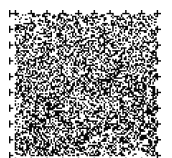
年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、特に、10代や40代では「一緒に観戦する仲間」(33.3%、18.3%)が、20代では「障害者に配慮した観戦席の充実」(35.1%)、「一緒に観戦する仲間」(23.2%)、「障害や障害者、補助犬などに対する理解促進」(13.0%)が他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、聴覚の「テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応」(40.6%)が他の身体障害種別に比べて高い。

1年間でのスポーツ観戦の有無別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、「スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある」人は「観戦料の減免」(37.9%)が、「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある」人は「テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応」(11.6%)が、「観戦したことはない」人は「観戦したいと思わない」(18.6%)、「わからない」(8.2%)が他に比べて高い。

外出時の利用サービス別にみると、「外出支援を利用している」人は「会場までの送迎」(33.2%)、「介助者や手話通訳などの支援」(13.4%)を、「補装具を使用している」人は「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(31.0%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(24.0%)、「テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応」(13.5%)を挙げる割合が他に比べて高い。

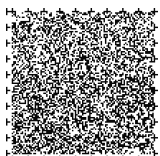
仕事の有無別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、仕事をしている人は「テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応」(12.2%)、「観戦料の減免」(25.3%)を、「仕事をしていない」人は「会場までの送迎」(19.4%)を、「福祉的就労をしている」人は「会場までの送迎」(23.4%)、「障害者に配慮した観戦席の充実」(35.5%)、「介助者や手話通訳などの支援」(11.2%)、「一緒に観戦する仲間」(29.9%)、「観戦料の減免」(35.5%)を挙げる割合が他に比べて高い。



図表 2-29 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14) - 障害別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実
障害者等総数	1463 100.0	322 22.0	241 16.5	237 16.2	317 21.7	78 5.3	135 9.2	22 1.5	140 9.6
身体障害者	914 100.0	232 25.4	168 18.4	157 17.2	197 21.6	57 6.2	105 11.5	12 1.3	78 8.5
知的障害者	362 100.0	73 20.2	50 13.8	71 19.6	112 30.9	30 8.3	19 5.2	6 1.7	36 9.9
精神障害者	241 100.0	45 18.7	39 16.2	41 17.0	52 21.6	13 5.4	21 8.7	5 2.1	35 14.5
自立支援医療受給者	108 100.0	15 13.9	15 13.9	15 13.9	27 25.0	10 9.3	11 10.2	7 6.5	18 16.7
難病医療費助成者	316 100.0	71 22.5	63 19.9	49 15.5	51 16.1	7 2.2	18 5.7	2 0.6	18 5.7
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	3 13.6	3 13.6	5 22.7	4 18.2	1 4.5	2 9.1	0 0.0	1 4.5
発達障害と診断	30 100.0	4 13.3	3 10.0	4 13.3	10 33.3	3 10.0	7 23.3	2 6.7	6 20.0
高次脳機能障害と診断	25 100.0	8 32.0	7 28.0	7 28.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	4 16.0
認知症と診断	10 100.0	3 30.0	1 10.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0

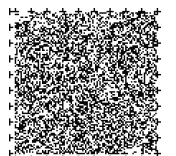
	総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	108 7.4	170 11.6	295 20.2	18 1.2	277 18.9	76 5.2	76 5.2	147 10.0
身体障害者	914 100.0	65 7.1	79 8.6	168 18.4	12 1.3	165 18.1	40 4.4	43 4.7	101 11.1
知的障害者	362 100.0	33 9.1	69 19.1	76 21.0	3 0.8	42 11.6	33 9.1	24 6.6	36 9.9
精神障害者	241 100.0	17 7.1	35 14.5	63 26.1	3 1.2	37 15.4	8 3.3	14 5.8	31 12.9
自立支援医療受給者	108 100.0	7 6.5	22 20.4	43 39.8	1 0.9	18 16.7	11 10.2	4 3.7	5 4.6
難病医療費助成者	316 100.0	18 5.7	30 9.5	58 18.4	7 2.2	89 28.2	9 2.8	15 4.7	24 7.6
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	1 4.5	1 4.5	3 13.6	0 0.0	4 18.2	0 0.0	1 4.5	4 18.2
発達障害と診断	30 100.0	4 13.3	6 20.0	9 30.0	0 0.0	2 6.7	4 13.3	3 10.0	1 3.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	1 4.0	3 12.0	8 32.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	5 20.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0



図表 2-30 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14) 一年代別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実
障害者等総数	1463 100.0	322 22.0	241 16.5	237 16.2	317 21.7	78 5.3	135 9.2	22 1.5	140 9.6
10代	27 100.0	7 25.9	5 18.5	3 11.1	9 33.3	4 14.8	2 7.4	1 3.7	3 11.1
20代	185 100.0	45 24.3	26 14.1	38 20.5	65 35.1	17 9.2	16 8.6	5 2.7	24 13.0
30代	176 100.0	34 19.3	32 18.2	25 14.2	51 29.0	15 8.5	16 9.1	5 2.8	21 11.9
40代	191 100.0	44 23.0	30 15.7	26 13.6	51 26.7	14 7.3	19 9.9	5 2.6	23 12.0
50代	189 100.0	53 28.0	39 20.6	22 11.6	42 22.2	7 3.7	14 7.4	1 0.5	22 11.6
60代	248 100.0	58 23.4	43 17.3	41 16.5	43 17.3	14 5.6	13 5.2	0 0.0	18 7.3
70代	269 100.0	55 20.4	39 14.5	46 17.1	34 12.6	4 1.5	33 12.3	4 1.5	21 7.8
80代以上	170 100.0	23 13.5	25 14.7	34 20.0	20 11.8	3 1.8	22 12.9	1 0.6	8 4.7

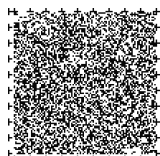
	総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	108 7.4	170 11.6	295 20.2	18 1.2	277 18.9	76 5.2	76 5.2	147 10.0
10代	27 100.0	3 11.1	9 33.3	8 29.6	0 0.0	4 14.8	2 7.4	0 0.0	1 3.7
20代	185 100.0	24 13.0	43 23.2	48 25.9	1 0.5	20 10.8	16 8.6	10 5.4	7 3.8
30代	176 100.0	14 8.0	25 14.2	48 27.3	4 2.3	33 18.8	11 6.3	6 3.4	8 4.5
40代	191 100.0	20 10.5	35 18.3	54 28.3	2 1.0	31 16.2	7 3.7	11 5.8	9 4.7
50代	189 100.0	14 7.4	18 9.5	46 24.3	4 2.1	34 18.0	7 3.7	11 5.8	13 6.9
60代	248 100.0	15 6.0	15 6.0	34 13.7	1 0.4	68 27.4	10 4.0	11 4.4	30 12.1
70代	269 100.0	12 4.5	16 5.9	44 16.4	5 1.9	53 19.7	12 4.5	13 4.8	42 15.6
80代以上	170 100.0	6 3.5	8 4.7	13 7.6	1 0.6	34 20.0	10 5.9	14 8.2	34 20.0



図表 2-31 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14) - 身体障害種別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実
身体障害者総数	914 100.0	232 25.4	168 18.4	157 17.2	197 21.6	57 6.2	105 11.5	12 1.3	78 8.5
視覚	119 100.0	30 25.2	22 18.5	22 18.5	31 26.1	8 6.7	12 10.1	3 2.5	15 12.6
聴覚	133 100.0	18 13.5	9 6.8	16 12.0	20 15.0	15 11.3	54 40.6	4 3.0	19 14.3
平衡機能	28 100.0	7 25.0	6 21.4	8 28.6	2 7.1	3 10.7	3 10.7	1 3.6	3 10.7
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	21 22.6	14 15.1	21 22.6	22 23.7	8 8.6	4 4.3	1 1.1	8 8.6
上肢	175 100.0	67 38.3	48 27.4	38 21.7	48 27.4	15 8.6	10 5.7	3 1.7	19 10.9
下肢	261 100.0	102 39.1	73 28.0	61 23.4	67 25.7	13 5.0	15 5.7	3 1.1	25 9.6
体幹	105 100.0	42 40.0	31 29.5	30 28.6	38 36.2	10 9.5	7 6.7	0 0.0	10 9.5
脳原性運動機能	72 100.0	34 47.2	24 33.3	18 25.0	27 37.5	13 18.1	3 4.2	3 4.2	6 8.3
内部障害	259 100.0	56 21.6	38 14.7	30 11.6	41 15.8	4 1.5	19 7.3	1 0.4	17 6.6

	総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	65 7.1	79 8.6	168 18.4	12 1.3	165 18.1	40 4.4	43 4.7	101 11.1
視覚	119 100.0	7 5.9	13 10.9	13 10.9	0 0.0	15 12.6	10 8.4	6 5.0	15 12.6
聴覚	133 100.0	13 9.8	10 7.5	21 15.8	1 0.8	18 13.5	4 3.0	10 7.5	13 9.8
平衡機能	28 100.0	3 10.7	4 14.3	4 14.3	0 0.0	6 21.4	1 3.6	2 7.1	5 17.9
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	2 2.2	10 10.8	18 19.4	0 0.0	22 23.7	4 4.3	5 5.4	7 7.5
上肢	175 100.0	18 10.3	14 8.0	27 15.4	3 1.7	22 12.6	10 5.7	8 4.6	16 9.1
下肢	261 100.0	21 8.0	17 6.5	45 17.2	7 2.7	34 13.0	12 4.6	10 3.8	25 9.6
体幹	105 100.0	9 8.6	3 2.9	13 12.4	1 1.0	10 9.5	6 5.7	6 5.7	9 8.6
脳原性運動機能	72 100.0	12 16.7	9 12.5	15 20.8	2 2.8	6 8.3	3 4.2	3 4.2	3 4.2
内部障害	259 100.0	17 6.6	21 8.1	59 22.8	3 1.2	65 25.1	8 3.1	11 4.2	32 12.4

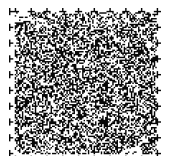


図表 2-32 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14)

－ 1年間でのスポーツ観戦の有無別

	総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実
障害者等総数	1463 100.0	322 22.0	241 16.5	237 16.2	317 21.7	78 5.3	135 9.2	22 1.5	140 9.6
スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	211 100.0	68 32.2	42 19.9	32 15.2	72 34.1	8 3.8	19 9.0	1 0.5	12 5.7
沿道で実際に観戦したことがある	33 100.0	10 30.3	4 12.1	4 12.1	11 33.3	2 6.1	2 6.1	0 0.0	6 18.2
テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	1010 100.0	239 23.7	190 18.8	166 16.4	230 22.8	50 5.0	117 11.6	19 1.9	108 10.7
その他	25 100.0	7 28.0	4 16.0	6 24.0	7 28.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0
観戦したことはない	280 100.0	55 19.6	34 12.1	51 18.2	61 21.8	19 6.8	12 4.3	2 0.7	25 8.9
わからない	35 100.0	2 5.7	3 8.6	4 11.4	7 20.0	3 8.6	1 2.9	0 0.0	2 5.7

	総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	108 7.4	170 11.6	295 20.2	18 1.2	277 18.9	76 5.2	76 5.2	147 10.0
スタジアム・体育館などで実際に観戦したことがある	211 100.0	16 7.6	42 19.9	80 37.9	1 0.5	34 16.1	0 0.0	3 1.4	9 4.3
沿道で実際に観戦したことがある	33 100.0	6 18.2	5 15.2	7 21.2	0 0.0	5 15.2	0 0.0	0 0.0	4 12.1
テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦したことがある	1010 100.0	73 7.2	123 12.2	235 23.3	13 1.3	209 20.7	20 2.0	37 3.7	67 6.6
その他	25 100.0	2 8.0	2 8.0	9 36.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0
観戦したことはない	280 100.0	21 7.5	28 10.0	39 13.9	4 1.4	44 15.7	52 18.6	23 8.2	20 7.1
わからない	35 100.0	2 5.7	4 11.4	3 8.6	0 0.0	5 14.3	1 2.9	15 42.9	1 2.9



図表 2-33 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14)

－外出時のサービス利用別

総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	
障害者等総数	1463 100.0	322 22.0	241 16.5	237 16.2	317 21.7	78 5.3	135 9.2	22 1.5	140 9.6
外出支援を利用している	217 100.0	61 28.1	40 18.4	72 33.2	77 35.5	29 13.4	13 6.0	3 1.4	18 8.3
補装具を使用している	384 100.0	119 31.0	92 24.0	89 23.2	101 26.3	33 8.6	52 13.5	8 2.1	40 10.4
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
特になし	862 100.0	159 18.4	119 13.8	91 10.6	160 18.6	23 2.7	69 8.0	11 1.3	85 9.9

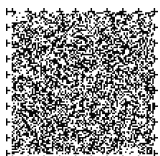
総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答	
障害者等総数	1463 100.0	108 7.4	170 11.6	295 20.2	18 1.2	277 18.9	76 5.2	76 5.2	147 10.0
外出支援を利用している	217 100.0	26 12.0	40 18.4	45 20.7	1 0.5	16 7.4	10 4.6	13 6.0	17 7.8
補装具を使用している	384 100.0	34 8.9	28 7.3	55 14.3	5 1.3	48 12.5	15 3.9	18 4.7	38 9.9
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特になし	862 100.0	59 6.8	103 11.9	196 22.7	12 1.4	205 23.8	50 5.8	46 5.3	72 8.4

図表 2-34 スポーツを観戦する上で必要な支援〔3つまで〕(Q14)

－仕事の有無別

総数	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者に配慮した観戦席の充実	介助者や手話通訳などの支援	テレビ・インターネット等の文字情報、字幕の対応	情報機器操作の支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	
障害者等総数	1463 100.0	322 22.0	241 16.5	237 16.2	317 21.7	78 5.3	135 9.2	22 1.5	140 9.6
仕事をしている	458 100.0	98 21.4	73 15.9	39 8.5	100 21.8	18 3.9	56 12.2	10 2.2	53 11.6
仕事をしていない	839 100.0	194 23.1	152 18.1	163 19.4	168 20.0	45 5.4	69 8.2	11 1.3	68 8.1
福祉的就労をしている	107 100.0	18 16.8	12 11.2	25 23.4	38 35.5	12 11.2	6 5.6	1 0.9	12 11.2

総数	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に観戦する仲間	観戦料の減免	その他	特になし	観戦したいと思わない	わからない	無回答	
障害者等総数	1463 100.0	108 7.4	170 11.6	295 20.2	18 1.2	277 18.9	76 5.2	76 5.2	147 10.0
仕事をしている	458 100.0	37 8.1	56 12.2	116 25.3	8 1.7	100 21.8	21 4.6	13 2.8	28 6.1
仕事をしていない	839 100.0	56 6.7	78 9.3	134 16.0	8 1.0	158 18.8	51 6.1	54 6.4	95 11.3
福祉的就労をしている	107 100.0	14 13.1	32 29.9	38 35.5	1 0.9	11 10.3	2 1.9	8 7.5	4 3.7



3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への関心度

① 東京 2020 オリンピックへの関心度

東京 2020 オリンピックに関心がある（「関心がある」＋「やや関心がある」）割合が74.6%。そのうち、「関心がある」割合が53.1%
 特に、障害別では、難病医療費助成者、医療費助成対象外の難病患者、年代別では、70代で8割を超える

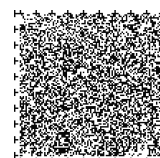
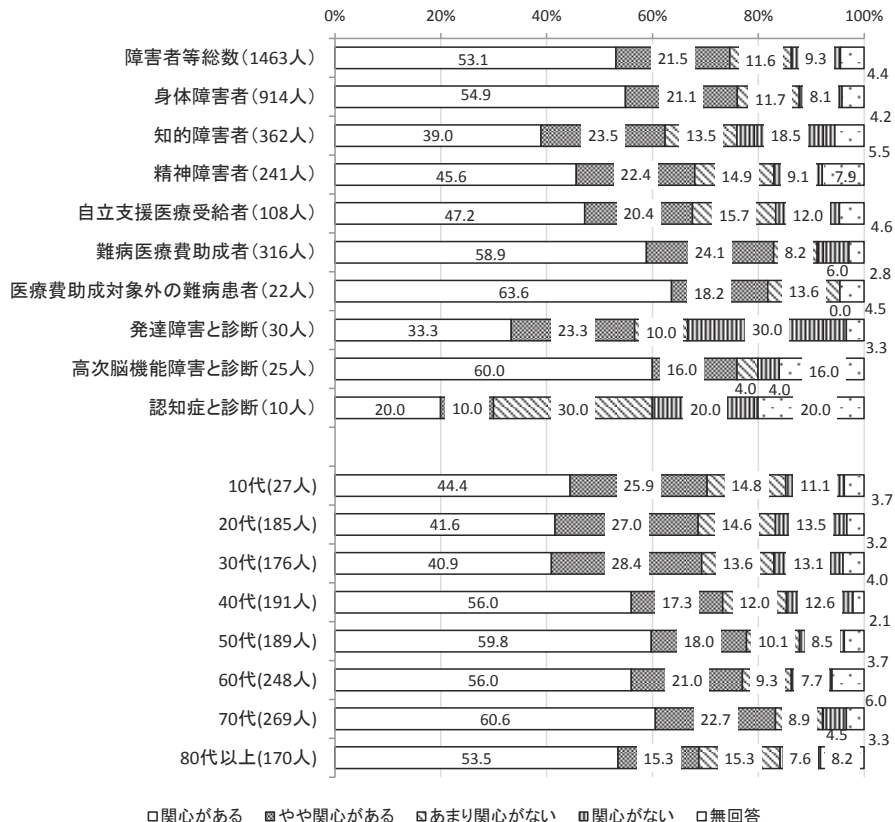
東京 2020 オリンピックへの関心度は、「関心がある」（53.1%）と「やや関心がある」（21.5%）を合わせた74.6%が関心を持っている。

障害別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は、難病医療費助成者、医療費助成対象外の難病患者で8割を超えている。

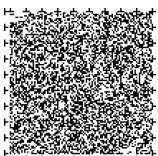
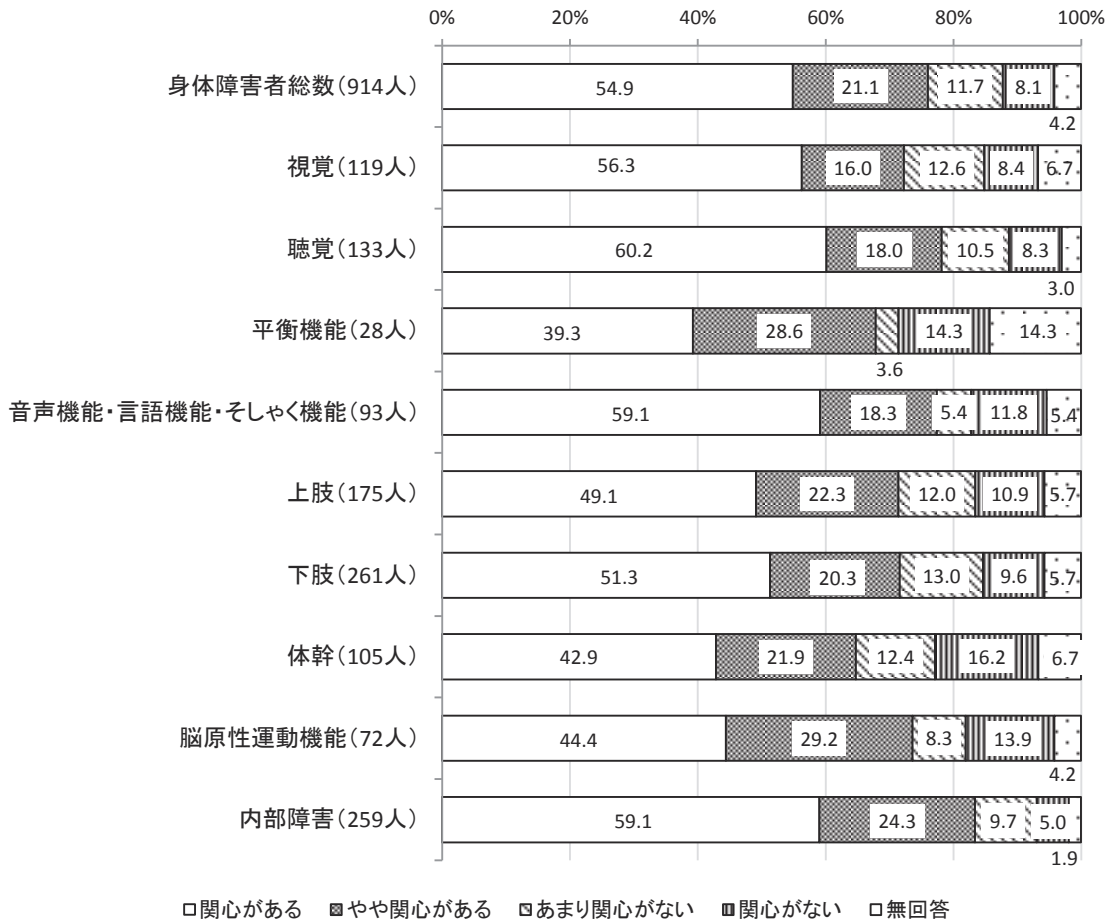
年代別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は、70代が最も高くなっている。

身体障害者の障害種別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は、内部障害で8割を超えている。

図表 2-35 東京 2020 オリンピックへの関心度〔単数回答〕(Q15①)－障害別、年代別



図表 2-36 東京 2020 オリンピックへの関心度〔単数回答〕(Q15①)－身体障害種別



②東京 2020 パラリンピックへの関心度

東京 2020 パラリンピックに関心がある（「関心がある」＋「やや関心がある」）割合が 65.3%。そのうち、「関心がある」割合が 38.6%
特に、障害別では、難病医療費助成者、年代別では、70代で7割を超える

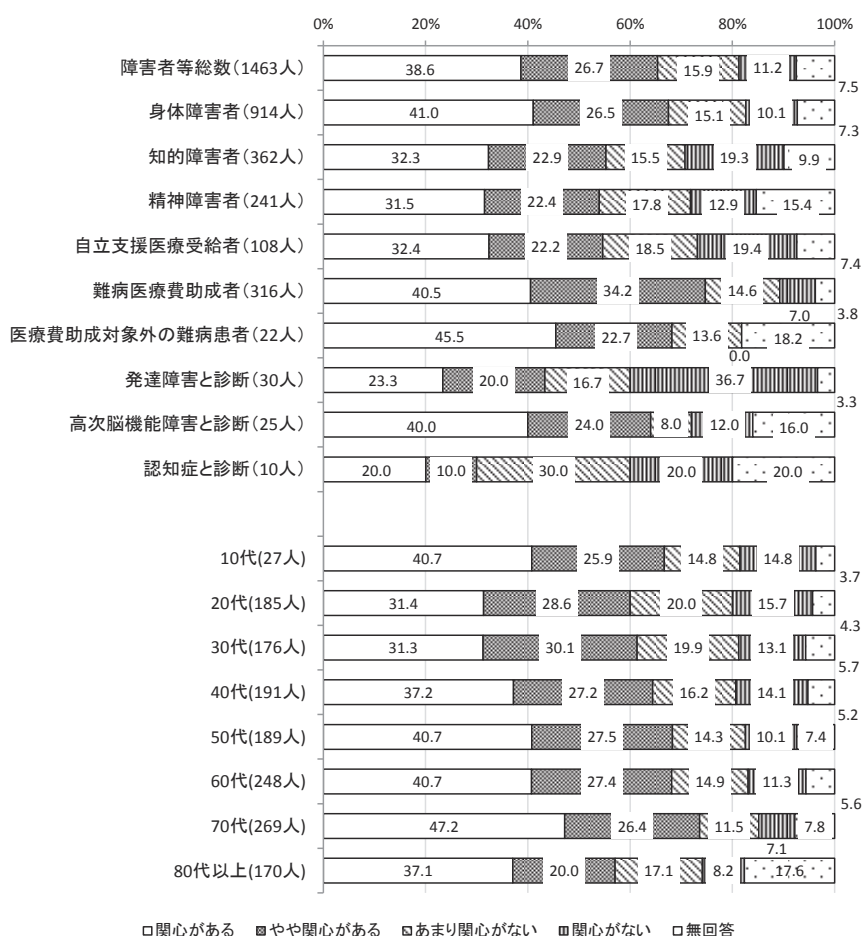
東京 2020 パラリンピックへの関心度は、「関心がある」（38.6%）と「やや関心がある」（26.7%）を合わせた 65.3%が関心を持っている。（参考：東京 2020 オリンピック関心度（74.6%））

障害別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は、難病医療費助成者で7割を超えているものの、どの障害も東京 2020 オリンピックに比べて「関心がある」割合が低くなっている。

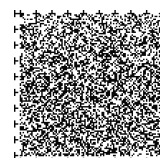
年代別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は70代が最も高く、7割を超える。

身体障害者の障害種別では、「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた、「関心がある」割合は、内部障害で7割を超えている。

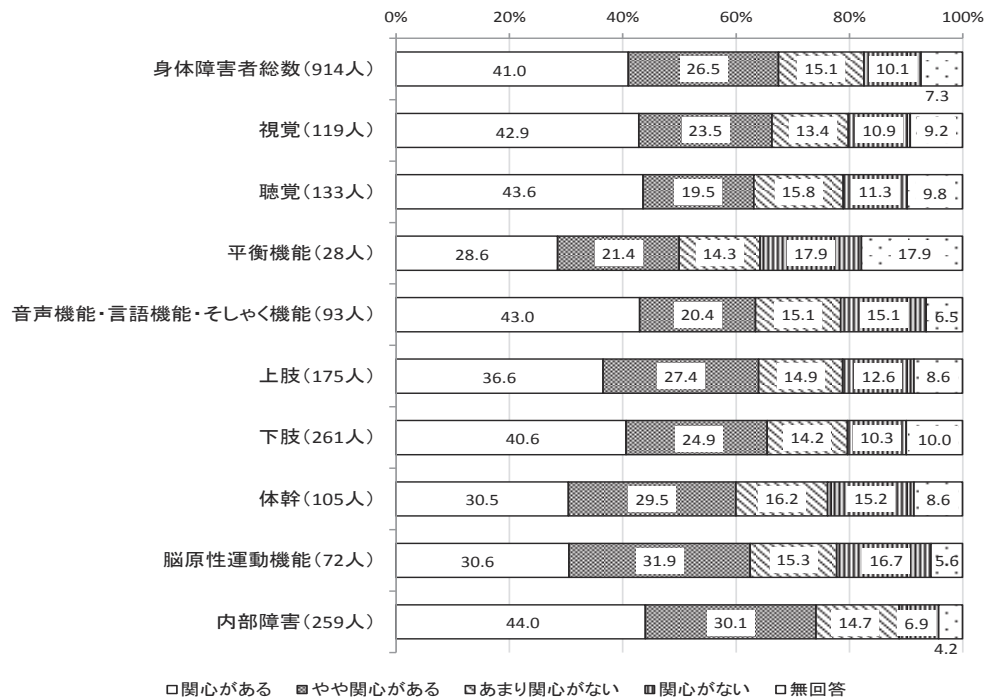
図表 2-37 東京 2020 パラリンピックへの関心度〔単数回答〕(Q15②)－障害別、年代別



□関心がある □やや関心がある □あまり関心がない □関心がない □無回答



図表 2-38 東京 2020 パラリンピックへの関心度〔単数回答〕(Q15②)－身体障害種別



③ 東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへの関心度

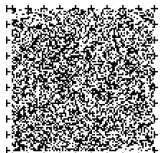
東京 2020 オリンピックに関心のある人は東京 2020 パラリンピックへの関心も高い一方、東京 2020 オリンピックに関心のない人は東京 2020 パラリンピックへの関心も低い

東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへのそれぞれの関心度についてみると、東京 2020 オリンピックに「関心がある」人は、東京 2020 パラリンピックに「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は 86.1%と高く、また、「やや関心がある」人も 80.6%と高くなっている。

一方、東京 2020 オリンピックに「あまり関心がない」又は「関心がない」人の 8～9 割が、東京 2020 パラリンピックにも「あまり関心がない」又は「関心がない」としている。

図表 2-39 東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへの関心度〔単数回答〕(Q15①、Q15②)

	総数	東京2020パラリンピックへの関心					
		関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答	
障害者等総数	1463	565	391	233	164	110	
	100.0	38.6	26.7	15.9	11.2	7.5	
オ東 ヘリ京 の2 関ピ ック 0	関心がある	777	537	132	61	16	31
		100.0	69.1	17.0	7.9	2.1	4.0
	やや関心がある	315	19	235	44	12	5
		100.0	6.0	74.6	14.0	3.8	1.6
	あまり関心がない	170	4	16	125	11	14
	100.0	2.4	9.4	73.5	6.5	8.2	
	関心がない	136	4	5	3	123	1
	100.0	2.9	3.7	2.2	90.4	0.7	



(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への関わり方

①東京 2020 オリンピックへの関わり方

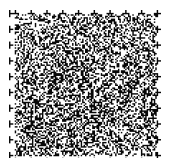
東京 2020 オリンピックへの関わり方は、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」が 58.2%と高い

東京 2020 オリンピックに何らかの形で関わりたいかについては、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」が 58.2%と最も高く、次いで「スタジアム・体育館などで観戦したい」(31.6%)と高くなっている。一方、「関わりたいと思わない」は 10.8%である。

障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられず、どの障害も「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」や、「スタジアム・体育館などで観戦したい」が上位となっている。特に、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」は知的障害者以外の障害で半数以上の人が挙げている。一方、知的障害者は「関わりたいと思わない」(13.5%)や「わからない」(13.3%)の割合が他の障害に比べて高くなっている。

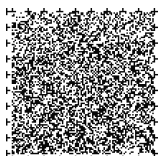
年代別にみると、どの年代も「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」、「スタジアム・体育館などで観戦したい」が上位に挙がっているものの、特に「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」は年代が比較的高い方が高く、70代で7割弱となっている。また、「スタジアム・体育館などで観戦したい」は10代、40代が4割を超えている。その他、「ボランティアとして関わりたい」は40代で高くなっている。

身体障害者の障害種別にみると、障害種別によって大きな違いはみられないものの、平衡機能では「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」(67.9%)が、内部障害では「スタジアム・体育館などで観戦したい」(34.4%)が、聴覚では「ボランティアとして関わりたい」(13.5%)が他の身体障害種別に比べて高くなっている。



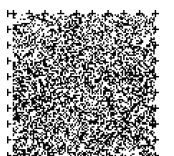
図表 2-40 東京 2020 オリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q16①) - 障害別、年代別

		総数	スタジアム・体育館などで観戦したい	沿道で観戦したい	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	ボランティアとして関わりたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
障害者等総数		1463 100.0	462 31.6	136 9.3	852 58.2	147 10.0	158 10.8	33 2.3	91 6.2	90 6.2
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	914 100.0	262 28.7	79 8.6	557 60.9	72 7.9	97 10.6	26 2.8	50 5.5	61 6.7
	知的障害者	362 100.0	109 30.1	35 9.7	157 43.4	21 5.8	49 13.5	8 2.2	48 13.3	24 6.6
	精神障害者	241 100.0	53 22.0	13 5.4	137 56.8	24 10.0	30 12.4	2 0.8	14 5.8	22 9.1
	自立支援医療受給者	108 100.0	29 26.9	12 11.1	71 65.7	18 16.7	13 12.0	1 0.9	4 3.7	5 4.6
	難病医療費助成者	316 100.0	126 39.9	34 10.8	201 63.6	49 15.5	27 8.5	3 0.9	11 3.5	13 4.1
	医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	8 36.4	1 4.5	15 68.2	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	2 9.1
	発達障害と診断	30 100.0	7 23.3	2 6.7	10 33.3	5 16.7	7 23.3	1 3.3	4 13.3	1 3.3
	高次脳機能障害と診断	25 100.0	9 36.0	2 8.0	16 64.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	5 20.0
	認知症と診断	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
Q 2 年代	10代	27 100.0	12 44.4	3 11.1	13 48.1	4 14.8	4 14.8	0 0.0	2 7.4	1 3.7
	20代	185 100.0	73 39.5	15 8.1	84 45.4	25 13.5	19 10.3	2 1.1	27 14.6	6 3.2
	30代	176 100.0	69 39.2	23 13.1	81 46.0	24 13.6	29 16.5	5 2.8	14 8.0	9 5.1
	40代	191 100.0	80 41.9	27 14.1	102 53.4	39 20.4	24 12.6	5 2.6	15 7.9	4 2.1
	50代	189 100.0	70 37.0	24 12.7	110 58.2	23 12.2	19 10.1	3 1.6	8 4.2	8 4.2
	60代	248 100.0	67 27.0	18 7.3	165 66.5	21 8.5	32 12.9	7 2.8	4 1.6	16 6.5
	70代	269 100.0	70 26.0	16 5.9	186 69.1	10 3.7	14 5.2	6 2.2	8 3.0	21 7.8
	80代以上	170 100.0	19 11.2	9 5.3	108 63.5	0 0.0	17 10.0	5 2.9	12 7.1	23 13.5



図表 2-41 東京 2020 オリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q16①)－身体障害種別

	総数	スタジアム・体育館などで観戦したい	沿道で観戦したい	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	ボランティアとして関わりたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	262 28.7	79 8.6	557 60.9	72 7.9	97 10.6	26 2.8	50 5.5	61 6.7
視覚	119 100.0	24 20.2	6 5.0	75 63.0	7 5.9	17 14.3	4 3.4	4 3.4	10 8.4
聴覚	133 100.0	39 29.3	11 8.3	76 57.1	18 13.5	10 7.5	8 6.0	8 6.0	8 6.0
平衡機能	28 100.0	3 10.7	1 3.6	19 67.9	0 0.0	1 3.6	2 7.1	3 10.7	5 17.9
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	30 32.3	9 9.7	56 60.2	4 4.3	11 11.8	6 6.5	5 5.4	8 8.6
上肢	175 100.0	53 30.3	17 9.7	99 56.6	8 4.6	18 10.3	7 4.0	14 8.0	11 6.3
下肢	261 100.0	70 26.8	24 9.2	158 60.5	10 3.8	27 10.3	11 4.2	16 6.1	18 6.9
体幹	105 100.0	30 28.6	7 6.7	51 48.6	6 5.7	14 13.3	4 3.8	10 9.5	12 11.4
脳原性運動機能	72 100.0	21 29.2	6 8.3	39 54.2	2 2.8	6 8.3	3 4.2	10 13.9	5 6.9
内部障害	259 100.0	89 34.4	28 10.8	172 66.4	25 9.7	18 6.9	4 1.5	13 5.0	9 3.5



② 東京 2020 パラリンピックへの関わり方

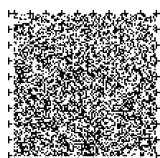
東京 2020 パラリンピックへの関わり方は、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」が 53.6%と高い

東京 2020 パラリンピックに何らかの形で関わりたいかについては、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」が 53.6%と最も高く、次いで「スタジアム・体育館などで観戦したい」(22.5%) と高くなっている。一方、「関わりたいと思わない」は 12.9% である。

障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられず、どの障害も「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」や、「スタジアム・体育館などで観戦したい」が上位となっている。特に、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」は身体障害者や自立支援医療受給者、難病医療費助成者で半数以上の人が挙げている。一方、知的障害者は「関わりたいと思わない」(15.5%) や「わからない」(15.2%) とする人の割合が他の障害に比べて高くなっている。

年代別にみると、どの年代も「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」、「スタジアム・体育館などで観戦したい」が上位に挙がっているものの、特に「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」は年代が比較的高い方が高く、60代、70代で6割を超える。また、10代では「スタジアム・体育館などで観戦したい」が4割を超えている。その他、40代は「ボランティアとして関わりたい」(17.3%) が他の年代に比べて高くなっている。

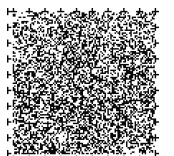
身体障害者の障害種別にみると、障害種別によって大きな違いはみられないものの、東京 2020 オリンピックと同様、聴覚は「ボランティアとして関わりたい」(14.3%) が他の身体障害種別に比べて高い。



図表 2-42 東京 2020 パラリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q16②)

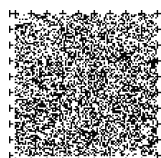
－障害別、年代別

		総数	スタジアム・体育館などで観戦したい	沿道で観戦したい	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	ボランティアとして関わりたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
障害者等総数		1463 100.0	329 22.5	118 8.1	784 53.6	141 9.6	189 12.9	35 2.4	128 8.7	125 8.5
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	914 100.0	198 21.7	65 7.1	515 56.3	72 7.9	116 12.7	27 3.0	73 8.0	82 9.0
	知的障害者	362 100.0	94 26.0	42 11.6	142 39.2	24 6.6	56 15.5	13 3.6	55 15.2	29 8.0
	精神障害者	241 100.0	36 14.9	12 5.0	115 47.7	25 10.4	35 14.5	5 2.1	23 9.5	31 12.9
	自立支援医療受給者	108 100.0	23 21.3	11 10.2	63 58.3	16 14.8	21 19.4	0 0.0	5 4.6	8 7.4
	難病医療費助成者	316 100.0	78 24.7	23 7.3	187 59.2	44 13.9	32 10.1	1 0.3	19 6.0	22 7.0
	医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	3 13.6	0 0.0	16 72.7	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	3 13.6
	発達障害と診断	30 100.0	3 10.0	2 6.7	10 33.3	4 13.3	8 26.7	1 3.3	4 13.3	3 10.0
	高次脳機能障害と診断	25 100.0	7 28.0	2 8.0	14 56.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	6 24.0
	認知症と診断	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
Q 2 年代	10代	27 100.0	12 44.4	4 14.8	15 55.6	5 18.5	3 11.1	1 3.7	2 7.4	1 3.7
	20代	185 100.0	55 29.7	17 9.2	79 42.7	24 13.0	24 13.0	4 2.2	32 17.3	6 3.2
	30代	176 100.0	48 27.3	23 13.1	77 43.8	24 13.6	32 18.2	5 2.8	18 10.2	11 6.3
	40代	191 100.0	64 33.5	27 14.1	88 46.1	33 17.3	27 14.1	5 2.6	21 11.0	11 5.8
	50代	189 100.0	46 24.3	16 8.5	107 56.6	26 13.8	21 11.1	4 2.1	16 8.5	7 3.7
	60代	248 100.0	41 16.5	13 5.2	150 60.5	16 6.5	41 16.5	5 2.0	10 4.0	22 8.9
	70代	269 100.0	46 17.1	11 4.1	168 62.5	9 3.3	22 8.2	7 2.6	14 5.2	34 12.6
	80代以上	170 100.0	16 9.4	5 2.9	98 57.6	3 1.8	18 10.6	4 2.4	14 8.2	31 18.2



図表 2-43 東京 2020 パラリンピックへの関わり方〔複数回答〕(Q16②) - 身体障害種別

	総数	スタジアム・体育館などで観戦したい	沿道で観戦したい	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	ボランティアとして関わりたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	198 21.7	65 7.1	515 56.3	72 7.9	116 12.7	27 3.0	73 8.0	82 9.0
視覚	119 100.0	19 16.0	6 5.0	72 60.5	6 5.0	19 16.0	4 3.4	7 5.9	9 7.6
聴覚	133 100.0	28 21.1	11 8.3	64 48.1	19 14.3	16 12.0	6 4.5	13 9.8	12 9.0
平衡機能	28 100.0	3 10.7	2 7.1	15 53.6	0 0.0	4 14.3	2 7.1	3 10.7	6 21.4
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	22 23.7	7 7.5	52 55.9	3 3.2	15 16.1	6 6.5	9 9.7	9 9.7
上肢	175 100.0	46 26.3	14 8.0	92 52.6	10 5.7	22 12.6	8 4.6	21 12.0	11 6.3
下肢	261 100.0	57 21.8	19 7.3	147 56.3	11 4.2	29 11.1	13 5.0	23 8.8	23 8.8
体幹	105 100.0	25 23.8	6 5.7	51 48.6	7 6.7	15 14.3	4 3.8	12 11.4	12 11.4
脳原性運動機能	72 100.0	17 23.6	6 8.3	37 51.4	2 2.8	9 12.5	4 5.6	11 15.3	6 8.3
内部障害	259 100.0	61 23.6	22 8.5	164 63.3	25 9.7	24 9.3	3 1.2	17 6.6	21 8.1



③東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへの関わり方

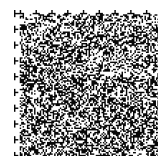
東京 2020 オリンピックを「スタジアム・体育館などで観戦したい」や「沿道で観戦したい」人は、東京 2020 パラリンピックも同様の関わり方を挙げる割合が高い
 東京 2020 オリンピックに「ボランティアとして関わりたい」人は、東京 2020 パラリンピックも「ボランティアとして関わりたい」割合が高く 8 割を超えている

東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへの、それぞれの関わり方についてみると、東京 2020 オリンピックを「スタジアム・体育館などで観戦したい」や「沿道で観戦したい」人は、東京 2020 パラリンピックも「スタジアム・体育館などで観戦したい」や「沿道で観戦したい」割合が高い。また、東京 2020 オリンピックを「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」人は、東京 2020 パラリンピックも「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい」割合が高く 8 割を超えている。

東京 2020 オリンピックに「ボランティアとして関わりたい」人は東京 2020 パラリンピックも「ボランティアとして関わりたい」割合が高く 8 割を超えている。

図表 2-44 東京 2020 オリンピックと東京 2020 パラリンピックへの関わり方
 [複数回答] (Q16①、Q16②)

		総数	東京 2020 パラリンピックへの関わり							
			スタジアム・体育館などで観戦したい	沿道で観戦したい	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	ボランティアとして関わりたい	関わりたいと思わない	その他	わからない	無回答
障害者等総数		1463	329	118	784	141	189	35	128	125
		100.0	22.5	8.1	53.6	9.6	12.9	2.4	8.7	8.5
東京 2020 2020 オリ ンピ ック へ の 関 わり	スタジアム・体育館などで観戦したい	462	311	94	252	95	14	6	20	11
		100.0	67.3	20.3	54.5	20.6	3.0	1.3	4.3	2.4
	沿道で観戦したい	136	91	103	101	34	0	1	3	3
		100.0	66.9	75.7	74.3	25.0	0.0	0.7	2.2	2.2
	テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦したい	852	173	89	739	71	32	11	26	34
		100.0	20.3	10.4	86.7	8.3	3.8	1.3	3.1	4.0
	ボランティアとして関わりたい	147	82	32	67	125	3	1	3	4
		100.0	55.8	21.8	45.6	85.0	2.0	0.7	2.0	2.7
関わりたいと思わない	158	1	0	10	0	141	1	2	3	
	100.0	0.6	0.0	6.3	0.0	89.2	0.6	1.3	1.9	
その他	33	6	2	9	0	1	23	0	4	
	100.0	18.2	6.1	27.3	0.0	3.0	69.7	0.0	12.1	
わからない	91	0	0	0	1	3	1	86	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.1	3.3	1.1	94.5	0.0	



(3) 参加したいボランティア活動

※東京 2020 オリンピック又は東京 2020 パラリンピックで「ボランティアとして関わりたい」と回答した 163 人が対象

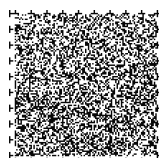
参加したいボランティア活動は「会場内での観客・大会関係者の誘導」(42.9%)、「チケットチェック等の入場管理」(41.7%)で高い

東京 2020 オリンピック又は東京 2020 パラリンピックで「ボランティアとして関わりたい」と回答した人が、どのようなボランティアとして参加したいかについては、「会場内での観客・大会関係者の誘導」が 42.9%、「チケットチェック等の入場管理」が 41.7%、「選手村や会場の食堂での配膳」が 33.7%、「国内外からの旅行者への観光・交通案内」が 30.7%と高くなっている。

障害別にみると、自立支援医療受給者や精神障害者は全体的に様々な活動で高い。

図表 2-45 参加したいボランティア活動〔複数回答〕(Q17)－障害別

	総数	国内外からの旅行者への観光・交通案内	競技会場の最寄駅から会場までの観客案内	会場内での観客・大会関係者の誘導	チケットチェック等の入場管理	警備	選手村でのハウスキーピング等	選手村や会場の食堂での配膳	選手村・会場内での清掃	その他	無回答
障害者等総数	163 100.0	50 30.7	44 27.0	70 42.9	68 41.7	17 10.4	28 17.2	55 33.7	46 28.2	7 4.3	9 5.5
身体障害者	81 100.0	22 27.2	22 27.2	33 40.7	34 42.0	9 11.1	18 22.2	29 35.8	31 38.3	2 2.5	7 8.6
知的障害者	25 100.0	4 16.0	4 16.0	4 16.0	11 44.0	4 16.0	3 12.0	8 32.0	10 40.0	2 8.0	2 8.0
精神障害者	29 100.0	11 37.9	10 34.5	12 41.4	11 37.9	4 13.8	5 17.2	9 31.0	10 34.5	1 3.4	1 3.4
自立支援医療受給者	19 100.0	8 42.1	6 31.6	9 47.4	8 42.1	4 21.1	5 26.3	7 36.8	6 31.6	0 0.0	1 5.3
難病医療費助成者	52 100.0	21 40.4	11 21.2	29 55.8	26 50.0	3 5.8	8 15.4	18 34.6	8 15.4	3 5.8	1 1.9
医療費助成対象外の難病患者	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	6 100.0	3 50.0	4 66.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害と診断	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認知症と診断	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



(4) ボランティアを行う際に必要な支援

※東京 2020 オリンピック又は東京 2020 パラリンピックで「ボランティアとして関わりたい」と回答した 163 人が対象

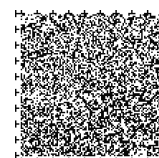
ボランティアを行う際に必要な支援は、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(52.1%)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(39.9%)、「一緒に行く仲間」(34.4%)で高い

東京 2020 オリンピック又は東京 2020 パラリンピックで「ボランティアとして関わりたい」と回答した人が、ボランティアを行う際に必要な支援については、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(52.1%)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(39.9%)、「一緒に行く仲間」(34.4%)などが高くなっている。

障害別、年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられず、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」はどの障害も半数前後が挙げている。

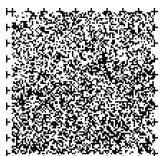
図表 2-46 ボランティアを行う際に必要な支援〔複数回答〕(Q18) - 障害別

	総数	会場や選手村などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設等を利用する際に必要な手続きの支援	犬、聴導犬などに対する理解促進	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に行く仲間	ボランティア活動に関する情報提供の充実	その他	特になし	わからない	無回答
障害者等総数	163 100.0	47 28.8	41 25.2	38 23.3	30 18.4	65 39.9	36 22.1	33 20.2	56 34.4	85 52.1	6 3.7	13 8.0	4 2.5	9 5.5	
身体障害者	81 100.0	25 30.9	21 25.9	19 23.5	17 21.0	36 44.4	20 24.7	18 22.2	27 33.3	46 56.8	3 3.7	4 4.9	1 1.2	4 4.9	
知的障害者	25 100.0	4 16.0	5 20.0	7 28.0	3 12.0	12 48.0	8 32.0	5 20.0	11 44.0	12 48.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	
精神障害者	29 100.0	11 37.9	12 41.4	8 27.6	8 27.6	14 48.3	6 20.7	9 31.0	16 55.2	17 58.6	1 3.4	0 0.0	1 3.4	3 10.3	
自立支援医療受給者	19 100.0	5 26.3	4 21.1	4 21.1	3 15.8	7 36.8	5 26.3	2 10.5	12 63.2	9 47.4	0 0.0	1 5.3	0 0.0	2 10.5	
難病医療費助成者	52 100.0	18 34.6	14 26.9	11 21.2	8 15.4	14 26.9	11 21.2	9 17.3	14 26.9	25 48.1	2 3.8	8 15.4	3 5.8	1 1.9	
医療費助成対象外の難病患者	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
発達障害と診断	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	5 83.3	2 33.3	2 33.3	4 66.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	
高次脳機能障害と診断	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
認知症と診断	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	



図表 2-47 ボランティアを行う際に必要な支援〔複数回答〕(Q18) 一年代別

	総数	会場や選手村などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬・介助犬、聴導犬)などに対する理解促進	一緒に行う仲間	ボランティア活動に関する情報提供の充実	その他	特にない	わからない	無回答
障害者等総数	163 100.0	47 28.8	41 25.2	38 23.3	30 18.4	65 39.9	36 22.1	33 20.2	56 34.4	85 52.1	6 3.7	13 8.0	4 2.5	9 5.5
10代	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	3 50.0	4 66.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
20代	27 100.0	4 14.8	5 18.5	11 40.7	4 14.8	15 55.6	8 29.6	2 7.4	10 37.0	14 51.9	1 3.7	1 3.7	0 0.0	2 7.4
30代	26 100.0	7 26.9	6 23.1	2 7.7	7 26.9	9 34.6	3 11.5	4 15.4	11 42.3	13 50.0	1 3.8	3 11.5	2 7.7	0 0.0
40代	40 100.0	11 27.5	11 27.5	11 27.5	11 27.5	19 47.5	11 27.5	11 27.5	15 37.5	22 55.0	2 5.0	3 7.5	0 0.0	1 2.5
50代	27 100.0	11 40.7	7 25.9	6 22.2	6 22.2	9 33.3	7 25.9	5 18.5	5 18.5	17 63.0	0 0.0	2 7.4	1 3.7	1 3.7
60代	21 100.0	7 33.3	6 28.6	2 9.5	1 4.8	9 42.9	4 19.0	6 28.6	7 33.3	11 52.4	1 4.8	2 9.5	1 4.8	2 9.5
70代	12 100.0	4 33.3	4 33.3	5 41.7	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	4 33.3	5 41.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0
80代以上	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3



4 文化、芸術活動について

(1) この1年間に行った文化、芸術活動

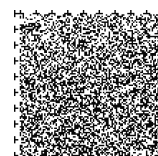
この1年間に行った文化、芸術活動は「コンサートや映画、演劇などに行く」が41.9%と最も高く、次いで「美術館、博物館などに行く」(30.4%)。「特にない」は29.0%

この1年間に行った文化、芸術活動をみると、「コンサートや映画、演劇などに行く」が41.9%と最も高く、次いで「美術館、博物館などに行く」(30.4%)、「動物園や植物園、水族館などに行く」(29.2%)が高くなっている。一方「特にない」は29.0%と約3割となっている。

障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、知的障害者は「動物園や植物園、水族館などに行く」、「音楽活動をする」が、難病医療費助成者は「コンサートや映画、演劇などに行く」が他の障害に比べて高い。

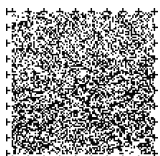
年代別にみると、「コンサートや映画、演劇などに行く」、「美術館、博物館などに行く」、「動物園や植物園、水族館などに行く」は年代が比較的若い人の割合が高くなっている。

身体障害者の障害種別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、特に聴覚は「美術館、博物館などに行く」(35.3%)が、上肢は「美術などの創作活動をする」(17.1%)が、内部障害は「コンサートや映画、演劇などに行く」(41.3%)が、他の身体障害種別に比べて高くなっている。



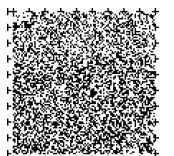
図表 2-48 この1年間に行った文化、芸術活動〔複数回答〕(Q19①) 一障害別、年代別

	総数	コンサートや映画、演劇などに行く	美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	動物園や植物園、水族館などに行く	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	道など(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	美術などの創作活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	講演会、セミナー、各種講座に参加する	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	その他	特にない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	613 41.9	445 30.4	427 29.2	176 12.0	123 8.4	41 2.8	149 10.2	33 2.3	47 3.2	424 29.0	117 8.0	
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	914 100.0	329 36.0	263 28.8	251 27.5	100 10.9	72 7.9	28 3.1	96 10.5	24 2.6	36 3.9	294 32.2	81 8.9
	知的障害者	362 100.0	143 39.5	74 20.4	121 33.4	71 19.6	31 8.6	1 0.3	11 3.0	4 1.1	10 2.8	105 29.0	29 8.0
	精神障害者	241 100.0	89 36.9	61 25.3	55 22.8	18 7.5	23 9.5	9 3.7	21 8.7	6 2.5	8 3.3	78 32.4	28 11.6
	自立支援医療受給者	108 100.0	47 43.5	37 34.3	34 31.5	16 14.8	17 15.7	5 4.6	13 12.0	3 2.8	3 2.8	32 29.6	6 5.6
	難病医療費助成者	316 100.0	166 52.5	111 35.1	97 30.7	34 10.8	30 9.5	11 3.5	45 14.2	6 1.9	5 1.6	74 23.4	22 7.0
	医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	10 45.5	6 27.3	4 18.2	3 13.6	3 13.6	1 4.5	3 13.6	1 4.5	0 0.0	4 18.2	6 27.3
	発達障害と診断	30 100.0	13 43.3	12 40.0	10 33.3	6 20.0	6 20.0	2 6.7	3 10.0	0 0.0	2 6.7	7 23.3	1 3.3
	高次脳機能障害と診断	25 100.0	5 20.0	11 44.0	6 24.0	2 8.0	5 20.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	7 28.0	4 16.0
	認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0	2 20.0
	Q 2 年代	10代	27 100.0	14 51.9	12 44.4	13 48.1	10 37.0	6 22.2	0 0.0	4 14.8	1 3.7	0 0.0	3 11.1
20代		185 100.0	110 59.5	54 29.2	76 41.1	42 22.7	18 9.7	2 1.1	8 4.3	2 1.1	6 3.2	30 16.2	3 1.6
30代		176 100.0	86 48.9	61 34.7	75 42.6	30 17.0	22 12.5	4 2.3	19 10.8	6 3.4	6 3.4	44 25.0	6 3.4
40代		191 100.0	106 55.5	65 34.0	69 36.1	24 12.6	16 8.4	2 1.0	27 14.1	3 1.6	5 2.6	46 24.1	7 3.7
50代		189 100.0	96 50.8	73 38.6	57 30.2	24 12.7	20 10.6	6 3.2	24 12.7	7 3.7	4 2.1	48 25.4	9 4.8
60代		248 100.0	95 38.3	85 34.3	61 24.6	18 7.3	16 6.5	9 3.6	30 12.1	5 2.0	8 3.2	74 29.8	23 9.3
70代		269 100.0	83 30.9	71 26.4	54 20.1	21 7.8	20 7.4	11 4.1	29 10.8	5 1.9	10 3.7	98 36.4	28 10.4
80代以上		170 100.0	22 12.9	23 13.5	22 12.9	7 4.1	5 2.9	7 4.1	7 4.1	4 2.4	8 4.7	78 45.9	37 21.8



図表 2-49 この1年間に行った文化、芸術活動〔複数回答〕(Q19①) - 身体障害種別

	総数	コンサートや映画、演劇などに行く	美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	動物園や植物園、水族館などに行く	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	美術などの創作活動をする(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	講演会、セミナー、各種講座に参加する	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	その他	特にない	無回答
身体障害者 総数	914 100.0	329 36.0	263 28.8	251 27.5	100 10.9	72 7.9	28 3.1	96 10.5	24 2.6	36 3.9	294 32.2	81 8.9
視覚	119 100.0	35 29.4	25 21.0	30 25.2	18 15.1	5 4.2	7 5.9	11 9.2	5 4.2	6 5.0	46 38.7	8 6.7
聴覚	133 100.0	43 32.3	47 35.3	34 25.6	8 6.0	8 6.0	0 0.0	14 10.5	3 2.3	7 5.3	44 33.1	11 8.3
平衡機能	28 100.0	5 17.9	5 17.9	8 28.6	2 7.1	1 3.6	2 7.1	1 3.6	0 0.0	1 3.6	10 35.7	3 10.7
音声機能・言語 機能・そしゃく 機能	93 100.0	21 22.6	26 28.0	26 28.0	7 7.5	11 11.8	1 1.1	10 10.8	2 2.2	3 3.2	39 41.9	8 8.6
上肢	175 100.0	63 36.0	43 24.6	58 33.1	24 13.7	30 17.1	10 5.7	18 10.3	6 3.4	7 4.0	57 32.6	12 6.9
下肢	261 100.0	85 32.6	71 27.2	78 29.9	29 11.1	27 10.3	12 4.6	29 11.1	6 2.3	13 5.0	88 33.7	19 7.3
体幹	105 100.0	24 22.9	25 23.8	34 32.4	18 17.1	14 13.3	4 3.8	8 7.6	1 1.0	4 3.8	32 30.5	13 12.4
脳原性運動 機能	72 100.0	29 40.3	19 26.4	28 38.9	15 20.8	13 18.1	1 1.4	6 8.3	1 1.4	2 2.8	22 30.6	4 5.6
内部障害	259 100.0	107 41.3	85 32.8	59 22.8	25 9.7	16 6.2	5 1.9	27 10.4	11 4.2	6 2.3	80 30.9	26 10.0



(2) 今後行いたい文化、芸術活動

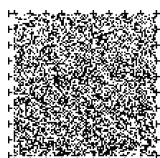
今後行いたい文化、芸術活動は「コンサートや映画、演劇などに行く」が49.6%と最も高く、次いで「動物園や植物園、水族館などに行く」(36.0%)、「美術館・博物館などに行く」(35.5%)。「特にない」は21.7%

今後行いたい文化、芸術活動をみると、「コンサートや映画、演劇などに行く」が49.6%と最も高く、次いで「動物園や植物園、水族館などに行く」(36.0%)、「美術館・博物館などに行く」(35.5%)と高く、全体的にこの1年間行った割合より今後行いたい割合の方が高くなっている。一方「特にない」は21.7%である。

障害別にみると、この1年間に行った文化、芸術活動と同様に、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、その他では、知的障害者は「音楽活動をする」(24.9%)が、難病医療費助成者は「講演会、セミナー、各種講座に参加する」(22.2%)が他の障害に比べて高い。

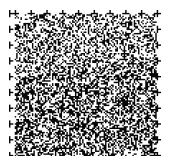
年代別にみると、「コンサートや映画、演劇などに行く」、「美術館・博物館などに行く」、「動物園や植物園、水族館などに行く」は60代までの割合が高くなっている。

身体障害者の障害種別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、特に内部障害は「コンサートや映画、演劇などに行く」(50.6%)が他の身体障害種別よりやや高い。



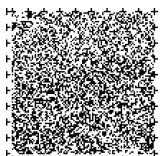
図表 2-50 今後行いたい文化、芸術活動〔複数回答〕(Q19②)－障害別、年代別

	総数	コンサートや映画、演劇などに行く	美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	動物園や植物園、水族館などに行く	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	美術などの創作活動をする(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	講演会、セミナー、各種講座に参加する	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	その他	特になし	無回答	
障害者等総数	1463 100.0	725 49.6	519 35.5	526 36.0	258 17.6	232 15.9	86 5.9	213 14.6	100 6.8	35 2.4	318 21.7	108 7.4	
Q 29 保有している手帳、難病医療費助成、障害の診断	身体障害者	914 100.0	415 45.4	314 34.4	310 33.9	130 14.2	120 13.1	54 5.9	140 15.3	60 6.6	26 2.8	222 24.3	78 8.5
	知的障害者	362 100.0	165 45.6	90 24.9	134 37.0	90 24.9	52 14.4	2 0.6	10 2.8	10 2.8	9 2.5	84 23.2	29 8.0
	精神障害者	241 100.0	109 45.2	76 31.5	72 29.9	34 14.1	42 17.4	18 7.5	34 14.1	21 8.7	8 3.3	57 23.7	26 10.8
	自立支援医療受給者	108 100.0	55 50.9	40 37.0	53 49.1	28 25.9	28 25.9	11 10.2	17 15.7	14 13.0	4 3.7	27 25.0	5 4.6
	難病医療費助成者	316 100.0	188 59.5	130 41.1	123 38.9	61 19.3	64 20.3	19 6.0	70 22.2	24 7.6	2 0.6	54 17.1	18 5.7
	医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	10 45.5	8 36.4	8 36.4	4 18.2	2 9.1	3 13.6	4 18.2	3 13.6	0 0.0	3 13.6	4 18.2
	発達障害と診断	30 100.0	17 56.7	10 33.3	14 46.7	7 23.3	8 26.7	2 6.7	1 3.3	4 13.3	3 10.0	4 13.3	2 6.7
	高次脳機能障害と診断	25 100.0	13 52.0	11 44.0	11 44.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	4 16.0
	認知症と診断	10 100.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	2 20.0
	Q 2 年代	10代	27 100.0	13 48.1	12 44.4	19 70.4	15 55.6	9 33.3	0 0.0	3 11.1	5 18.5	0 0.0	1 3.7
20代		185 100.0	116 62.7	68 36.8	85 45.9	57 30.8	42 22.7	5 2.7	15 8.1	13 7.0	8 4.3	24 13.0	4 2.2
30代		176 100.0	101 57.4	70 39.8	85 48.3	48 27.3	40 22.7	11 6.3	21 11.9	14 8.0	4 2.3	25 14.2	7 4.0
40代		191 100.0	111 58.1	72 37.7	78 40.8	39 20.4	31 16.2	13 6.8	34 17.8	23 12.0	7 3.7	41 21.5	5 2.6
50代		189 100.0	113 59.8	82 43.4	77 40.7	35 18.5	40 21.2	22 11.6	43 22.8	23 12.2	2 1.1	32 16.9	6 3.2
60代		248 100.0	129 52.0	101 40.7	86 34.7	31 12.5	41 16.5	16 6.5	41 16.5	10 4.0	4 1.6	46 18.5	19 7.7
70代		269 100.0	103 38.3	75 27.9	67 24.9	26 9.7	20 7.4	14 5.2	46 17.1	9 3.3	5 1.9	85 31.6	29 10.8
80代以上		170 100.0	36 21.2	39 22.9	28 16.5	5 2.9	9 5.3	5 2.9	10 5.9	3 1.8	5 2.9	63 37.1	32 18.8



図表 2-51 今後行いたい文化、芸術活動〔複数回答〕(Q19②) - 身体障害種別

	総数	コンサートや映画、演劇などに行く	(美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	動物園や植物園、水族館などに行く	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	美術などの創作活動をする(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	講演会、セミナー、各種講座に参加する	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	その他	特にない	無回答
身体障害者 総数	914 100.0	415 45.4	314 34.4	310 33.9	130 14.2	120 13.1	54 5.9	140 15.3	60 6.6	26 2.8	222 24.3	78 8.5
視覚	119 100.0	46 38.7	28 23.5	34 28.6	22 18.5	11 9.2	11 9.2	19 16.0	7 5.9	5 4.2	36 30.3	8 6.7
聴覚	133 100.0	45 33.8	46 34.6	46 34.6	15 11.3	22 16.5	7 5.3	18 13.5	12 9.0	7 5.3	42 31.6	8 6.0
平衡機能	28 100.0	7 25.0	8 28.6	8 28.6	4 14.3	1 3.6	4 14.3	2 7.1	0 0.0	0 0.0	11 39.3	4 14.3
音声機能・言語 機能・そしゃく 機能	93 100.0	45 48.4	35 37.6	38 40.9	10 10.8	16 17.2	4 4.3	15 16.1	6 6.5	2 2.2	22 23.7	6 6.5
上肢	175 100.0	90 51.4	63 36.0	74 42.3	30 17.1	32 18.3	19 10.9	29 16.6	13 7.4	4 2.3	38 21.7	12 6.9
下肢	261 100.0	125 47.9	92 35.2	96 36.8	37 14.2	36 13.8	22 8.4	38 14.6	12 4.6	7 2.7	63 24.1	21 8.0
体幹	105 100.0	39 37.1	34 32.4	44 41.9	21 20.0	12 11.4	9 8.6	8 7.6	6 5.7	2 1.9	22 21.0	13 12.4
脳原性運動 機能	72 100.0	32 44.4	25 34.7	35 48.6	14 19.4	8 11.1	5 6.9	9 12.5	5 6.9	1 1.4	18 25.0	3 4.2
内部障害	259 100.0	131 50.6	100 38.6	82 31.7	32 12.4	30 11.6	11 4.2	40 15.4	24 9.3	2 0.8	52 20.1	24 9.3



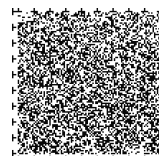
(3) この1年間に行った文化、芸術活動と今後行いたい文化、芸術活動

この1年間に何らかの活動をした人は、今後行いたい活動でも同じ活動を挙げる割合が高く、それ以外の活動を挙げる割合も高い

この1年間に行った文化、芸術活動と、今後行いたい文化、芸術活動をみると、この1年間に何らかの活動をした人は、今後行いたい活動でも同じ活動を挙げる割合が高いほか、それ以外の活動を挙げる割合も高い。一方、この1年間に特に活動を行っていない「特にない」人でも、今後何らかの活動をしたい人は3割強いる。

図表 2-52 この1年間に行った文化、芸術活動 × 今後行いたい文化、芸術活動
〔複数回答〕(Q19①、Q19②)

	総数	今後行いたい文化、芸術活動											
		コンサートや映画、演劇などに行く	美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	動物園や植物園、水族館などに行く	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	美術などの創作活動をする(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	講演会、セミナー、各種講座に参加する	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	その他	特にない	無回答	
障害者等総数	1463 100.0	725 49.6	519 35.5	526 36.0	258 17.6	232 15.9	86 5.9	213 14.6	100 6.8	35 2.4	318 21.7	108 7.4	
この1年間に行った文化、芸術活動	コンサートや映画、演劇などに行く	613 100.0	508 82.9	333 54.3	312 50.9	175 28.5	157 25.6	62 10.1	146 23.8	74 12.1	17 2.8	24 3.9	3 0.5
	美術館、博物館などに行く(館外で開催される美術展、展覧会なども含む)	445 100.0	317 71.2	335 75.3	252 56.6	112 25.2	139 31.2	56 12.6	131 29.4	67 15.1	13 2.9	15 3.4	2 0.4
	動物園や植物園、水族館などに行く	427 100.0	295 69.1	246 57.6	311 72.8	129 30.2	114 26.7	43 10.1	91 21.3	55 12.9	13 3.0	19 4.4	2 0.5
	音楽活動をする(歌や楽器の演奏など)	176 100.0	126 71.6	85 48.3	93 52.8	140 79.5	59 33.5	20 11.4	41 23.3	26 14.8	9 5.1	2 1.1	3 1.7
	美術などの創作活動をする(絵画、彫刻、陶芸、書道、華道など)	123 100.0	82 66.7	78 63.4	73 59.3	46 37.4	91 74.0	24 19.5	35 28.5	25 20.3	3 2.4	3 2.4	1 0.8
	文芸活動をする(短歌・俳句、詩作、小説、評論など)	41 100.0	26 63.4	30 73.2	22 53.7	11 26.8	15 36.6	30 73.2	17 41.5	7 17.1	2 4.9	1 2.4	0 0.0
	講演会、セミナー、各種講座に参加する	149 100.0	108 72.5	93 62.4	76 51.0	43 28.9	47 31.5	26 17.4	105 70.5	27 18.1	3 2.0	6 4.0	1 0.7
	伝統文化などの活動をする(伝統芸能、茶道など)	33 100.0	25 75.8	19 57.6	17 51.5	9 27.3	12 36.4	7 21.2	11 33.3	24 72.7	2 6.1	2 6.1	0 0.0
	その他	47 100.0	21 44.7	18 38.3	16 34.0	7 14.9	9 19.1	5 10.6	7 14.9	2 4.3	18 38.3	6 12.8	4 8.5
	特にない	424 100.0	90 21.2	51 12.0	72 17.0	14 3.3	11 2.6	6 1.4	19 4.5	7 1.7	4 0.9	267 63.0	3 0.7



(4) 文化、芸術活動をする上で必要な支援

文化、芸術活動をする上で必要な支援として、「特にない」が19.5%と最も高い
必要な支援としては、「適切な指導者」(16.8%)、「施設の利用料減免」(16.3%)、「一
緒に行う仲間」(15.2%)、「文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化」(15.2%)が
高い

文化、芸術活動をする上で必要な支援をみると、「特にない」が19.5%と最も高く、次いで、「適切な指導者」(16.8%)、「施設の利用料減免」(16.3%)、「一緒に行う仲間」(15.2%)、「文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化」(15.2%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(14.8%)、「活動の場までの送迎」(14.1%)となっている。

障害別にみると、必要な支援がやや異なり、身体障害者は「文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化」、「交通機関やまちのバリアフリー化」を、精神障害者は「施設の利用料減免」を、難病医療費助成者は「特にない」を挙げる割合が高い。

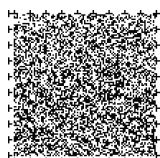
年代別にみると、10代では「適切な指導者」、「一緒に行う仲間」が、20代では「活動できる場の充実」、「障害にあわせたプログラムの充実」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」、「適切な指導者」、「一緒に行う仲間」が、30代では「障害にあわせたプログラムの充実」、「施設の利用料減免」が、40代では「障害や障害者、補助犬などに対する理解促進」、「施設の利用料減免」が他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、聴覚では「介助者や手話通訳などの支援」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」を、音声機能・言語機能・そしゃく機能では「介助者や手話通訳などの支援」を、上肢、下肢、体幹、脳原性運動機能では「文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化」、「交通機関やまちのバリアフリー化」を挙げる人の割合が高い。

今後したい活動別にみると、大きな違いはみられないものの、「美術館、博物館などに行く」人は「施設の利用料減免」を、「音楽活動をする」人は「活動できる場の充実」、「障害に合わせたプログラムの充実」、「適切な指導者」を挙げる割合が他の活動に比べて高くなっている。一方、「特にない」とする人は、「特にない」、「活動したいと思わない」、「わからない」が他の活動に比べて高い。

外出時のサービス利用別にみると、「外出支援を利用している」人は、「活動の場までの送迎」(30.0%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(23.0%)、「介助者や手話通訳などの支援」(15.7%)を、「補装具を使用している」人は「文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化」(24.7%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(25.3%)、「介助者や手話通訳などの支援」(10.7%)を、「特にない」人は「施設の利用料減免」(20.6%)を挙げる割合が他に比べて高い。

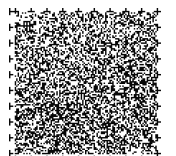
仕事の有無別にみると、「仕事をしている」人は「施設の利用料減免」(24.0%)を、「福祉的就労をしている」人は「活動の場までの送迎」(25.2%)、「活動できる場の充実」(24.3%)、「障害にあわせたプログラムの充実」(27.1%)、「適切な指導者」(38.3%)を挙げる人の割合が他に比べて高い。



図表 2-53 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20) - 障害別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	222 15.2	217 14.8	207 14.1	194 13.3	188 12.9	100 6.8	164 11.2	67 4.6	69 4.7
身体障害者	914 100.0	176 19.3	167 18.3	141 15.4	104 11.4	105 11.5	79 8.6	98 10.7	42 4.6	44 4.8
知的障害者	362 100.0	47 13.0	46 12.7	71 19.6	55 15.2	77 21.3	38 10.5	49 13.5	26 7.2	24 6.6
精神障害者	241 100.0	28 11.6	33 13.7	32 13.3	45 18.7	31 12.9	10 4.1	33 13.7	13 5.4	12 5.0
自立支援医療受給者	108 100.0	10 9.3	16 14.8	22 20.4	24 22.2	22 20.4	11 10.2	21 19.4	7 6.5	5 4.6
難病医療費助成者	316 100.0	38 12.0	46 14.6	38 12.0	44 13.9	26 8.2	8 2.5	23 7.3	9 2.8	12 3.8
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	0 0.0	1 4.5	4 18.2	1 4.5	1 4.5	0 0.0	3 13.6	1 4.5	0 0.0
発達障害と診断	30 100.0	2 6.7	3 10.0	3 10.0	4 13.3	5 16.7	2 6.7	8 26.7	4 13.3	4 13.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	6 24.0	4 16.0	8 32.0	2 8.0	8 32.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0
認知症と診断	10 100.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0

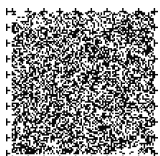
	総数	適切な指導者	一緒に行う仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	246 16.8	223 15.2	58 4.0	238 16.3	27 1.8	286 19.5	63 4.3	109 7.5	157 10.7
身体障害者	914 100.0	122 13.3	119 13.0	30 3.3	133 14.6	17 1.9	159 17.4	44 4.8	65 7.1	116 12.7
知的障害者	362 100.0	78 21.5	63 17.4	7 1.9	47 13.0	7 1.9	48 13.3	13 3.6	38 10.5	35 9.7
精神障害者	241 100.0	41 17.0	44 18.3	18 7.5	58 24.1	5 2.1	37 15.4	8 3.3	18 7.5	36 14.9
自立支援医療受給者	108 100.0	27 25.0	24 22.2	13 12.0	38 35.2	5 4.6	13 12.0	6 5.6	4 3.7	6 5.6
難病医療費助成者	316 100.0	59 18.7	40 12.7	15 4.7	49 15.5	5 1.6	98 31.0	9 2.8	16 5.1	30 9.5
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	3 13.6	4 18.2	2 9.1	5 22.7	0 0.0	4 18.2	0 0.0	2 9.1	4 18.2
発達障害と診断	30 100.0	8 26.7	7 23.3	5 16.7	7 23.3	3 10.0	3 10.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0
高次脳機能障害と診断	25 100.0	6 24.0	5 20.0	0 0.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 16.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0



図表 2-54 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20) 一年代別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	222 15.2	217 14.8	207 14.1	194 13.3	188 12.9	100 6.8	164 11.2	67 4.6	69 4.7
10代	27 100.0	3 11.1	1 3.7	4 14.8	7 25.9	8 29.6	4 14.8	4 14.8	3 11.1	3 11.1
20代	185 100.0	32 17.3	25 13.5	38 20.5	49 26.5	46 24.9	19 10.3	36 19.5	13 7.0	16 8.6
30代	176 100.0	23 13.1	27 15.3	20 11.4	26 14.8	37 21.0	21 11.9	30 17.0	12 6.8	8 4.5
40代	191 100.0	29 15.2	28 14.7	25 13.1	31 16.2	30 15.7	19 9.9	23 12.0	7 3.7	18 9.4
50代	189 100.0	39 20.6	37 19.6	20 10.6	29 15.3	28 14.8	7 3.7	23 12.2	12 6.3	7 3.7
60代	248 100.0	41 16.5	38 15.3	35 14.1	24 9.7	16 6.5	15 6.0	17 6.9	9 3.6	7 2.8
70代	269 100.0	34 12.6	34 12.6	34 12.6	19 7.1	16 5.9	9 3.3	18 6.7	6 2.2	7 2.6
80代以上	170 100.0	21 12.4	25 14.7	30 17.6	8 4.7	7 4.1	6 3.5	12 7.1	5 2.9	3 1.8

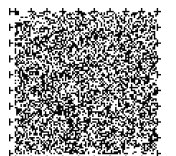
	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特にない	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	246 16.8	223 15.2	58 4.0	238 16.3	27 1.8	286 19.5	63 4.3	109 7.5	157 10.7
10代	27 100.0	12 44.4	13 48.1	2 7.4	5 18.5	0 0.0	3 11.1	0 0.0	1 3.7	1 3.7
20代	185 100.0	54 29.2	44 23.8	11 5.9	35 18.9	6 3.2	15 8.1	6 3.2	14 7.6	3 1.6
30代	176 100.0	32 18.2	30 17.0	10 5.7	41 23.3	6 3.4	36 20.5	3 1.7	13 7.4	10 5.7
40代	191 100.0	41 21.5	38 19.9	11 5.8	43 22.5	4 2.1	40 20.9	7 3.7	15 7.9	9 4.7
50代	189 100.0	25 13.2	22 11.6	5 2.6	40 21.2	2 1.1	43 22.8	2 1.1	19 10.1	8 4.2
60代	248 100.0	33 13.3	29 11.7	9 3.6	36 14.5	2 0.8	61 24.6	13 5.2	13 5.2	29 11.7
70代	269 100.0	34 12.6	29 10.8	6 2.2	27 10.0	5 1.9	60 22.3	18 6.7	25 9.3	42 15.6
80代以上	170 100.0	14 8.2	18 10.6	4 2.4	11 6.5	2 1.2	26 15.3	14 8.2	9 5.3	52 30.6



図表 2-55 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20)－身体障害種別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害に合わせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
身体障害者総数	914 100.0	176 19.3	167 18.3	141 15.4	104 11.4	105 11.5	79 8.6	98 10.7	42 4.6	44 4.8
視覚	119 100.0	22 18.5	23 19.3	27 22.7	16 13.4	18 15.1	12 10.1	19 16.0	13 10.9	7 5.9
聴覚	133 100.0	10 7.5	10 7.5	13 9.8	17 12.8	13 9.8	26 19.5	25 18.8	7 5.3	10 7.5
平衡機能	28 100.0	6 21.4	5 17.9	5 17.9	7 25.0	3 10.7	5 17.9	3 10.7	1 3.6	0 0.0
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	9 9.7	10 10.8	16 17.2	10 10.8	12 12.9	17 18.3	7 7.5	3 3.2	3 3.2
上肢	175 100.0	52 29.7	51 29.1	38 21.7	32 18.3	30 17.1	19 10.9	20 11.4	9 5.1	9 5.1
下肢	261 100.0	80 30.7	74 28.4	51 19.5	39 14.9	30 11.5	15 5.7	26 10.0	10 3.8	10 3.8
体幹	105 100.0	36 34.3	30 28.6	26 24.8	15 14.3	16 15.2	14 13.3	10 9.5	2 1.9	5 4.8
脳原性運動機能	72 100.0	30 41.7	26 36.1	14 19.4	11 15.3	16 22.2	15 20.8	13 18.1	4 5.6	10 13.9
内部障害	259 100.0	37 14.3	37 14.3	31 12.0	26 10.0	22 8.5	7 2.7	21 8.1	8 3.1	8 3.1

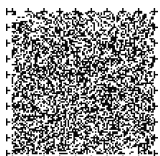
	総数	適切な指導者	一緒に行う仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	122 13.3	119 13.0	30 3.3	133 14.6	17 1.9	159 17.4	44 4.8	65 7.1	116 12.7
視覚	119 100.0	21 17.6	16 13.4	2 1.7	8 6.7	2 1.7	12 10.1	9 7.6	11 9.2	12 10.1
聴覚	133 100.0	14 10.5	20 15.0	4 3.0	17 12.8	3 2.3	23 17.3	7 5.3	10 7.5	16 12.0
平衡機能	28 100.0	1 3.6	2 7.1	0 0.0	1 3.6	1 3.6	4 14.3	1 3.6	2 7.1	8 28.6
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	10 10.8	11 11.8	3 3.2	12 12.9	1 1.1	18 19.4	6 6.5	4 4.3	9 9.7
上肢	175 100.0	35 20.0	20 11.4	8 4.6	21 12.0	5 2.9	16 9.1	5 2.9	13 7.4	14 8.0
下肢	261 100.0	37 14.2	27 10.3	11 4.2	41 15.7	6 2.3	31 11.9	11 4.2	14 5.4	31 11.9
体幹	105 100.0	20 19.0	9 8.6	1 1.0	6 5.7	4 3.8	9 8.6	1 1.0	10 9.5	14 13.3
脳原性運動機能	72 100.0	12 16.7	9 12.5	4 5.6	8 11.1	4 5.6	6 8.3	1 1.4	8 11.1	4 5.6
内部障害	259 100.0	29 11.2	36 13.9	8 3.1	50 19.3	2 0.8	71 27.4	9 3.5	13 5.0	34 13.1



図表 2-56 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20) - 今後活動したい活動別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463	222	217	207	194	188	100	164	67	69
	100.0	15.2	14.8	14.1	13.3	12.9	6.8	11.2	4.6	4.7
コンサートや映画、演劇などに行く	725	158	148	126	141	117	48	99	40	44
	100.0	21.8	20.4	17.4	19.4	16.1	6.6	13.7	5.5	6.1
美術館、博物館などに行く	519	118	106	77	102	84	43	82	31	35
	100.0	22.7	20.4	14.8	19.7	16.2	8.3	15.8	6.0	6.7
動物園や植物園、水族館などに行く	526	107	104	94	106	106	57	94	36	39
	100.0	20.3	19.8	17.9	20.2	20.2	10.8	17.9	6.8	7.4
音楽活動をする	258	49	43	50	86	68	25	39	23	20
	100.0	19.0	16.7	19.4	33.3	26.4	9.7	15.1	8.9	7.8
美術などの創作活動をする	232	47	46	37	70	54	26	44	17	18
	100.0	20.3	19.8	15.9	30.2	23.3	11.2	19.0	7.3	7.8
文芸活動をする	86	20	22	15	25	21	8	25	9	6
	100.0	23.3	25.6	17.4	29.1	24.4	9.3	29.1	10.5	7.0
講演会、セミナー、各種講座に参加する	213	51	45	32	61	31	16	37	11	12
	100.0	23.9	21.1	15.0	28.6	14.6	7.5	17.4	5.2	5.6
伝統文化などの活動をする	100	25	23	19	32	20	12	26	10	10
	100.0	25.0	23.0	19.0	32.0	20.0	12.0	26.0	10.0	10.0
その他	35	6	6	8	9	4	4	4	2	4
	100.0	17.1	17.1	22.9	25.7	11.4	11.4	11.4	5.7	11.4
特にない	318	14	18	23	7	13	10	9	4	5
	100.0	4.4	5.7	7.2	2.2	4.1	3.1	2.8	1.3	1.6

	総数	適切な指導者	一緒に行う仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特にない	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463	246	223	58	238	27	286	63	109	157
	100.0	16.8	15.2	4.0	16.3	1.8	19.5	4.3	7.5	10.7
コンサートや映画、演劇などに行く	725	164	151	38	166	14	127	9	19	38
	100.0	22.6	20.8	5.2	22.9	1.9	17.5	1.2	2.6	5.2
美術館、博物館などに行く	519	122	104	31	141	9	94	3	16	20
	100.0	23.5	20.0	6.0	27.2	1.7	18.1	0.6	3.1	3.9
動物園や植物園、水族館などに行く	526	132	104	29	125	9	85	2	18	19
	100.0	25.1	19.8	5.5	23.8	1.7	16.2	0.4	3.4	3.6
音楽活動をする	258	97	75	23	70	5	29	0	9	5
	100.0	37.6	29.1	8.9	27.1	1.9	11.2	0.0	3.5	1.9
美術などの創作活動をする	232	80	54	24	61	4	36	1	7	5
	100.0	34.5	23.3	10.3	26.3	1.7	15.5	0.4	3.0	2.2
文芸活動をする	86	32	24	7	23	4	14	0	1	1
	100.0	37.2	27.9	8.1	26.7	4.7	16.3	0.0	1.2	1.2
講演会、セミナー、各種講座に参加する	213	64	52	14	63	4	30	1	6	6
	100.0	30.0	24.4	6.6	29.6	1.9	14.1	0.5	2.8	2.8
伝統文化などの活動をする	100	37	30	17	38	2	4	0	2	2
	100.0	37.0	30.0	17.0	38.0	2.0	4.0	0.0	2.0	2.0
その他	35	7	6	1	7	3	2	2	2	2
	100.0	20.0	17.1	2.9	20.0	8.6	5.7	5.7	5.7	5.7
特にない	318	16	13	5	11	7	99	48	68	34
	100.0	5.0	4.1	1.6	3.5	2.2	31.1	15.1	21.4	10.7



図表 2-57 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20)

－外出時のサービス利用別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	222 15.2	217 14.8	207 14.1	194 13.3	188 12.9	100 6.8	164 11.2	67 4.6	69 4.7
外出支援を利用している	217 100.0	49 22.6	42 19.4	65 30.0	38 17.5	50 23.0	34 15.7	27 12.4	9 4.1	22 10.1
補装具を使用している	384 100.0	95 24.7	97 25.3	75 19.5	48 12.5	46 12.0	41 10.7	56 14.6	14 3.6	27 7.0
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
特になし	862 100.0	104 12.1	97 11.3	84 9.7	115 13.3	103 11.9	34 3.9	87 10.1	48 5.6	29 3.4

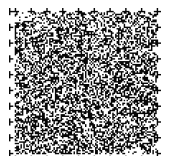
	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	246 16.8	223 15.2	58 4.0	238 16.3	27 1.8	286 19.5	63 4.3	109 7.5	157 10.7
外出支援を利用している	217 100.0	56 25.8	37 17.1	5 2.3	25 11.5	7 3.2	15 6.9	7 3.2	11 5.1	21 9.7
補装具を使用している	384 100.0	48 12.5	42 10.9	13 3.4	37 9.6	12 3.1	47 12.2	16 4.2	21 5.5	58 15.1
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特になし	862 100.0	144 16.7	139 16.1	40 4.6	178 20.6	10 1.2	221 25.6	39 4.5	76 8.8	53 6.1

図表 2-58 文化、芸術活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q20)

－仕事の有無別

	総数	文化、芸術活動を行う施設のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	活動できる場の充実	障害にあわせたプログラムの充実	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	222 15.2	217 14.8	207 14.1	194 13.3	188 12.9	100 6.8	164 11.2	67 4.6	69 4.7
仕事をしている	458 100.0	68 14.8	62 13.5	32 7.0	61 13.3	60 13.1	28 6.1	65 14.2	31 6.8	27 5.9
仕事をしていない	839 100.0	139 16.6	141 16.8	135 16.1	104 12.4	93 11.1	55 6.6	83 9.9	29 3.5	35 4.2
福祉的就労をしている	107 100.0	8 7.5	7 6.5	27 25.2	26 24.3	29 27.1	12 11.2	10 9.3	6 5.6	5 4.7

	総数	適切な指導者	一緒に行く仲間	用具等の貸出	施設の利用料減免	その他	特になし	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	246 16.8	223 15.2	58 4.0	238 16.3	27 1.8	286 19.5	63 4.3	109 7.5	157 10.7
仕事をしている	458 100.0	79 17.2	81 17.7	20 4.4	110 24.0	7 1.5	109 23.8	10 2.2	35 7.6	21 4.6
仕事をしていない	839 100.0	120 14.3	105 12.5	31 3.7	106 12.6	17 2.0	160 19.1	49 5.8	62 7.4	110 13.1
福祉的就労をしている	107 100.0	41 38.3	31 29.0	5 4.7	18 16.8	2 1.9	12 11.2	1 0.9	8 7.5	3 2.8



5 ボランティア活動について

(1) 今までに参加したボランティアの活動分野

何らかのボランティア活動に参加した人は 31.5%。主な活動分野は、「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」(17.0%) や「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」(9.0%)

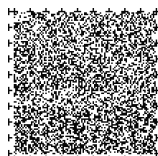
今までに何らかのボランティア活動に参加した人は 31.5%、一方「特にない」は 54.3% となっている。活動分野は、「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」が 17.0% と最も高く、次いで「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」(9.0%) となっている。

障害別にみると、難病患者が何らかの活動に参加した割合が高く、特に「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」で高くなっている。一方、知的障害者は「特にない」が他の障害に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、聴覚、内部障害で何らかのボランティア活動に参加している割合がやや高く、参加した分野では、聴覚は「スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動」が、内部障害は「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」が他の身体障害種別に比べて高くなっている。一方、脳原性運動機能では「特にない」が他の身体障害種別に比べて高い。

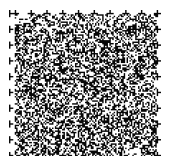
図表 2-59 今までに参加したボランティアの活動分野〔複数回答〕(Q21①) - 障害別

	総数	何らかの活動に参加	参加した分野							特にない	無回答
			障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	育、文化に関する活動	会、展示会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	講演会、教室・学習	活動	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	お祭り、町会・自治会などの地域の活動		
障害者等総数	1463	461	131		117	73	248	25	58	795	207
	100.0	31.5	9.0		8.0	5.0	17.0	1.7	4.0	54.3	14.1
身体障害者	914	271	78		76	44	148	14	28	492	151
	100.0	29.6	8.5		8.3	4.8	16.2	1.5	3.1	53.8	16.5
知的障害者	362	75	21		10	15	38	3	14	230	57
	100.0	20.7	5.8		2.8	4.1	10.5	0.8	3.9	63.5	15.7
精神障害者	241	79	29		14	12	31	6	14	119	43
	100.0	32.8	12.0		5.8	5.0	12.9	2.5	5.8	49.4	17.8
自立支援医療受給者	108	36	15		9	3	14	2	8	65	7
	100.0	33.3	13.9		8.3	2.8	13.0	1.9	7.4	60.2	6.5
難病医療費助成者	316	135	34		32	19	84	5	15	154	27
	100.0	42.7	10.8		10.1	6.0	26.6	1.6	4.7	48.7	8.5
医療費助成対象外の難病患者	22	11	2		3	1	6	0	2	6	5
	100.0	50.0	9.1		13.6	4.5	27.3	0.0	9.1	27.3	22.7
発達障害と診断	30	11	3		4	1	5	1	2	16	3
	100.0	36.7	10.0		13.3	3.3	16.7	3.3	6.7	53.3	10.0
高次脳機能障害と診断	25	6	2		2	1	4	1	0	14	5
	100.0	24.0	8.0		8.0	4.0	16.0	4.0	0.0	56.0	20.0
認知症と診断	10	4	2		1	0	3	0	0	4	2
	100.0	40.0	20.0		10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	40.0	20.0



図表 2-60 今までに参加したボランティアの活動分野〔複数回答〕(Q21①)－身体障害種別

	総数	何らかの活動に参加	参加した分野						特 に な い	無 回 答
			社、医療に関する活動	障害者、高齢者等の支援などの福	企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	講演会、教室・学習会、展覧会等の	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	お祭り、町会・自治会などの地域の活動		
身体障害者総数	914	271	78	76	44	148	14	28	492	151
	100.0	29.6	8.5	8.3	4.8	16.2	1.5	3.1	53.8	16.5
視覚	119	34	9	10	7	17	0	5	67	18
	100.0	28.6	7.6	8.4	5.9	14.3	0.0	4.2	56.3	15.1
聴覚	133	48	11	17	12	21	3	6	63	22
	100.0	36.1	8.3	12.8	9.0	15.8	2.3	4.5	47.4	16.5
平衡機能	28	5	0	1	0	5	1	0	13	10
	100.0	17.9	0.0	3.6	0.0	17.9	3.6	0.0	46.4	35.7
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93	25	9	9	2	12	0	2	55	13
	100.0	26.9	9.7	9.7	2.2	12.9	0.0	2.2	59.1	14.0
上肢	175	35	15	12	6	13	3	3	108	32
	100.0	20.0	8.6	6.9	3.4	7.4	1.7	1.7	61.7	18.3
下肢	261	64	23	18	4	32	3	5	149	48
	100.0	24.5	8.8	6.9	1.5	12.3	1.1	1.9	57.1	18.4
体幹	105	18	10	2	0	6	1	3	61	26
	100.0	17.1	9.5	1.9	0.0	5.7	1.0	2.9	58.1	24.8
脳原性運動機能	72	15	7	4	3	5	1	2	45	12
	100.0	20.8	9.7	5.6	4.2	6.9	1.4	2.8	62.5	16.7
内部障害	259	89	21	23	14	57	5	7	132	38
	100.0	34.4	8.1	8.9	5.4	22.0	1.9	2.7	51.0	14.7



(2) 今までに参加したボランティアの内容

今までに参加したボランティアの内容として、「イベント等の会場準備の手伝い」(12.4%)、「清掃」(10.9%)、「活動の指導、手伝い」(10.6%)が上位に挙げられている。一方、「特にない」が56.2%

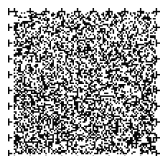
「イベント等の会場準備の手伝い」は医療費助成対象外の難病患者、「清掃」は発達障害や認知症と診断された人の割合が高い

今までに参加したボランティアの内容として、「イベント等の会場準備の手伝い」(12.4%)、「清掃」(10.9%)、「活動の指導、手伝い」(10.6%)が比較的高くなっている。一方、「特にない」は56.2%となっている。

障害別にみると、どの障害でも「イベント等の会場準備の手伝い」、「清掃」、「活動の指導、手伝い」、「受付・案内」がおおむね上位に挙げられているものの、特に「イベント等の会場準備の手伝い」は医療費助成対象外の難病患者(27.3%)、「清掃」では発達障害と診断されている人(23.3%)、認知症と診断された人(20.0%)の割合が他の障害に比べて高い。

図表 2-61 今までに参加したボランティアの内容〔複数回答〕(Q22①) - 障害別

	総数	受付・案内	活動の指導、手伝い	イベント等の会場準備の手伝い	清掃	移動や身の回りの介助などの手伝い	手話などコミュニケーションの手伝い	話し相手、遊び相手、学習支援	その他	特にない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	141 9.6	155 10.6	182 12.4	159 10.9	49 3.3	19 1.3	93 6.4	51 3.5	822 56.2	185 12.6
身体障害者	914 100.0	85 9.3	100 10.9	111 12.1	84 9.2	20 2.2	16 1.8	55 6.0	28 3.1	512 56.0	136 14.9
知的障害者	362 100.0	14 3.9	14 3.9	22 6.1	38 10.5	6 1.7	1 0.3	11 3.0	12 3.3	235 64.9	51 14.1
精神障害者	241 100.0	19 7.9	25 10.4	20 8.3	30 12.4	15 6.2	2 0.8	25 10.4	9 3.7	124 51.5	38 15.8
自立支援医療受給者	108 100.0	9 8.3	19 17.6	13 12.0	13 12.0	9 8.3	1 0.9	14 13.0	3 2.8	64 59.3	4 3.7
難病医療費助成者	316 100.0	48 15.2	45 14.2	63 19.9	41 13.0	12 3.8	3 0.9	26 8.2	12 3.8	165 52.2	22 7.0
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	3 13.6	3 13.6	6 27.3	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5	11 50.0	2 9.1
発達障害と診断	30 100.0	2 6.7	5 16.7	4 13.3	7 23.3	5 16.7	0 0.0	6 20.0	2 6.7	15 50.0	4 13.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	2 8.0	4 16.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	14 56.0	5 20.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0



(3) 今までに参加したボランティアの活動分野と今までに参加したボランティアの内容

「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」は、「活動の指導、手伝い」が高く、「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」は「イベント等の会場準備の手伝い」や「清掃」が高い

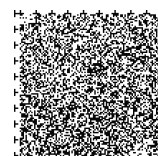
今までに参加したボランティアの活動分野と内容をみると、「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」では「活動の指導、手伝い」が高く、「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」では「活動の指導、手伝い」、「受付・案内」、「イベント等の会場準備の手伝い」が高い。

「スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動」では、「イベント等の会場準備の手伝い」、「活動の指導、手伝い」、「清掃」が高い。

また、「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」では、「イベント等の会場準備の手伝い」や「清掃」が高くなっている。

図表 2-62 今までに参加したボランティアの活動分野×今までに参加したボランティアの内容
〔複数回答〕(Q21①、Q22①)

		今までに参加したボランティアの内容										
		総数	受付・案内	活動の指導、手伝い	イベント等の会場準備の手伝い	清掃	移動や身の回りの介助などの手伝い	手話などコミュニケーションの手伝い	話し相手、遊び相手、学習支援	その他	特にない	無回答
障害者等総数		1463 100.0	141 9.6	155 10.6	182 12.4	159 10.9	49 3.3	19 1.3	93 6.4	51 3.5	822 56.2	185 12.6
今までに参加したボランティアの活動分野	障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	131 100.0	43 32.8	57 43.5	46 35.1	30 22.9	34 26.0	8 6.1	43 32.8	15 11.5	13 9.9	5 3.8
	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	117 100.0	56 47.9	57 48.7	54 46.2	32 27.4	16 13.7	12 10.3	30 25.6	15 12.8	5 4.3	4 3.4
	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	73 100.0	27 37.0	34 46.6	40 54.8	32 43.8	8 11.0	5 6.8	8 11.0	8 11.0	7 9.6	2 2.7
	お祭り、町会・自治会などの地域の活動	248 100.0	64 25.8	73 29.4	109 44.0	84 33.9	16 6.5	6 2.4	37 14.9	20 8.1	41 16.5	6 2.4
	企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	25 100.0	9 36.0	10 40.0	15 60.0	13 52.0	6 24.0	2 8.0	9 36.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0
	その他	58 100.0	14 24.1	20 34.5	18 31.0	16 27.6	9 15.5	1 1.7	18 31.0	18 31.0	7 12.1	3 5.2
	特にない	795 100.0	16 2.0	9 1.1	15 1.9	31 3.9	1 0.1	2 0.3	5 0.6	5 0.6	720 90.6	12 1.5



(4) 今後参加したいボランティアの活動分野

今後参加したいボランティア活動として、何らかのボランティア活動への参加を挙げた人は 32.1%。医療費助成対象外の難病患者、難病医療費助成者で高い
 自立支援医療受給者は「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」が、
 難病医療費助成者は「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」が他の障害に比べて高い

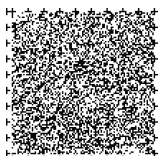
今後参加したいボランティア活動として何らかの活動分野を挙げた人は 32.1%、一方「特になし」は 52.4%となっている。活動分野は、「お祭り、町会・自治会などの地域の活動」(13.1%)、「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」(12.4%)、「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」(10.3%)、「スポーツ大会などのスポーツ・運動に関する活動」(8.5%)で、大差はない。

障害別にみると、自立支援医療受給者は「障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動」が、難病医療費助成者は「講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動」が他の障害に比べて高くなっている。

身体障害者の障害種別にみると、大きな違いはみられないものの、内部障害で参加意向がやや高い一方で、平衡機能では参加意向がやや低くなっている。

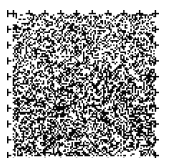
図表 2-63 今後参加したいボランティアの活動分野〔複数回答〕(Q21②) - 障害別

	総数	何らかの活動に参加したい	参加したい分野						特になし	無回答
			障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	スポーツ大会などのスポーツ・運動に関する活動	お祭り、町会・自治会などの地域の活動	企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	その他		
障害者等総数	1463 100.0	469 32.1	182 12.4	150 10.3	124 8.5	191 13.1	86 5.9	33 2.3	767 52.4	227 15.5
身体障害者	914 100.0	280 30.6	100 10.9	86 9.4	72 7.9	112 12.3	52 5.7	24 2.6	471 51.5	163 17.8
知的障害者	362 100.0	83 22.9	27 7.5	14 3.9	23 6.4	35 9.7	11 3.0	7 1.9	216 59.7	63 17.4
精神障害者	241 100.0	81 33.6	40 16.6	25 10.4	18 7.5	27 11.2	15 6.2	6 2.5	117 48.5	43 17.8
自立支援医療受給者	108 100.0	45 41.7	29 26.9	12 11.1	10 9.3	12 11.1	11 10.2	3 2.8	55 50.9	8 7.4
難病医療費助成者	316 100.0	133 42.1	59 18.7	57 18.0	37 11.7	57 18.0	19 6.0	7 2.2	154 48.7	29 9.2
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	11 50.0	4 18.2	3 13.6	2 9.1	6 27.3	3 13.6	1 4.5	8 36.4	3 13.6
発達障害と診断	30 100.0	11 36.7	4 13.3	3 10.0	2 6.7	4 13.3	2 6.7	1 3.3	14 46.7	5 16.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	10 40.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	10 40.0	5 20.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0	2 20.0



図表 2-64 今後参加したいボランティアの活動分野〔複数回答〕(Q21②) - 身体障害種別

	総数	何らかの活動に参加したい	参加したい分野						特 に ない	無 回 答
			障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	お祭り、町会・自治会などの地域の活動	企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	その他		
身体障害者総数	914 100.0	280 30.6	100 10.9	86 9.4	72 7.9	112 12.3	52 5.7	24 2.6	471 51.5	163 17.8
視覚	119 100.0	33 27.7	10 8.4	9 7.6	13 10.9	10 8.4	8 6.7	4 3.4	62 52.1	24 20.2
聴覚	133 100.0	43 32.3	14 10.5	13 9.8	16 12.0	21 15.8	15 11.3	3 2.3	72 54.1	18 13.5
平衡機能	28 100.0	5 17.9	2 7.1	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	1 3.6	12 42.9	11 39.3
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	28 30.1	7 7.5	6 6.5	3 3.2	10 10.8	5 5.4	5 5.4	51 54.8	14 15.1
上肢	175 100.0	56 32.0	24 13.7	19 10.9	11 6.3	15 8.6	13 7.4	4 2.3	88 50.3	31 17.7
下肢	261 100.0	75 28.7	29 11.1	20 7.7	12 4.6	21 8.0	12 4.6	6 2.3	130 49.8	56 21.5
体幹	105 100.0	27 25.7	12 11.4	8 7.6	5 4.8	6 5.7	6 5.7	2 1.9	55 52.4	23 21.9
脳原性運動機能	72 100.0	23 31.9	6 8.3	6 8.3	4 5.6	9 12.5	4 5.6	2 2.8	37 51.4	12 16.7
内部障害	259 100.0	90 34.7	30 11.6	29 11.2	22 8.5	44 17.0	13 5.0	8 3.1	129 49.8	40 15.4



(5) 今後参加したいボランティアの内容

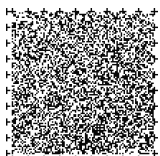
今後参加したいボランティアの内容として、「イベント等の会場準備の手伝い」(11.1%)、「受付・案内」(10.2%)、「話し相手、遊び相手、学習支援」(10.0%)が上位に挙げられている。一方、「特にない」が54.3%
 自立支援医療受給者は「活動の指導、手伝い」、難病医療費助成者は「受付・案内」、「話し相手、遊び相手、学習支援」が他の障害に比べて高い

今後参加したいボランティアの内容として、「イベント等の会場準備の手伝い」(11.1%)、「受付・案内」(10.2%)、「話し相手、遊び相手、学習支援」(10.0%)が比較的高くなっている。一方「特にない」は54.3%となっている。

障害別にみると、大きな違いはみられないものの、自立支援医療受給者は「活動の指導、手伝い」を、難病医療費助成者は「受付・案内」、「話し相手、遊び相手、学習支援」を挙げる人の割合が他の障害に比べて高い。

図表 2-65 今後参加したいボランティアの内容〔複数回答〕(Q22②) - 障害別

	総数	受付・案内	活動の指導、手伝い	イベント等の会場準備の手伝い	清掃	移動や身の回りの介助などの手伝い	手話などコミュニケーションの手伝い	話し相手、遊び相手、学習支援	その他	特にない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	149 10.2	140 9.6	163 11.1	108 7.4	61 4.2	50 3.4	146 10.0	41 2.8	795 54.3	210 14.4
身体障害者	914 100.0	77 8.4	83 9.1	88 9.6	51 5.6	32 3.5	34 3.7	79 8.6	28 3.1	505 55.3	153 16.7
知的障害者	362 100.0	18 5.0	11 3.0	35 9.7	32 8.8	5 1.4	5 1.4	17 4.7	10 2.8	222 61.3	55 15.2
精神障害者	241 100.0	26 10.8	27 11.2	27 11.2	25 10.4	15 6.2	12 5.0	29 12.0	6 2.5	119 49.4	40 16.6
自立支援医療受給者	108 100.0	16 14.8	22 20.4	17 15.7	13 12.0	7 6.5	4 3.7	17 15.7	3 2.8	53 49.1	7 6.5
難病医療費助成者	316 100.0	55 17.4	42 13.3	46 14.6	18 5.7	24 7.6	10 3.2	57 18.0	11 3.5	153 48.4	31 9.8
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	2 9.1	3 13.6	4 18.2	3 13.6	2 9.1	2 9.1	4 18.2	1 4.5	10 45.5	3 13.6
発達障害と診断	30 100.0	4 13.3	5 16.7	4 13.3	5 16.7	3 10.0	1 3.3	4 13.3	0 0.0	15 50.0	3 10.0
高次脳機能障害と診断	25 100.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	13 52.0	5 20.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 90.0	1 10.0



(6) 今までに参加したボランティアの活動分野と今後参加したいボランティアの活動分野

半数の人が、今後参加したいボランティア活動分野として、今までに参加したボランティア活動分野と同じものを挙げている

何らかのボランティア活動参加者は、今後、他の活動分野に対しても参加したい割合が高い

今までに参加したボランティア活動分野と今後参加したいボランティア活動分野の状況をみると、どの活動分野でも、今後参加したい活動分野として同じ分野を挙げている人が5割前後となっている。また、今までに何らかのボランティア活動をしたことのある人は、今までに参加したことのない活動に対しても参加を希望する人の割合が高くなっている。

図表 2-66 今までに参加したボランティアの活動分野×今後参加したいボランティアの活動分野〔複数回答〕(Q21①、Q21②)

	総数	今後参加したいボランティアの活動分野								
		福祉、医療に関する活動	障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	お祭り、町会・自治会などの地域の活動	企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	その他	特にない
障害者等総数	1463	182	150	124	191	86	33	767	227	
	100.0	12.4	10.3	8.5	13.1	5.9	2.3	52.4	15.5	
今までに参加したボランティアの活動分野	障害者、高齢者等の支援などの福祉、医療に関する活動	131	73	36	24	30	15	7	25	8
		100.0	55.7	27.5	18.3	22.9	11.5	5.3	19.1	6.1
	講演会、教室・学習会、展覧会等の企画・運営、手伝いなどの教育、文化に関する活動	117	40	63	24	34	19	6	19	8
		100.0	34.2	53.8	20.5	29.1	16.2	5.1	16.2	6.8
	スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	73	16	20	39	27	13	1	16	3
		100.0	21.9	27.4	53.4	37.0	17.8	1.4	21.9	4.1
	お祭り、町会・自治会などの地域の活動	248	51	45	39	114	24	6	66	22
		100.0	20.6	18.1	15.7	46.0	9.7	2.4	26.6	8.9
企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	25	5	11	5	11	14	1	4	1	
	100.0	20.0	44.0	20.0	44.0	56.0	4.0	16.0	4.0	
その他	58	15	11	4	10	6	19	18	5	
	100.0	25.9	19.0	6.9	17.2	10.3	32.8	31.0	8.6	
特にない	795	57	43	44	47	34	8	633	14	
	100.0	7.2	5.4	5.5	5.9	4.3	1.0	79.6	1.8	



(7) ボランティア活動をする上で必要な支援

ボランティア活動をする上で必要な支援については、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」、「一緒に行く仲間」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」、「活動の場までの送迎」がいずれも10%強となっている

ボランティア活動をする上で必要な支援として、何らかの項目を挙げた人は40.1%である。「ボランティア活動に関する情報提供の充実」、「一緒に行く仲間」、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」、「活動の場までの送迎」がいずれも10%強となっている。

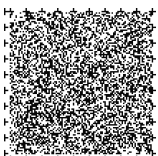
障害別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられない。一方、難病医療費助成者は「特になし」とする割合が他の障害に比べて高い。

年代別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、10代は「一緒に行く仲間」(33.3%)、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(33.3%)、20代では「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(21.1%)、「一緒に行く仲間」(26.5%)、40代では「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(22.0%)を、60代では「特になし」を挙げる割合が他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、特に聴覚では「介助者や手話通訳などの支援」(14.3%)が、上肢や下肢では「交通機関やまちのバリアフリー化」(18.3%、17.6%)を挙げる割合が他の身体障害種別に比べて高い。

今後参加したい活動分野別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、「福祉、医療に関する活動」は「活動場所のバリアフリー化」(24.7%)、「活動の場までの送迎」(24.2%)、「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(34.6%)「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(37.9%)を、「教育、文化に関する活動」は「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(35.3%)、「施設等を利用する際に必要な手続きの支援」(18.0%)、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(46.7%)を、「スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動」は「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(33.9%)、「障害や障害者、補助犬などに対する理解促進」(16.9%)、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(37.9%)を挙げる割合が他の活動分野に比べて高い。

今後参加したい内容別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、「受付・案内」、「イベント等の会場準備の手伝い」は「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(44.3%、42.9%)が、「移動や身の回りの介助などの手伝い」は「障害や障害者、補助犬などに対する理解促進」(26.2%)が、「手話などコミュニケーションの手伝い」は「介助者や手話通訳などの支援」(26.0%)を、「話し相手、遊び相手、学習支援」は「施設等を利用する際に必要な手続きの支援」(18.5%)を挙げる割合が他の活動内容に比べて高い。



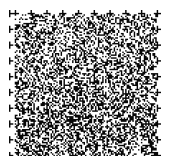
外出時のサービス利用別にみると、「外出支援を利用している」人は「介助者や手話通訳などの支援」(11.1%)を、「補装具を使用している」人は「活動場所のバリアフリー化」(12.2%)、「交通機関やまちのバリアフリー化」(12.8%)を、「特にない」人は「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(18.7%)、「特にない」(23.0%)を挙げる割合が他に比べて高い。

仕事の有無別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、「仕事をしている」人は「障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実」(20.1%)、「施設等を利用する際に必要な手続きの支援」(9.8%)、「障害や障害者、補助犬などに対する理解促進」(7.9%)、「ボランティア活動に関する情報提供の充実」(24.5%)を、「仕事をしていない」人は「活動したいと思わない」(13.6%)を、「福祉的就労をしている」人は「一緒に行く仲間」(29.0%)を挙げる割合が他に比べて高い。

図表 2-67 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23) - 障害別

	総数	活動場所のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	活動の場までの送迎	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
身体障害者	914 100.0	96 10.5	99 10.8	96 10.5	51 5.6	106 11.6	47 5.1	47 5.1
知的障害者	362 100.0	24 6.6	25 6.9	44 12.2	25 6.9	46 12.7	28 7.7	20 5.5
精神障害者	241 100.0	28 11.6	25 10.4	30 12.4	8 3.3	41 17.0	16 6.6	14 5.8
自立支援医療受給者	108 100.0	10 9.3	10 9.3	19 17.6	9 8.3	26 24.1	10 9.3	4 3.7
難病医療費助成者	316 100.0	32 10.1	35 11.1	36 11.4	6 1.9	39 12.3	20 6.3	16 5.1
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	0 0.0	1 4.5	3 13.6	1 4.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1
発達障害と診断	30 100.0	4 13.3	3 10.0	3 10.0	1 3.3	8 26.7	3 10.0	4 13.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	4 16.0	3 12.0	6 24.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

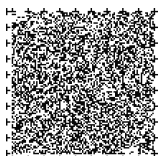
	総数	一緒に行く仲間	ボランティア活動に関する情報提供の充実	その他	特にない	活動したいと思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
身体障害者	914 100.0	113 12.4	108 11.8	20 2.2	162 17.7	101 11.1	120 13.1	188 20.6
知的障害者	362 100.0	66 18.2	39 10.8	8 2.2	52 14.4	40 11.0	71 19.6	66 18.2
精神障害者	241 100.0	39 16.2	41 17.0	7 2.9	37 15.4	31 12.9	26 10.8	44 18.3
自立支援医療受給者	108 100.0	24 22.2	25 23.1	7 6.5	12 11.1	21 19.4	11 10.2	10 9.3
難病医療費助成者	316 100.0	39 12.3	62 19.6	8 2.5	84 26.6	28 8.9	30 9.5	39 12.3
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	4 18.2	2 9.1	2 9.1	4 18.2	1 4.5	1 4.5	5 22.7
発達障害と診断	30 100.0	8 26.7	7 23.3	1 3.3	3 10.0	4 13.3	6 20.0	2 6.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	6 24.0	3 12.0	2 8.0	0 0.0	1 4.0	4 16.0	6 24.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0



図表 2-68 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23) 一年代別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリア フリー化	活動の場 での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合せ 方法の充 実	施設等を利用 する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
10代	27 100.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4	3 11.1	4 14.8	3 11.1	3 11.1
20代	185 100.0	18 9.7	21 11.4	27 14.6	11 5.9	39 21.1	20 10.8	10 5.4
30代	176 100.0	16 9.1	14 8.0	16 9.1	11 6.3	26 14.8	7 4.0	9 5.1
40代	191 100.0	20 10.5	17 8.9	25 13.1	14 7.3	42 22.0	15 7.9	23 12.0
50代	189 100.0	27 14.3	27 14.3	17 9.0	7 3.7	35 18.5	18 9.5	11 5.8
60代	248 100.0	26 10.5	24 9.7	34 13.7	11 4.4	18 7.3	15 6.0	11 4.4
70代	269 100.0	16 5.9	21 7.8	31 11.5	8 3.0	15 5.6	8 3.0	8 3.0
80代以上	170 100.0	10 5.9	12 7.1	9 5.3	3 1.8	9 5.3	3 1.8	2 1.2

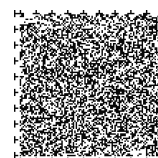
	総数	一緒に行う 仲間	ボランティア 活動に関す る情報提供 の充実	その他	特にな い	活動したい と思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
10代	27 100.0	9 33.3	9 33.3	0 0.0	5 18.5	2 7.4	7 25.9	1 3.7
20代	185 100.0	49 26.5	35 18.9	6 3.2	15 8.1	23 12.4	36 19.5	15 8.1
30代	176 100.0	24 13.6	31 17.6	7 4.0	40 22.7	15 8.5	25 14.2	23 13.1
40代	191 100.0	37 19.4	40 20.9	3 1.6	37 19.4	16 8.4	24 12.6	18 9.4
50代	189 100.0	28 14.8	46 24.3	4 2.1	33 17.5	21 11.1	23 12.2	18 9.5
60代	248 100.0	27 10.9	32 12.9	3 1.2	60 24.2	29 11.7	26 10.5	42 16.9
70代	269 100.0	28 10.4	22 8.2	6 2.2	56 20.8	33 12.3	34 12.6	65 24.2
80代以上	170 100.0	11 6.5	4 2.4	6 3.5	23 13.5	22 12.9	18 10.6	67 39.4



図表 2-69 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23) - 身体障害種別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリ アフリー化	活動の場ま での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合 せ方法の充 実	施設等を利用する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
身体障害者総数	914 100.0	96 10.5	99 10.8	96 10.5	51 5.6	106 11.6	47 5.1	47 5.1
視覚	119 100.0	13 10.9	11 9.2	16 13.4	11 9.2	18 15.1	7 5.9	5 4.2
聴覚	133 100.0	4 3.0	6 4.5	7 5.3	19 14.3	22 16.5	6 4.5	12 9.0
平衡機能	28 100.0	4 14.3	3 10.7	1 3.6	1 3.6	2 7.1	0 0.0	1 3.6
音声機能・言語機能・ そしゃく機能	93 100.0	7 7.5	6 6.5	8 8.6	10 10.8	11 11.8	5 5.4	2 2.2
上肢	175 100.0	29 16.6	32 18.3	23 13.1	9 5.1	20 11.4	5 2.9	14 8.0
下肢	261 100.0	39 14.9	46 17.6	31 11.9	8 3.1	24 9.2	10 3.8	12 4.6
体幹	105 100.0	18 17.1	18 17.1	11 10.5	7 6.7	10 9.5	2 1.9	6 5.7
脳原性運動機能	72 100.0	13 18.1	12 16.7	6 8.3	5 6.9	9 12.5	4 5.6	6 8.3
内部障害	259 100.0	17 6.6	15 5.8	28 10.8	6 2.3	26 10.0	20 7.7	9 3.5

	総数	一緒に行く 仲間	ボランティア 活動に関す る情報提供 の充実	その他	特にな い	活動したい と思わない	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	113 12.4	108 11.8	20 2.2	162 17.7	101 11.1	120 13.1	188 20.6
視覚	119 100.0	19 16.0	5 4.2	1 0.8	19 16.0	18 15.1	10 8.4	26 21.8
聴覚	133 100.0	14 10.5	19 14.3	5 3.8	20 15.0	20 15.0	15 11.3	28 21.1
平衡機能	28 100.0	1 3.6	3 10.7	4 14.3	2 7.1	1 3.6	2 7.1	13 46.4
音声機能・言語機能・ そしゃく機能	93 100.0	11 11.8	8 8.6	6 6.5	19 20.4	9 9.7	14 15.1	18 19.4
上肢	175 100.0	24 13.7	22 12.6	7 4.0	20 11.4	16 9.1	25 14.3	35 20.0
下肢	261 100.0	32 12.3	27 10.3	8 3.1	36 13.8	24 9.2	35 13.4	63 24.1
体幹	105 100.0	10 9.5	10 9.5	3 2.9	11 10.5	13 12.4	17 16.2	27 25.7
脳原性運動機能	72 100.0	14 19.4	7 9.7	4 5.6	11 15.3	6 8.3	14 19.4	12 16.7
内部障害	259 100.0	35 13.5	35 13.5	4 1.5	64 24.7	25 9.7	35 13.5	45 17.4

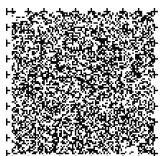


図表 2-70 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23)

－今後参加したい活動分野別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリア フリー化	活動の場ま での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合 せ方法の充 実	施設等を利用 する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
福祉、医療に関する活動	182 100.0	45 24.7	36 19.8	44 24.2	16 8.8	63 34.6	23 12.6	26 14.3
教育、文化に関する活動	150 100.0	30 20.0	29 19.3	31 20.7	13 8.7	53 35.3	27 18.0	22 14.7
スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	124 100.0	21 16.9	16 12.9	20 16.1	16 12.9	42 33.9	18 14.5	21 16.9
お祭り、町会・自治会などの地域の活動	191 100.0	31 16.2	33 17.3	37 19.4	16 8.4	43 22.5	24 12.6	20 10.5
企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	86 100.0	14 16.3	18 20.9	15 17.4	13 15.1	31 36.0	16 18.6	14 16.3
その他	33 100.0	4 12.1	1 3.0	3 9.1	1 3.0	7 21.2	2 6.1	3 9.1
特にない	767 100.0	40 5.2	45 5.9	53 6.9	27 3.5	52 6.8	29 3.8	17 2.2

	総数	一緒に行く 仲間	ボランティア 活動に関する 情報提供 の充実	その他	特にない	活動したい と思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
福祉、医療に関する活動	182 100.0	57 31.3	69 37.9	9 4.9	18 9.9	1 0.5	6 3.3	7 3.8
教育、文化に関する活動	150 100.0	43 28.7	70 46.7	8 5.3	17 11.3	0 0.0	4 2.7	2 1.3
スポーツ大会などのスポーツ、運動に関する活動	124 100.0	37 29.8	47 37.9	2 1.6	14 11.3	2 1.6	7 5.6	3 2.4
お祭り、町会・自治会などの地域の活動	191 100.0	55 28.8	60 31.4	4 2.1	37 19.4	4 2.1	11 5.8	5 2.6
企業の商品やサービスの開発・販売促進への協力	86 100.0	24 27.9	36 41.9	3 3.5	8 9.3	0 0.0	10 11.6	2 2.3
その他	33 100.0	7 21.2	9 27.3	5 15.2	4 12.1	0 0.0	4 12.1	5 15.2
特にない	767 100.0	65 8.5	51 6.6	14 1.8	196 25.6	148 19.3	159 20.7	70 9.1

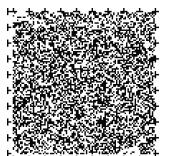


図表 2-71 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23)

－今後参加したい内容別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリア フリー化	活動の場 での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合 せ方法の充 実	施設等を利用 する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
受付・案内	149 100.0	37 24.8	31 20.8	35 23.5	10 6.7	48 32.2	22 14.8	19 12.8
活動の指導、手伝い	140 100.0	26 18.6	26 18.6	30 21.4	13 9.3	42 30.0	15 10.7	19 13.6
イベント等の会場準備 の手伝い	163 100.0	34 20.9	23 14.1	28 17.2	17 10.4	48 29.4	27 16.6	26 16.0
清掃	108 100.0	14 13.0	15 13.9	22 20.4	13 12.0	31 28.7	18 16.7	16 14.8
移動や身の回りの介助 などの手伝い	61 100.0	14 23.0	7 11.5	13 21.3	6 9.8	22 36.1	7 11.5	16 26.2
手話などコミュニケー ションの手伝い	50 100.0	9 18.0	7 14.0	11 22.0	13 26.0	19 38.0	3 6.0	9 18.0
話し相手、遊び相手、 学習支援	146 100.0	25 17.1	21 14.4	37 25.3	12 8.2	39 26.7	27 18.5	18 12.3
その他	41 100.0	3 7.3	6 14.6	5 12.2	1 2.4	5 12.2	0 0.0	2 4.9
特にない	795 100.0	51 6.4	58 7.3	55 6.9	27 3.4	56 7.0	30 3.8	22 2.8

	総数	一緒に行く 仲間	ボランティア 活動に関す る情報提供 の充実	その他	特にない	活動したい と思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
受付・案内	149 100.0	46 30.9	66 44.3	3 2.0	16 10.7	1 0.7	6 4.0	3 2.0
活動の指導、手伝い	140 100.0	44 31.4	56 40.0	5 3.6	15 10.7	0 0.0	5 3.6	4 2.9
イベント等の会場準備 の手伝い	163 100.0	52 31.9	70 42.9	3 1.8	27 16.6	0 0.0	10 6.1	3 1.8
清掃	108 100.0	41 38.0	46 42.6	3 2.8	12 11.1	0 0.0	8 7.4	2 1.9
移動や身の回りの介助 などの手伝い	61 100.0	23 37.7	25 41.0	3 4.9	4 6.6	0 0.0	6 9.8	3 4.9
手話などコミュニケー ションの手伝い	50 100.0	14 28.0	24 48.0	3 6.0	3 6.0	0 0.0	3 6.0	2 4.0
話し相手、遊び相手、 学習支援	146 100.0	48 32.9	55 37.7	8 5.5	19 13.0	0 0.0	7 4.8	4 2.7
その他	41 100.0	10 24.4	11 26.8	4 9.8	8 19.5	0 0.0	5 12.2	5 12.2
特にない	795 100.0	62 7.8	43 5.4	18 2.3	197 24.8	158 19.9	159 20.0	74 9.3



図表 2-72 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23)

－外出時のサービス利用別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリ アフリー化	活動の場 での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合 せ方法の充 実	施設等を利用 する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
外出支援を利用している	217 100.0	22 10.1	24 11.1	35 16.1	24 11.1	26 12.0	12 5.5	11 5.1
補装具を使用している	384 100.0	47 12.2	49 12.8	46 12.0	28 7.3	43 11.2	13 3.4	20 5.2
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
特になし	862 100.0	68 7.9	71 8.2	84 9.7	24 2.8	120 13.9	62 7.2	50 5.8

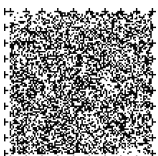
	総数	一緒に行く 仲間	ボランティア 活動に関する 情報提供 の充実	その他	特になし	活動したい と思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
外出支援を利用している	217 100.0	45 20.7	18 8.3	10 4.6	25 11.5	23 10.6	29 13.4	49 22.6
補装具を使用している	384 100.0	46 12.0	40 10.4	10 2.6	47 12.2	44 11.5	57 14.8	95 24.7
補助犬と一緒に外出している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特になし	862 100.0	128 14.8	161 18.7	18 2.1	198 23.0	100 11.6	119 13.8	86 10.0

図表 2-73 ボランティア活動をする上で必要な支援〔3つまで〕(Q23)

－仕事の有無別

	総数	活動場所の バリアフリー 化	交通機関や まちのバリ アフリー化	活動の場 での送迎	介助者や手 話通訳など の支援	障害に対応 した情報の 提供や問合 せ方法の充 実	施設等を利用 する際に 必要な手続 きの支援	障害や障害 者、補助犬 (盲導犬、 介助犬、聴 導犬)など に対する理 解促進
障害者等総数	1463 100.0	135 9.2	139 9.5	162 11.1	68 4.6	189 12.9	90 6.2	77 5.3
仕事をしている	458 100.0	55 12.0	51 11.1	43 9.4	22 4.8	92 20.1	45 9.8	36 7.9
仕事をしていない	839 100.0	72 8.6	80 9.5	97 11.6	39 4.6	72 8.6	33 3.9	36 4.3
福祉的就労をしている	107 100.0	5 4.7	2 1.9	18 16.8	7 6.5	19 17.8	10 9.3	2 1.9

	総数	一緒に行く 仲間	ボランティア 活動に関する 情報提供 の充実	その他	特になし	活動したい と思わない	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	214 14.6	220 15.0	35 2.4	270 18.5	161 11.0	193 13.2	252 17.2
仕事をしている	458 100.0	82 17.9	112 24.5	5 1.1	91 19.9	31 6.8	61 13.3	35 7.6
仕事をしていない	839 100.0	98 11.7	84 10.0	21 2.5	158 18.8	114 13.6	105 12.5	180 21.5
福祉的就労をしている	107 100.0	31 29.0	21 19.6	6 5.6	15 14.0	11 10.3	21 19.6	9 8.4



6 情報アクセシビリティについて

(1) インターネットの利用の有無

約半数の人がインターネットを利用

特に、発達障害と診断されている人、自立支援医療受給者、難病医療費助成者では7割前後と高い。また、40代、50代は7割を超えている

インターネットを利用している人は、49.9%と約半数となっている。

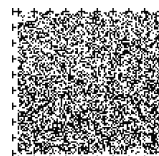
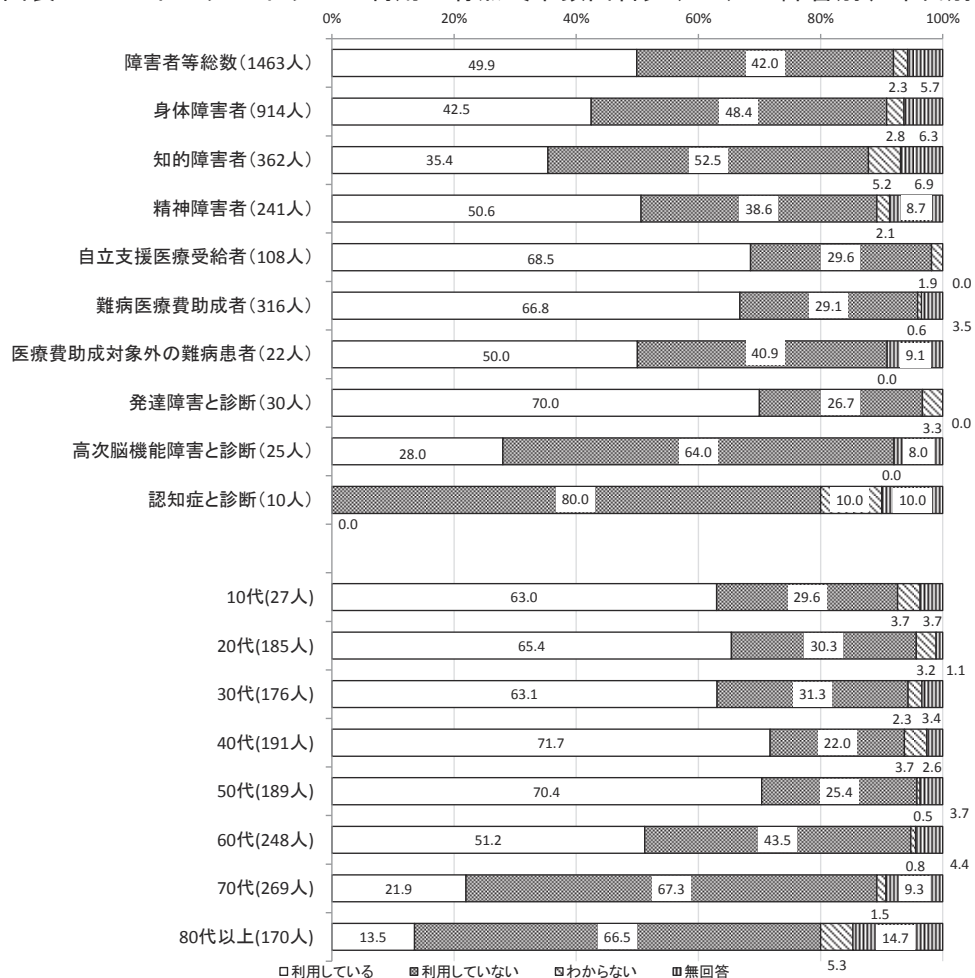
障害別では、発達障害と診断されている人（70.0%）、自立支援医療受給者（68.5%）、難病医療費助成者（66.8%）で利用している人の割合が高い。

年代別にみると、50代まででインターネットを利用している割合が高くなっている。特に40代（71.7%）、50代（70.4%）で7割を超える。

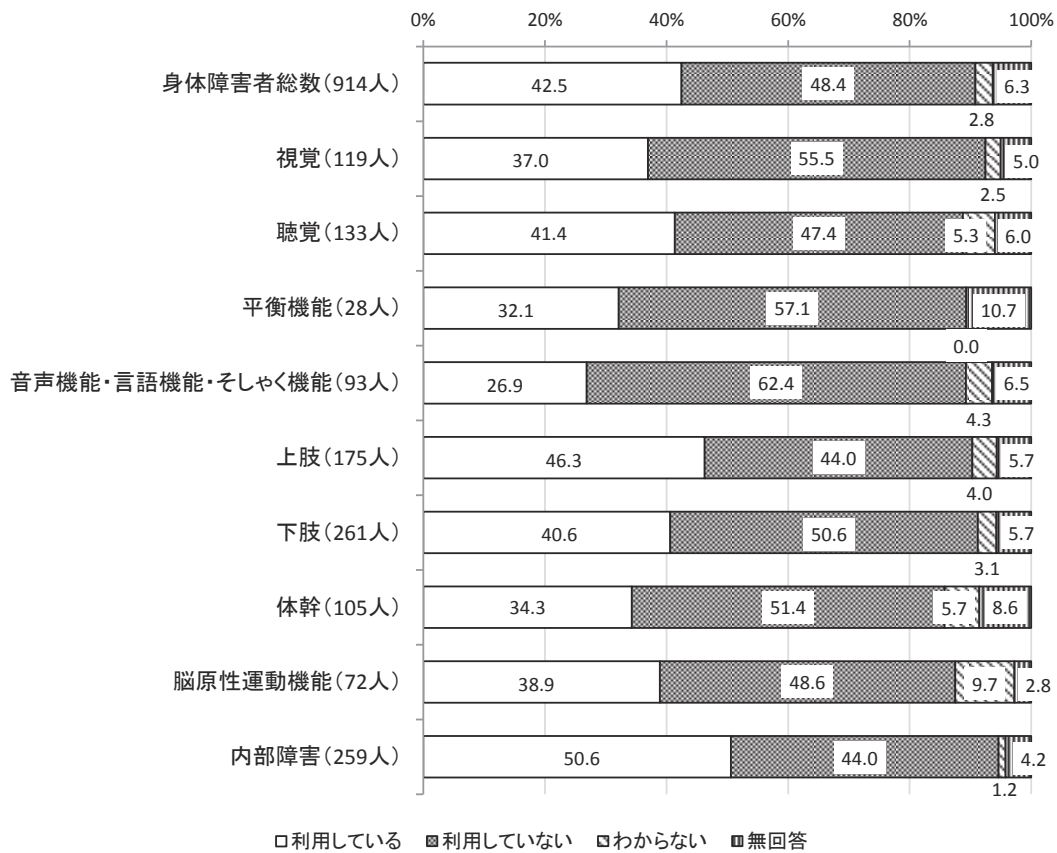
身体障害者の障害種別にみると、内部障害（50.6%）で利用している人の割合が高くなっている。

障害になった時期別にみると、20代・30代や40代・50代で障害になった人は「利用している」割合が60.0～82.3%と、他に比べて高い。

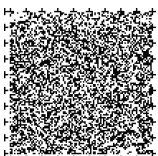
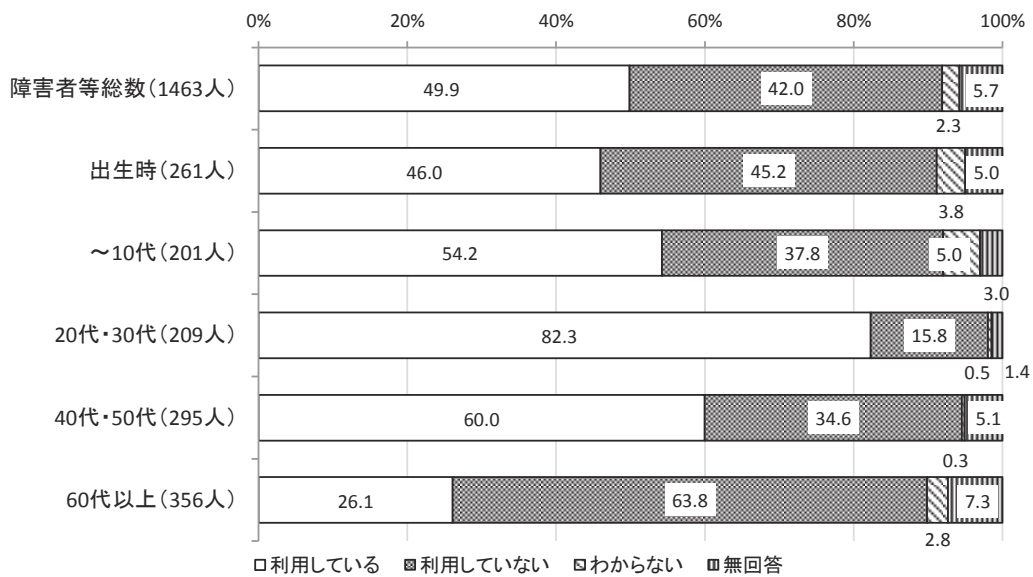
図表 2-74 インターネットの利用の有無〔単数回答〕(Q24)－障害別、年代別



図表 2-75 インターネットの利用の有無〔単数回答〕(Q24)－身体障害種別



図表 2-76 インターネットの利用の有無〔単数回答〕(Q24)－障害になった時期別



(2) インターネットの利用のツール

※インターネットを利用していると回答した 730 人が対象

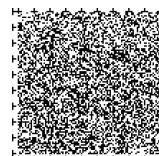
インターネット利用者が利用しているツールは、「パソコン」が 78.8%と最も高く、次いで「スマートフォン」が 60.8%

インターネットを利用している人が利用しているツールは、「パソコン」が 78.8%と最も高く、次いで「スマートフォン」が 60.8%となっている。

障害別では、大きな違いはみられない。

年代別では、どの年代でも「パソコン」の割合が高く、「タブレット」、「スマートフォン」は比較的若い年代で高くなっている。

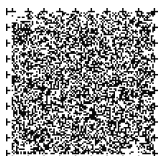
身体障害者の障害種別では、大きな違いはみられず、どの身体障害種別でも「パソコン」の割合が高く、それ以外では、内部障害で「スマートフォン」の割合が他の身体障害種別に比べて高くなっている。



図表 2-77 インターネットの利用のツール〔複数回答〕(Q25)

－障害別、年代別、身体障害種別

		総数	パソコン	タブレット	携帯電話	スマート フォン	その他	わからな い	無回答
障害者等総数		730 100.0	575 78.8	197 27.0	139 19.0	444 60.8	8 1.1	11 1.5	3 0.4
Q 29 保有している手帳、 障害の診断、 難病医療費助成、 医療費助成対象外 の難病患者	身体障害者	388 100.0	308 79.4	96 24.7	85 21.9	219 56.4	4 1.0	8 2.1	3 0.8
	知的障害者	128 100.0	84 65.6	38 29.7	17 13.3	71 55.5	1 0.8	6 4.7	0 0.0
	精神障害者	122 100.0	99 81.1	34 27.9	21 17.2	68 55.7	2 1.6	2 1.6	0 0.0
	自立支援医療受給 者	74 100.0	60 81.1	26 35.1	13 17.6	46 62.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病医療費助成者	211 100.0	174 82.5	60 28.4	42 19.9	147 69.7	2 0.9	1 0.5	0 0.0
	医療費助成対象外 の難病患者	11 100.0	8 72.7	4 36.4	2 18.2	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	発達障害と診断	21 100.0	17 81.0	7 33.3	9 42.9	12 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	高次脳機能障害と 診断	7 100.0	5 71.4	2 28.6	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症と診断	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	Q 2 年代	10代	17 100.0	15 88.2	6 35.3	3 17.6	12 70.6	0 0.0	0 0.0
20代		121 100.0	93 76.9	42 34.7	15 12.4	84 69.4	3 2.5	1 0.8	0 0.0
30代		111 100.0	89 80.2	34 30.6	20 18.0	90 81.1	2 1.8	0 0.0	0 0.0
40代		137 100.0	102 74.5	36 26.3	27 19.7	98 71.5	1 0.7	2 1.5	0 0.0
50代		133 100.0	105 78.9	40 30.1	25 18.8	92 69.2	0 0.0	0 0.0	1 0.8
60代		127 100.0	106 83.5	29 22.8	25 19.7	48 37.8	0 0.0	3 2.4	1 0.8
70代		59 100.0	47 79.7	5 8.5	16 27.1	13 22.0	2 3.4	1 1.7	1 1.7
80代以上		23 100.0	17 73.9	4 17.4	8 34.8	6 26.1	0 0.0	3 13.0	0 0.0
Q 30 身体障害種別	視覚	44 100.0	31 70.5	8 18.2	9 20.5	20 45.5	0 0.0	2 4.5	3 6.8
	聴覚	55 100.0	43 78.2	18 32.7	15 27.3	34 61.8	1 1.8	2 3.6	0 0.0
	平衡機能	9 100.0	7 77.8	0 0.0	3 33.3	4 44.4	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	音声機能・言語機 能・そしゃく機能	25 100.0	18 72.0	5 20.0	5 20.0	12 48.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
	上肢	81 100.0	68 84.0	19 23.5	19 23.5	36 44.4	1 1.2	1 1.2	0 0.0
	下肢	106 100.0	84 79.2	23 21.7	22 20.8	47 44.3	0 0.0	2 1.9	0 0.0
	体幹	36 100.0	30 83.3	13 36.1	12 33.3	16 44.4	0 0.0	1 2.8	0 0.0
	脳原性運動機能	28 100.0	22 78.6	9 32.1	9 32.1	17 60.7	1 3.6	0 0.0	0 0.0
	内部障害	131 100.0	106 80.9	31 23.7	22 16.8	89 67.9	3 2.3	4 3.1	0 0.0



(3) 日ごろの情報の入手先

情報の入手先として、「テレビやラジオ」が 72.0%と最も高く、次いで「家族や友人」(57.0%)

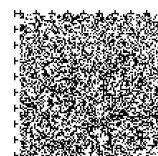
日ごろの情報入手先は、「テレビやラジオ」が 72.0%と最も高く、次いで「家族や友人」(57.0%)、「新聞」(42.2%)、「インターネット」(40.9%)となっている。

障害別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられず、それ以外では、身体障害者は「新聞」、「区市町村等の広報紙」が、精神障害者や難病医療費助成者は「インターネット」が、自立支援医療受給者は「インターネット」や「SNS」が、発達障害と診断されている人は「SNS」が他の障害に比べて高くなっている。

年代別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、10～40代では「学校や職場、施設の人」が、20代や30代では「家族や友人」、「SNS」が、20～50代では「インターネット」が、60代や70代では「テレビやラジオ」、「新聞」、「区市町村等の広報紙」を挙げる割合が、他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、聴覚は「SNS」が、体幹は「学校や職場、施設の人」、脳原性運動機能は「学校や職場、施設の人」、「ボランティア、ヘルパーなどの支援者」が他の身体障害種別に比べて高い。

障害になった時期別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、出生時は「学校や職場、施設の人」(47.9%)が、「～10代」は「障害者団体の会合や機関誌」(12.4%)、「SNS」(19.4%)が、20代・30代は「インターネット」(75.6%)、「SNS」(26.8%)が、60代以上では「新聞」(61.2%)、「区市町村等の広報紙」(45.2%)が、他の時期に比べて高い。

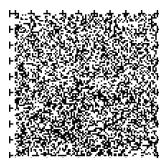


図表 2-78 日ごろの情報の入手先〔複数回答〕(Q26) - 障害別

	総数	家族や友人	人 学校や職場、施設の	ポ ランテ ィア、 ヘル パ ー な ど の 支 援 者	テ レ ビ や ラ ジ オ	新 聞	区 市 町 村 等 の 広 報 紙	機 関 誌	障 害 者 団 体 の 会 合 や	イ ン タ ー ネ ッ ト	S N S (ツ イ ッ タ ー 、 フ エ イ ス ブ ッ ク な ど)	行 政 の 窓 口	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
障害者等総数	1463 100.0	834 57.0	383 26.2	117 8.0	1054 72.0	617 42.2	458 31.3	108 7.4	599 40.9	177 12.1	88 6.0	26 1.8	29 2.0	82 5.6	
身体障害者	914 100.0	493 53.9	183 20.0	94 10.3	676 74.0	423 46.3	328 35.9	73 8.0	314 34.4	92 10.1	60 6.6	15 1.6	19 2.1	53 5.8	
知的障害者	362 100.0	205 56.6	151 41.7	36 9.9	196 54.1	84 23.2	52 14.4	35 9.7	79 21.8	18 5.0	6 1.7	4 1.1	21 5.8	32 8.8	
精神障害者	241 100.0	122 50.6	44 18.3	15 6.2	164 68.0	83 34.4	50 20.7	14 5.8	108 44.8	31 12.9	20 8.3	11 4.6	2 0.8	22 9.1	
自立支援医療受 給者	108 100.0	70 64.8	38 35.2	11 10.2	85 78.7	36 33.3	29 26.9	9 8.3	66 61.1	25 23.1	13 12.0	3 2.8	0 0.0	2 1.9	
難病医療費助成 者	316 100.0	201 63.6	86 27.2	10 3.2	268 84.8	161 50.9	131 41.5	17 5.4	181 57.3	57 18.0	29 9.2	2 0.6	2 0.6	7 2.2	
医療費助成対象外 の難病患者	22 100.0	9 40.9	4 18.2	2 9.1	15 68.2	10 45.5	10 45.5	2 9.1	9 40.9	4 18.2	3 13.6	0 0.0	0 0.0	3 13.6	
発達障害と診断	30 100.0	11 36.7	11 36.7	1 3.3	16 53.3	9 30.0	6 20.0	5 16.7	18 60.0	9 30.0	2 6.7	0 0.0	2 6.7	0 0.0	
高次脳機能障害 と診断	25 100.0	15 60.0	10 40.0	6 24.0	19 76.0	10 40.0	9 36.0	5 20.0	5 20.0	1 4.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	
認知症と診断	10 100.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	

図表 2-79 日ごろの情報の入手先〔複数回答〕(Q26) - 年代別

	総数	家族や友人	人 学校や職場、施設の	ポ ランテ ィア、 ヘル パ ー な ど の 支 援 者	テ レ ビ や ラ ジ オ	新 聞	区 市 町 村 等 の 広 報 紙	機 関 誌	障 害 者 団 体 の 会 合 や	イ ン タ ー ネ ッ ト	S N S (ツ イ ッ タ ー 、 フ エ イ ス ブ ッ ク な ど)	行 政 の 窓 口	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
障害者等総数	1463 100.0	834 57.0	383 26.2	117 8.0	1054 72.0	617 42.2	458 31.3	108 7.4	599 40.9	177 12.1	88 6.0	26 1.8	29 2.0	82 5.6	
10代	27 100.0	20 74.1	18 66.7	2 7.4	17 63.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4	12 44.4	6 22.2	0 0.0	2 7.4	1 3.7	1 3.7	
20代	185 100.0	134 72.4	101 54.6	20 10.8	108 58.4	29 15.7	21 11.4	18 9.7	96 51.9	43 23.2	3 1.6	0 0.0	5 2.7	5 2.7	
30代	176 100.0	119 67.6	79 44.9	10 5.7	110 62.5	40 22.7	35 19.9	9 5.1	97 55.1	42 23.9	8 4.5	2 1.1	7 4.0	8 4.5	
40代	191 100.0	109 57.1	66 34.6	7 3.7	132 69.1	71 37.2	58 30.4	19 9.9	121 63.4	38 19.9	14 7.3	7 3.7	4 2.1	9 4.7	
50代	189 100.0	108 57.1	49 25.9	13 6.9	146 77.2	86 45.5	64 33.9	14 7.4	119 63.0	29 15.3	9 4.8	3 1.6	2 1.1	7 3.7	
60代	248 100.0	132 53.2	41 16.5	18 7.3	206 83.1	132 53.2	97 39.1	13 5.2	99 39.9	15 6.0	20 8.1	4 1.6	3 1.2	9 3.6	
70代	269 100.0	128 47.6	12 4.5	23 8.6	206 76.6	168 62.5	121 45.0	23 8.6	38 14.1	2 0.7	19 7.1	4 1.5	5 1.9	22 8.2	
80代以上	170 100.0	82 48.2	15 8.8	24 14.1	124 72.9	87 51.2	59 34.7	9 5.3	15 8.8	1 0.6	15 8.8	4 2.4	2 1.2	20 11.8	

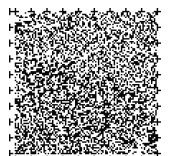


図表 2-80 日ごろの情報の入手先〔複数回答〕(Q26)－身体障害種別

	総数	家族や友人	学校や職場、施設の人	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	テレビやラジオ	新聞	区市町村等の広報紙	関誌 障害者団体の会合や機	インターネット	SNS(ツイッター、フェイスブックなど)	行政の窓口	その他	わからない	無回答
身体障害者総数	914 100.0	493 53.9	183 20.0	94 10.3	676 74.0	423 46.3	328 35.9	73 8.0	314 34.4	92 10.1	60 6.6	15 1.6	19 2.1	53 5.8
視覚	119 100.0	75 63.0	30 25.2	15 12.6	100 84.0	30 25.2	30 25.2	9 7.6	32 26.9	8 6.7	12 10.1	2 1.7	3 2.5	4 3.4
聴覚	133 100.0	72 54.1	24 18.0	10 7.5	85 63.9	75 56.4	53 39.8	12 9.0	47 35.3	23 17.3	9 6.8	3 2.3	6 4.5	3 2.3
平衡機能	28 100.0	13 46.4	7 25.0	2 7.1	22 78.6	13 46.4	8 28.6	2 7.1	6 21.4	1 3.6	1 3.6	0 0.0	1 3.6	3 10.7
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	49 52.7	19 20.4	12 12.9	61 65.6	37 39.8	35 37.6	10 10.8	17 18.3	8 8.6	2 2.2	0 0.0	2 2.2	8 8.6
上肢	175 100.0	83 47.4	56 32.0	31 17.7	120 68.6	62 35.4	48 27.4	25 14.3	66 37.7	7 4.0	6 3.4	2 1.1	4 2.3	13 7.4
下肢	261 100.0	136 52.1	59 22.6	42 16.1	203 77.8	125 47.9	93 35.6	23 8.8	86 33.0	11 4.2	11 4.2	2 0.8	7 2.7	12 4.6
体幹	105 100.0	58 55.2	39 37.1	21 20.0	69 65.7	26 24.8	23 21.9	17 16.2	29 27.6	10 9.5	6 5.7	1 1.0	6 5.7	13 12.4
脳原性運動機能	72 100.0	42 58.3	35 48.6	20 27.8	44 61.1	22 30.6	15 20.8	12 16.7	23 31.9	7 9.7	1 1.4	0 0.0	8 11.1	4 5.6
内部障害	259 100.0	149 57.5	40 15.4	9 3.5	206 79.5	142 54.8	110 42.5	20 7.7	113 43.6	31 12.0	23 8.9	7 2.7	2 0.8	9 3.5

図表 2-81 日ごろの情報の入手先〔複数回答〕(Q26)－障害になった時期別

	総数	家族や友人	学校や職場、施設の人	ボランティア、ヘルパーなどの支援者	テレビやラジオ	新聞	区市町村等の広報紙	関誌 障害者団体の会合や機	インターネット	SNS(ツイッター、フェイスブックなど)	行政の窓口	その他	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	834 57.0	383 26.2	117 8.0	1054 72.0	617 42.2	458 31.3	108 7.4	599 40.9	177 12.1	88 6.0	26 1.8	29 2.0	82 5.6
出生時	261 100.0	170 65.1	125 47.9	28 10.7	153 58.6	60 23.0	40 15.3	27 10.3	83 31.8	28 10.7	4 1.5	4 1.5	9 3.4	15 5.7
～10代	201 100.0	116 57.7	72 35.8	21 10.4	125 62.2	64 31.8	49 24.4	25 12.4	92 45.8	39 19.4	11 5.5	6 3.0	11 5.5	8 4.0
20代・30代	209 100.0	131 62.7	72 34.4	7 3.3	157 75.1	69 33.0	61 29.2	12 5.7	158 75.6	56 26.8	12 5.7	4 1.9	1 0.5	6 2.9
40代・50代	295 100.0	157 53.2	55 18.6	16 5.4	240 81.4	147 49.8	111 37.6	17 5.8	151 51.2	35 11.9	25 8.5	7 2.4	3 1.0	8 2.7
60代以上	356 100.0	195 54.8	32 9.0	36 10.1	288 80.9	218 61.2	161 45.2	18 5.1	71 19.9	9 2.5	29 8.1	4 1.1	1 0.3	26 7.3



(4) コミュニケーションや連絡の手段

① 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段

「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段は、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が51.1%、「メール」が30.3%

「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段は、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が51.1%と最も高く、次いで「メール」が30.3%となっている。

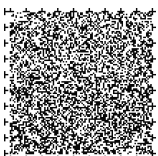
障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、身体障害者では「手話」、「筆談」、「要約筆記通訳や手話通訳」、「補聴器・補聴援助機器」が、知的障害者では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、難病医療費助成者や医療費助成対象外の難病患者では「ファックス」が、発達障害と診断されている人では「絵文字（ピクトグラム）」が、高次脳機能障害と診断された人では「会話を文字化するアプリ」を挙げる人の割合が他の障害に比べて高く、障害によって手段が異なっている。

年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、特に40代や50代では「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げる人の割合が7割弱、50代では「メール」が5割と他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じものの、視覚では「点字」、「拡大文字」、「読み上げソフト、アプリ等」、「朗読サービス」が、聴覚では「手話」、「筆談」、「要約筆記通訳や手話通訳」、「補聴器・補聴援助機器」が、音声機能・言語機能・そしゃく機能では「筆談」、「行動（身振り・手振り）」、「会話を文字化するアプリ」、「絵文字（ピクトグラム）」が、脳原性運動機能では「行動（身振り・手振り）」が、他の身体障害種別に比べて高い。

障害になった時期別にみると、上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じで、特に20代・30代では、約8割が「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げている。それ以外については、出生時では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、「～10代」では「点字」、「手話」、「要約筆記通訳や手話通訳」が、60代以上では「ファックス」が、他の障害になった時期に比べて高い。

情報入手先別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、「学校や職場、施設の人」は「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、「ボランティア、ヘルパーなどの支援者」は「行動（身振り・手振り）」が、「区市町村等の広報紙」や「行政の窓口」は「ファックス」が他に比べて高くなっている。

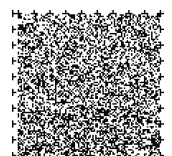


図表 2-82 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27①)

－障害別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463	748	155	444	3	2	24	14	4	6	7
	100.0	51.1	10.6	30.3	0.2	0.1	1.6	1.0	0.3	0.4	0.5
身体障害者	914	411	96	260	3	2	19	13	3	6	7
	100.0	45.0	10.5	28.4	0.3	0.2	2.1	1.4	0.3	0.7	0.8
知的障害者	362	141	13	59	1	0	3	1	1	1	3
	100.0	39.0	3.6	16.3	0.3	0.0	0.8	0.3	0.3	0.3	0.8
精神障害者	241	135	21	78	0	0	7	1	0	1	2
	100.0	56.0	8.7	32.4	0.0	0.0	2.9	0.4	0.0	0.4	0.8
自立支援医療受給者	108	80	9	43	1	0	2	1	0	0	1
	100.0	74.1	8.3	39.8	0.9	0.0	1.9	0.9	0.0	0.0	0.9
難病医療費助成者	316	196	56	126	0	0	0	5	0	1	0
	100.0	62.0	17.7	39.9	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.3	0.0
医療費助成対象外の難病患者	22	13	6	9	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	59.1	27.3	40.9	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
発達障害と診断	30	23	1	12	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	76.7	3.3	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障害と診断	25	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	28.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認知症と診断	10	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	手話	筆談	要約筆記通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463	36	70	12	64	179	141	7	8	103	426
	100.0	2.5	4.8	0.8	4.4	12.2	9.6	0.5	0.5	7.0	29.1
身体障害者	914	33	65	12	60	108	97	6	4	67	302
	100.0	3.6	7.1	1.3	6.6	11.8	10.6	0.7	0.4	7.3	33.0
知的障害者	362	5	7	0	9	69	64	0	0	44	86
	100.0	1.4	1.9	0.0	2.5	19.1	17.7	0.0	0.0	12.2	23.8
精神障害者	241	9	9	0	6	26	16	1	3	14	66
	100.0	3.7	3.7	0.0	2.5	10.8	6.6	0.4	1.2	5.8	27.4
自立支援医療受給者	108	2	3	0	3	20	12	1	2	10	14
	100.0	1.9	2.8	0.0	2.8	18.5	11.1	0.9	1.9	9.3	13.0
難病医療費助成者	316	0	1	0	2	26	12	0	2	16	94
	100.0	0.0	0.3	0.0	0.6	8.2	3.8	0.0	0.6	5.1	29.7
医療費助成対象外の難病患者	22	0	1	0	2	1	0	0	0	0	8
	100.0	0.0	4.5	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4
発達障害と診断	30	1	0	0	3	6	1	0	2	4	4
	100.0	3.3	0.0	0.0	10.0	20.0	3.3	0.0	6.7	13.3	13.3
高次脳機能障害と診断	25	0	3	0	0	6	5	1	0	3	6
	100.0	0.0	12.0	0.0	0.0	24.0	20.0	4.0	0.0	12.0	24.0
認知症と診断	10	1	3	0	1	4	6	0	0	1	1
	100.0	10.0	30.0	0.0	10.0	40.0	60.0	0.0	0.0	10.0	10.0

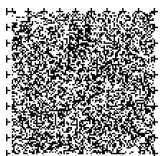


図表 2-83 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27①)

—年代別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	748 51.1	155 10.6	444 30.3	3 0.2	2 0.1	24 1.6	14 1.0	4 0.3	6 0.4	7 0.5
10代	27 100.0	18 66.7	0 0.0	8 29.6	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	185 100.0	118 63.8	11 5.9	60 32.4	2 1.1	1 0.5	2 1.1	1 0.5	0 0.0	2 1.1	0 0.0
30代	176 100.0	107 60.8	18 10.2	70 39.8	0 0.0	0 0.0	3 1.7	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6
40代	191 100.0	129 67.5	24 12.6	81 42.4	0 0.0	1 0.5	5 2.6	4 2.1	0 0.0	2 1.0	1 0.5
50代	189 100.0	128 67.7	30 15.9	95 50.3	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0
60代	248 100.0	119 48.0	30 12.1	68 27.4	0 0.0	0 0.0	3 1.2	1 0.4	1 0.4	1 0.4	1 0.4
70代	269 100.0	90 33.5	23 8.6	50 18.6	1 0.4	0 0.0	6 2.2	3 1.1	1 0.4	0 0.0	3 1.1
80代以上	170 100.0	38 22.4	18 10.6	11 6.5	0 0.0	0 0.0	3 1.8	3 1.8	0 0.0	0 0.0	1 0.6

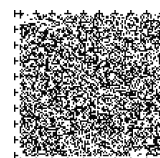
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手 話通訳	補聴器・補 聴援助機 器	口話・読話	行動(身振 り・手振り)	会話を文 字化するア プリア	絵文字(ピ クトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	36 2.5	70 4.8	12 0.8	64 4.4	179 12.2	141 9.6	7 0.5	8 0.5	103 7.0	426 29.1
10代	27 100.0	2 7.4	2 7.4	0 0.0	2 7.4	7 25.9	7 25.9	0 0.0	0 0.0	3 11.1	3 11.1
20代	185 100.0	5 2.7	5 2.7	2 1.1	9 4.9	38 20.5	33 17.8	2 1.1	1 0.5	21 11.4	18 9.7
30代	176 100.0	5 2.8	9 5.1	1 0.6	5 2.8	35 19.9	29 16.5	0 0.0	2 1.1	19 10.8	22 12.5
40代	191 100.0	4 2.1	13 6.8	2 1.0	5 2.6	26 13.6	24 12.6	4 2.1	3 1.6	12 6.3	35 18.3
50代	189 100.0	5 2.6	6 3.2	1 0.5	5 2.6	19 10.1	12 6.3	0 0.0	0 0.0	14 7.4	33 17.5
60代	248 100.0	6 2.4	12 4.8	2 0.8	5 2.0	23 9.3	11 4.4	0 0.0	1 0.4	10 4.0	91 36.7
70代	269 100.0	8 3.0	14 5.2	4 1.5	16 5.9	20 7.4	13 4.8	1 0.4	1 0.4	12 4.5	130 48.3
80代以上	170 100.0	1 0.6	9 5.3	0 0.0	17 10.0	10 5.9	12 7.1	0 0.0	0 0.0	11 6.5	89 52.4



図表 2-84 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27①)
－身体障害種別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタイズ版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
身体障害者総数	914	411	96	260	3	2	19	13	3	6	7
	100.0	45.0	10.5	28.4	0.3	0.2	2.1	1.4	0.3	0.7	0.8
視覚	119	45	6	27	3	1	4	10	2	5	4
	100.0	37.8	5.0	22.7	2.5	0.8	3.4	8.4	1.7	4.2	3.4
聴覚	133	57	20	44	0	1	9	0	1	0	0
	100.0	42.9	15.0	33.1	0.0	0.8	6.8	0.0	0.8	0.0	0.0
平衡機能	28	10	1	4	0	0	1	0	0	0	0
	100.0	35.7	3.6	14.3	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93	27	3	20	0	1	5	1	0	1	1
	100.0	29.0	3.2	21.5	0.0	1.1	5.4	1.1	0.0	1.1	1.1
上肢	175	78	10	49	0	0	2	1	1	0	0
	100.0	44.6	5.7	28.0	0.0	0.0	1.1	0.6	0.6	0.0	0.0
下肢	261	108	26	68	0	0	1	2	1	1	1
	100.0	41.4	10.0	26.1	0.0	0.0	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4
体幹	105	36	8	23	0	0	1	2	1	0	1
	100.0	34.3	7.6	21.9	0.0	0.0	1.0	1.9	1.0	0.0	1.0
脳原性運動機能	72	26	9	16	0	0	0	0	1	1	2
	100.0	36.1	12.5	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	2.8
内部障害	259	142	30	82	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	54.8	11.6	31.7	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0

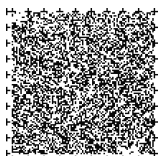
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
身体障害者総数	914	33	65	12	60	108	97	6	4	67	302
	100.0	3.6	7.1	1.3	6.6	11.8	10.6	0.7	0.4	7.3	33.0
視覚	119	0	1	0	3	12	6	1	1	10	48
	100.0	0.0	0.8	0.0	2.5	10.1	5.0	0.8	0.8	8.4	40.3
聴覚	133	31	40	12	51	27	26	3	1	4	32
	100.0	23.3	30.1	9.0	38.3	20.3	19.5	2.3	0.8	3.0	24.1
平衡機能	28	2	2	1	1	3	3	0	0	2	13
	100.0	7.1	7.1	3.6	3.6	10.7	10.7	0.0	0.0	7.1	46.4
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93	2	19	1	2	15	23	4	2	12	24
	100.0	2.2	20.4	1.1	2.2	16.1	24.7	4.3	2.2	12.9	25.8
上肢	175	1	7	0	3	34	25	1	0	22	44
	100.0	0.6	4.0	0.0	1.7	19.4	14.3	0.6	0.0	12.6	25.1
下肢	261	1	4	0	3	32	34	0	1	29	90
	100.0	0.4	1.5	0.0	1.1	12.3	13.0	0.0	0.4	11.1	34.5
体幹	105	0	1	0	1	16	19	0	0	21	29
	100.0	0.0	1.0	0.0	1.0	15.2	18.1	0.0	0.0	20.0	27.6
脳原性運動機能	72	2	2	0	4	16	23	1	0	13	15
	100.0	2.8	2.8	0.0	5.6	22.2	31.9	1.4	0.0	18.1	20.8
内部障害	259	0	4	0	2	19	12	0	0	11	91
	100.0	0.0	1.5	0.0	0.8	7.3	4.6	0.0	0.0	4.2	35.1



図表 2-85 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27①)
 -障害になった時期別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタイズ版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	748 51.1	155 10.6	444 30.3	3 0.2	2 0.1	24 1.6	14 1.0	4 0.3	6 0.4	7 0.5
出生時	261 100.0	118 45.2	17 6.5	68 26.1	0 0.0	1 0.4	3 1.1	4 1.5	2 0.8	1 0.4	2 0.8
～10代	201 100.0	120 59.7	21 10.4	72 35.8	3 1.5	0 0.0	9 4.5	2 1.0	1 0.5	2 1.0	1 0.5
20代・30代	209 100.0	167 79.9	36 17.2	107 51.2	0 0.0	0 0.0	2 1.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40代・50代	295 100.0	161 54.6	31 10.5	102 34.6	0 0.0	1 0.3	2 0.7	4 1.4	1 0.3	3 1.0	3 1.0
60代以上	356 100.0	130 36.5	40 11.2	67 18.8	0 0.0	0 0.0	6 1.7	3 0.8	0 0.0	0 0.0	1 0.3

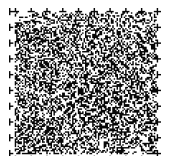
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	36 2.5	70 4.8	12 0.8	64 4.4	179 12.2	141 9.6	7 0.5	8 0.5	103 7.0	426 29.1
出生時	261 100.0	11 4.2	16 6.1	3 1.1	16 6.1	65 24.9	51 19.5	3 1.1	0 0.0	28 10.7	49 18.8
～10代	201 100.0	18 9.0	21 10.4	6 3.0	16 8.0	34 16.9	38 18.9	0 0.0	2 1.0	17 8.5	33 16.4
20代・30代	209 100.0	1 0.5	5 2.4	1 0.5	4 1.9	25 12.0	13 6.2	0 0.0	3 1.4	14 6.7	25 12.0
40代・50代	295 100.0	2 0.7	10 3.4	1 0.3	7 2.4	26 8.8	14 4.7	3 1.0	1 0.3	18 6.1	85 28.8
60代以上	356 100.0	1 0.3	15 4.2	1 0.3	16 4.5	20 5.6	17 4.8	1 0.3	1 0.3	18 5.1	164 46.1



図表 2-86 「学校・施設・職場」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27①)
 - 情報入手先別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタイズ版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463	748	155	444	3	2	24	14	4	6	7
	100.0	51.1	10.6	30.3	0.2	0.1	1.6	1.0	0.3	0.4	0.5
家族や友人	834	497	107	314	2	2	18	10	4	6	7
	100.0	59.6	12.8	37.6	0.2	0.2	2.2	1.2	0.5	0.7	0.8
学校や職場、施設の人	383	244	63	185	3	2	7	3	3	6	5
	100.0	63.7	16.4	48.3	0.8	0.5	1.8	0.8	0.8	1.6	1.3
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	49	9	19	2	0	3	2	3	1	5
	100.0	41.9	7.7	16.2	1.7	0.0	2.6	1.7	2.6	0.9	4.3
テレビやラジオ	1054	605	140	370	3	1	19	13	2	5	5
	100.0	57.4	13.3	35.1	0.3	0.1	1.8	1.2	0.2	0.5	0.5
新聞	617	334	99	216	0	1	15	6	0	1	2
	100.0	54.1	16.0	35.0	0.0	0.2	2.4	1.0	0.0	0.2	0.3
区市町村等の広報紙	458	251	93	174	1	1	12	7	1	1	3
	100.0	54.8	20.3	38.0	0.2	0.2	2.6	1.5	0.2	0.2	0.7
障害者団体の会合や機関誌	108	58	18	35	1	0	5	2	1	1	2
	100.0	53.7	16.7	32.4	0.9	0.0	4.6	1.9	0.9	0.9	1.9
インターネット	599	471	106	332	2	2	12	5	2	4	1
	100.0	78.6	17.7	55.4	0.3	0.3	2.0	0.8	0.3	0.7	0.2
SNS	177	155	38	115	1	2	6	2	0	4	0
	100.0	87.6	21.5	65.0	0.6	1.1	3.4	1.1	0.0	2.3	0.0
行政の窓口	88	48	27	34	1	0	3	1	0	0	0
	100.0	54.5	30.7	38.6	1.1	0.0	3.4	1.1	0.0	0.0	0.0
その他	26	12	2	6	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	46.2	7.7	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463	36	70	12	64	179	141	7	8	103	426
	100.0	2.5	4.8	0.8	4.4	12.2	9.6	0.5	0.5	7.0	29.1
家族や友人	834	24	49	9	43	114	102	6	6	59	182
	100.0	2.9	5.9	1.1	5.2	13.7	12.2	0.7	0.7	7.1	21.8
学校や職場、施設の人	383	13	25	5	20	87	72	5	2	39	28
	100.0	3.4	6.5	1.3	5.2	22.7	18.8	1.3	0.5	10.2	7.3
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	4	9	1	6	22	27	1	0	15	25
	100.0	3.4	7.7	0.9	5.1	18.8	23.1	0.9	0.0	12.8	21.4
テレビやラジオ	1054	20	46	8	50	120	75	4	7	68	289
	100.0	1.9	4.4	0.8	4.7	11.4	7.1	0.4	0.7	6.5	27.4
新聞	617	16	38	7	39	53	40	5	3	36	194
	100.0	2.6	6.2	1.1	6.3	8.6	6.5	0.8	0.5	5.8	31.4
区市町村等の広報紙	458	13	35	8	27	38	39	5	3	35	133
	100.0	2.8	7.6	1.7	5.9	8.3	8.5	1.1	0.7	7.6	29.0
障害者団体の会合や機関誌	108	7	13	4	1	14	16	2	2	10	26
	100.0	6.5	12.0	3.7	0.9	13.0	14.8	1.9	1.9	9.3	24.1
インターネット	599	19	30	8	27	75	43	6	5	29	89
	100.0	3.2	5.0	1.3	4.5	12.5	7.2	1.0	0.8	4.8	14.9
SNS	177	13	18	5	15	31	24	5	4	4	15
	100.0	7.3	10.2	2.8	8.5	17.5	13.6	2.8	2.3	2.3	8.5
行政の窓口	88	2	4	0	5	8	5	1	1	1	29
	100.0	2.3	4.5	0.0	5.7	9.1	5.7	1.1	1.1	1.1	33.0
その他	26	1	3	0	1	4	5	0	0	4	6
	100.0	3.8	11.5	0.0	3.8	15.4	19.2	0.0	0.0	15.4	23.1
わからない	29	0	0	0	0	2	10	0	0	6	12
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	34.5	0.0	0.0	20.7	41.4



② 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段

「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段は、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が60.8%、次いで「メール」が34.9%と高い

「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段は、「学校・施設・職場」と同様「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が60.8%と最も高く、次いで「メール」が34.9%となっている。「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」は、「学校・施設・職場」より、10ポイント程度高くなっている。

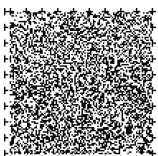
障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、身体障害者では「手話」、「筆談」、「補聴器・補聴援助機器」を、知的障害者では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」を、発達障害と診断されている人では「絵文字（ピクトグラム）」を、高次脳機能障害と診断された人では「会話を文字化するアプリ」を挙げる人の割合が他の障害に比べて高く、障害によって手段が異なっている。

年代別にみると、「学校・施設・職場」と同様上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、特に40代や50代では「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げる人の割合が7割強、50代では「メール」が約5割と他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じものの、それ以外については、視覚では「点字」、「拡大文字」、「録音物（デージー版など）」、「読み上げソフト、アプリ等」、「朗読サービス」が、聴覚では「手話」、「筆談」、「補聴器・補聴援助機器」が、音声機能・言語機能・そしゃく機能では「筆談」、「行動（身振り・手振り）」、「会話を文字化するアプリ」、「絵文字（ピクトグラム）」が、脳原性運動機能では「行動（身振り・手振り）」が、他の身体障害種別に比べて高い。

障害になった時期別にみると、「学校・施設・職場」と同様に上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じで、特に20代・30代では、8割以上が「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げている。それ以外については、出生時では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、「～10代」では「手話」が、60代以上では「補聴器・補聴援助機器」が、他の障害になった時期に比べて高い。

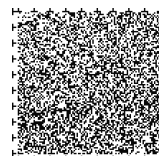
情報入手先別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外でも「学校・施設・職場」と同様に、「学校や職場、施設の人」や「ボランティア、ヘルパーなどの支援者」は「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、「区市町村等の広報紙」や「行政の窓口」は「ファックス」が他に比べて高くなっている。



図表 2-87 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27②) - 障害別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	889 60.8	143 9.8	511 34.9	5 0.3	1 0.1	19 1.3	19 1.3	7 0.5	11 0.8	10 0.7
身体障害者	914 100.0	506 55.4	95 10.4	293 32.1	5 0.5	1 0.1	14 1.5	17 1.9	7 0.8	11 1.2	10 1.1
知的障害者	362 100.0	162 44.8	15 4.1	74 20.4	1 0.3	0 0.0	4 1.1	1 0.3	1 0.3	2 0.6	3 0.8
精神障害者	241 100.0	151 62.7	19 7.9	87 36.1	0 0.0	0 0.0	6 2.5	2 0.8	0 0.0	1 0.4	3 1.2
自立支援医療受給者	108 100.0	85 78.7	6 5.6	50 46.3	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9
難病医療費助成者	316 100.0	249 78.8	38 12.0	149 47.2	0 0.0	0 0.0	1 0.3	5 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	15 68.2	5 22.7	13 59.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	30 100.0	23 76.7	1 3.3	13 43.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高次脳機能障害と診断	25 100.0	10 40.0	2 8.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	総数	手話	筆談	要約筆記通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	25 1.7	66 4.5	2 0.1	79 5.4	204 13.9	130 8.9	2 0.1	8 0.5	113 7.7	234 16.0
身体障害者	914 100.0	24 2.6	61 6.7	2 0.2	73 8.0	131 14.3	91 10.0	2 0.2	4 0.4	74 8.1	161 17.6
知的障害者	362 100.0	4 1.1	9 2.5	0 0.0	12 3.3	78 21.5	59 16.3	0 0.0	1 0.3	44 12.2	63 17.4
精神障害者	241 100.0	4 1.7	10 4.1	0 0.0	6 2.5	30 12.4	14 5.8	0 0.0	3 1.2	18 7.5	43 17.8
自立支援医療受給者	108 100.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	3 2.8	19 17.6	11 10.2	0 0.0	2 1.9	12 11.1	4 3.7
難病医療費助成者	316 100.0	0 0.0	2 0.6	0 0.0	3 0.9	30 9.5	11 3.5	0 0.0	1 0.3	18 5.7	36 11.4
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 22.7
発達障害と診断	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.0	6 20.0	2 6.7	0 0.0	2 6.7	3 10.0	2 6.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	0 0.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0	4 16.0	7 28.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	5 50.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0

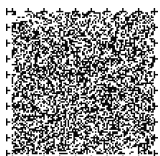


図表 2-88 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27②)

－年代別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	889 60.8	143 9.8	511 34.9	5 0.3	1 0.1	19 1.3	19 1.3	7 0.5	11 0.8	10 0.7
10代	27 100.0	19 70.4	1 3.7	8 29.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	185 100.0	119 64.3	7 3.8	68 36.8	1 0.5	0 0.0	2 1.1	0 0.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0
30代	176 100.0	108 61.4	7 4.0	71 40.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	1 0.6
40代	191 100.0	138 72.3	21 11.0	79 41.4	0 0.0	1 0.5	4 2.1	5 2.6	0 0.0	3 1.6	1 0.5
50代	189 100.0	141 74.6	25 13.2	94 49.7	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	2 1.1	1 0.5
60代	248 100.0	166 66.9	33 13.3	96 38.7	1 0.4	0 0.0	2 0.8	2 0.8	2 0.8	0 0.0	2 0.8
70代	269 100.0	142 52.8	36 13.4	76 28.3	1 0.4	0 0.0	5 1.9	5 1.9	3 1.1	3 1.1	4 1.5
80代以上	170 100.0	54 31.8	12 7.1	18 10.6	2 1.2	0 0.0	5 2.9	5 2.9	1 0.6	1 0.6	1 0.6

	総数	手話	筆談	要約筆記通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	25 1.7	66 4.5	2 0.1	79 5.4	204 13.9	130 8.9	2 0.1	8 0.5	113 7.7	234 16.0
10代	27 100.0	1 3.7	1 3.7	0 0.0	2 7.4	6 22.2	7 25.9	0 0.0	0 0.0	3 11.1	3 11.1
20代	185 100.0	4 2.2	5 2.7	0 0.0	7 3.8	39 21.1	29 15.7	0 0.0	3 1.6	18 9.7	12 6.5
30代	176 100.0	2 1.1	2 1.1	0 0.0	5 2.8	36 20.5	24 13.6	0 0.0	1 0.6	21 11.9	14 8.0
40代	191 100.0	5 2.6	6 3.1	0 0.0	5 2.6	27 14.1	19 9.9	1 0.5	3 1.6	10 5.2	21 11.0
50代	189 100.0	3 1.6	9 4.8	0 0.0	5 2.6	23 12.2	10 5.3	0 0.0	0 0.0	16 8.5	21 11.1
60代	248 100.0	3 1.2	13 5.2	1 0.4	7 2.8	25 10.1	10 4.0	0 0.0	0 0.0	14 5.6	37 14.9
70代	269 100.0	6 2.2	19 7.1	1 0.4	23 8.6	28 10.4	15 5.6	1 0.4	1 0.4	20 7.4	60 22.3
80代以上	170 100.0	1 0.6	11 6.5	0 0.0	25 14.7	19 11.2	16 9.4	0 0.0	0 0.0	11 6.5	61 35.9

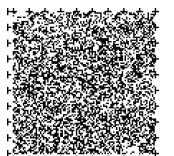


図表 2-89 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27②)

－身体障害種別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
身体障害者総数	914 100.0	506 55.4	95 10.4	293 32.1	5 0.5	1 0.1	14 1.5	17 1.9	7 0.8	11 1.2	10 1.1
視覚	119 100.0	64 53.8	5 4.2	33 27.7	5 4.2	1 0.8	4 3.4	12 10.1	7 5.9	8 6.7	7 5.9
聴覚	133 100.0	63 47.4	19 14.3	47 35.3	0 0.0	0 0.0	3 2.3	1 0.8	0 0.0	1 0.8	0 0.0
平衡機能	28 100.0	12 42.9	1 3.6	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	30 32.3	5 5.4	22 23.7	0 0.0	1 1.1	5 5.4	1 1.1	0 0.0	1 1.1	2 2.2
上肢	175 100.0	82 46.9	14 8.0	47 26.9	0 0.0	0 0.0	3 1.7	1 0.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6
下肢	261 100.0	134 51.3	25 9.6	75 28.7	0 0.0	0 0.0	1 0.4	2 0.8	0 0.0	2 0.8	2 0.8
体幹	105 100.0	38 36.2	10 9.5	28 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9
脳原性運動機能	72 100.0	29 40.3	9 12.5	17 23.6	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	2 2.8
内部障害	259 100.0	177 68.3	31 12.0	92 35.5	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4

	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
身体障害者総数	914 100.0	24 2.6	61 6.7	2 0.2	73 8.0	131 14.3	91 10.0	2 0.2	4 0.4	74 8.1	161 17.6
視覚	119 100.0	0 0.0	2 1.7	0 0.0	5 4.2	17 14.3	5 4.2	1 0.8	1 0.8	12 10.1	21 17.6
聴覚	133 100.0	23 17.3	29 21.8	2 1.5	59 44.4	32 24.1	20 15.0	0 0.0	0 0.0	5 3.8	16 12.0
平衡機能	28 100.0	1 3.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	6 21.4	6 21.4	0 0.0	0 0.0	3 10.7	6 21.4
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	1 1.1	25 26.9	1 1.1	2 2.2	18 19.4	27 29.0	2 2.2	1 1.1	14 15.1	10 10.8
上肢	175 100.0	0 0.0	5 2.9	0 0.0	4 2.3	36 20.6	30 17.1	0 0.0	1 0.6	20 11.4	32 18.3
下肢	261 100.0	0 0.0	3 1.1	0 0.0	6 2.3	41 15.7	36 13.8	0 0.0	1 0.4	24 9.2	55 21.1
体幹	105 100.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	2 1.9	18 17.1	20 19.0	0 0.0	0 0.0	16 15.2	25 23.8
脳原性運動機能	72 100.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4 5.6	19 26.4	23 31.9	0 0.0	0 0.0	11 15.3	9 12.5
内部障害	259 100.0	0 0.0	7 2.7	0 0.0	4 1.5	22 8.5	11 4.2	0 0.0	0 0.0	14 5.4	48 18.5

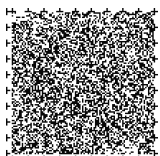


図表 2-90 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27②)

－障害になった時期別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタイズ版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	889 60.8	143 9.8	511 34.9	5 0.3	1 0.1	19 1.3	19 1.3	7 0.5	11 0.8	10 0.7
出生時	261 100.0	126 48.3	16 6.1	71 27.2	0 0.0	0 0.0	4 1.5	5 1.9	1 0.4	2 0.8	2 0.8
～10代	201 100.0	123 61.2	19 9.5	75 37.3	3 1.5	0 0.0	4 2.0	1 0.5	3 1.5	4 2.0	3 1.5
20代・30代	209 100.0	172 82.3	23 11.0	107 51.2	1 0.5	0 0.0	3 1.4	2 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40代・50代	295 100.0	202 68.5	34 11.5	131 44.4	1 0.3	1 0.3	2 0.7	3 1.0	2 0.7	4 1.4	4 1.4
60代以上	356 100.0	193 54.2	41 11.5	92 25.8	0 0.0	0 0.0	5 1.4	8 2.2	1 0.3	1 0.3	1 0.3

	総数	手話	筆談	要約筆記通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	25 1.7	66 4.5	2 0.1	79 5.4	204 13.9	130 8.9	2 0.1	8 0.5	113 7.7	234 16.0
出生時	261 100.0	11 4.2	10 3.8	0 0.0	14 5.4	66 25.3	46 17.6	0 0.0	1 0.4	25 9.6	39 14.9
～10代	201 100.0	10 5.0	14 7.0	1 0.5	15 7.5	42 20.9	31 15.4	0 0.0	2 1.0	21 10.4	19 9.5
20代・30代	209 100.0	0 0.0	4 1.9	0 0.0	3 1.4	16 7.7	10 4.8	0 0.0	2 1.0	17 8.1	12 5.7
40代・50代	295 100.0	2 0.7	14 4.7	1 0.3	11 3.7	33 11.2	14 4.7	1 0.3	1 0.3	21 7.1	41 13.9
60代以上	356 100.0	1 0.3	21 5.9	0 0.0	27 7.6	34 9.6	22 6.2	1 0.3	1 0.3	24 6.7	77 21.6

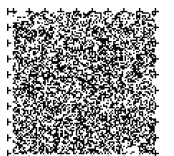


図表 2-91 「家庭」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27②)

—情報入手先別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタイズ版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463	889	143	511	5	1	19	19	7	11	10
	100.0	60.8	9.8	34.9	0.3	0.1	1.3	1.3	0.5	0.8	0.7
家族や友人	834	580	104	364	3	1	13	14	6	9	10
	100.0	69.5	12.5	43.6	0.4	0.1	1.6	1.7	0.7	1.1	1.2
学校や職場、施設の人	383	243	38	161	2	1	5	3	4	7	6
	100.0	63.4	9.9	42.0	0.5	0.3	1.3	0.8	1.0	1.8	1.6
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	59	13	28	4	0	6	2	6	4	6
	100.0	50.4	11.1	23.9	3.4	0.0	5.1	1.7	5.1	3.4	5.1
テレビやラジオ	1054	717	127	432	5	1	17	17	6	9	8
	100.0	68.0	12.0	41.0	0.5	0.1	1.6	1.6	0.6	0.9	0.8
新聞	617	417	101	264	0	1	15	9	1	2	2
	100.0	67.6	16.4	42.8	0.0	0.2	2.4	1.5	0.2	0.3	0.3
区市町村等の広報紙	458	326	93	223	3	1	10	8	4	6	4
	100.0	71.2	20.3	48.7	0.7	0.2	2.2	1.7	0.9	1.3	0.9
障害者団体の会合や機関誌	108	68	21	48	3	0	4	2	2	2	3
	100.0	63.0	19.4	44.4	2.8	0.0	3.7	1.9	1.9	1.9	2.8
インターネット	599	510	78	354	3	1	8	5	3	8	3
	100.0	85.1	13.0	59.1	0.5	0.2	1.3	0.8	0.5	1.3	0.5
SNS	177	160	27	121	1	1	2	1	1	3	0
	100.0	90.4	15.3	68.4	0.6	0.6	1.1	0.6	0.6	1.7	0.0
行政の窓口	88	63	23	44	0	0	2	2	1	2	0
	100.0	71.6	26.1	50.0	0.0	0.0	2.3	2.3	1.1	2.3	0.0
その他	26	13	6	7	1	0	2	0	1	0	1
	100.0	50.0	23.1	26.9	3.8	0.0	7.7	0.0	3.8	0.0	3.8
わからない	29	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	20.7	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463	25	66	2	79	204	130	2	8	113	234
	100.0	1.7	4.5	0.1	5.4	13.9	8.9	0.1	0.5	7.7	16.0
家族や友人	834	18	37	0	48	134	94	2	7	66	61
	100.0	2.2	4.4	0.0	5.8	16.1	11.3	0.2	0.8	7.9	7.3
学校や職場、施設の人	383	7	16	0	19	83	63	1	3	37	29
	100.0	1.8	4.2	0.0	5.0	21.7	16.4	0.3	0.8	9.7	7.6
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	2	6	0	8	24	24	1	0	14	13
	100.0	1.7	5.1	0.0	6.8	20.5	20.5	0.9	0.0	12.0	11.1
テレビやラジオ	1054	14	48	1	65	143	71	2	8	81	126
	100.0	1.3	4.6	0.1	6.2	13.6	6.7	0.2	0.8	7.7	12.0
新聞	617	11	39	1	51	71	39	2	3	44	78
	100.0	1.8	6.3	0.2	8.3	11.5	6.3	0.3	0.5	7.1	12.6
区市町村等の広報紙	458	14	29	1	34	50	33	2	3	43	39
	100.0	3.1	6.3	0.2	7.4	10.9	7.2	0.4	0.7	9.4	8.5
障害者団体の会合や機関誌	108	6	10	1	2	11	13	1	1	8	9
	100.0	5.6	9.3	0.9	1.9	10.2	12.0	0.9	0.9	7.4	8.3
インターネット	599	14	19	1	25	78	37	1	5	34	25
	100.0	2.3	3.2	0.2	4.2	13.0	6.2	0.2	0.8	5.7	4.2
SNS	177	9	12	1	13	31	18	1	4	4	2
	100.0	5.1	6.8	0.6	7.3	17.5	10.2	0.6	2.3	2.3	1.1
行政の窓口	88	1	3	0	6	7	6	0	1	7	9
	100.0	1.1	3.4	0.0	6.8	8.0	6.8	0.0	1.1	8.0	10.2
その他	26	1	5	0	2	3	6	0	0	6	2
	100.0	3.8	19.2	0.0	7.7	11.5	23.1	0.0	0.0	23.1	7.7
わからない	29	0	0	0	1	2	9	0	0	5	10
	100.0	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	31.0	0.0	0.0	17.2	34.5



③ 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段

「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段は、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が 52.3%、次いで「メール」が 23.9%と高い

「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段も、「学校・施設・職場」、「家庭」と同様、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」が 52.3%と最も高く、次いで「メール」が 23.9%となっている。

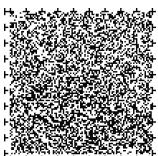
障害別にみると、上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、身体障害者では「手話」、「筆談」、「補聴器・補聴援助機器」を、知的障害者では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」を挙げる人の割合が他の障害に比べて高く、障害によって手段が異なっている。

年代別にみると、「学校・施設・職場」や「家庭」と同様上位に挙げられているものに大きな違いはみられないものの、特に 40 代や 50 代では「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げる人の割合が 7 割、50 代では「メール」が約 3.5 割と他の年代に比べて高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じものの、それ以外については身体障害種別によって違いがみられ、視覚では「点字」、「拡大文字」、「読み上げソフト、アプリ等」、「朗読サービス」が、聴覚では「手話」、「筆談」、「要約筆記通訳や手話通訳」、「補聴器・補聴援助機器」が、音声機能・言語機能・そしゃく機能では「指点字」、「筆談」、「行動（身振り・手振り）」が、脳原性運動機能では「行動（身振り・手振り）」が、他の身体障害種別に比べて高い。

障害になった時期別にみると、「学校・施設・職場」、「家庭」と同様に上位の「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」、「メール」は同じで、特に 20 代・30 代では、8 割以上が「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」を挙げている。それ以外については障害になった時期別によってやや違いがみられ、出生時では「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が、「～10 代」では「点字」、「手話」が、60 代以上では「補聴器・補聴援助機器」が、他の障害になった年代に比べて高い。

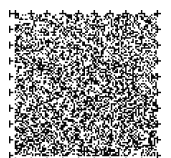
情報入手先別にみると、上位に挙げられているものやそれ以外でも「学校・施設・職場」や「家庭」ほど違いがみられないものの、「学校や職場、施設の人」や「ボランティア、ヘルパーなどの支援者」は「口話・読話」、「行動（身振り・手振り）」が他に比べて高くなっている。



図表 2-92 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕
(Q27③) - 障害別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	765 52.3	31 2.1	349 23.9	4 0.3	2 0.1	12 0.8	17 1.2	2 0.1	6 0.4	4 0.3
身体障害者	914 100.0	430 47.0	16 1.8	196 21.4	4 0.4	2 0.2	10 1.1	15 1.6	1 0.1	5 0.5	3 0.3
知的障害者	362 100.0	134 37.0	1 0.3	56 15.5	0 0.0	0 0.0	2 0.6	1 0.3	0 0.0	2 0.6	1 0.3
精神障害者	241 100.0	130 53.9	4 1.7	66 27.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	4 1.7	0 0.0	3 1.2	1 0.4
自立支援医療受給者	108 100.0	77 71.3	1 0.9	36 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0
難病医療費助成者	316 100.0	225 71.2	13 4.1	101 32.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	2 0.6	2 0.6	0 0.0	1 0.3
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	12 54.5	1 4.5	8 36.4	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達障害と診断	30 100.0	21 70.0	2 6.7	10 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3
高次脳機能障害と診断	25 100.0	9 36.0	0 0.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認知症と診断	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

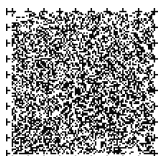
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	20 1.4	67 4.6	5 0.3	70 4.8	175 12.0	101 6.9	5 0.3	13 0.9	108 7.4	381 26.0
身体障害者	914 100.0	19 2.1	63 6.9	5 0.5	66 7.2	112 12.3	75 8.2	4 0.4	6 0.7	72 7.9	256 28.0
知的障害者	362 100.0	2 0.6	8 2.2	0 0.0	11 3.0	56 15.5	33 9.1	0 0.0	3 0.8	46 12.7	106 29.3
精神障害者	241 100.0	2 0.8	9 3.7	0 0.0	5 2.1	29 12.0	12 5.0	1 0.4	2 0.8	19 7.9	67 27.8
自立支援医療受給者	108 100.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	3 2.8	20 18.5	11 10.2	1 0.9	0 0.0	12 11.1	10 9.3
難病医療費助成者	316 100.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	2 0.6	24 7.6	10 3.2	0 0.0	3 0.9	14 4.4	61 19.3
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 9.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	8 36.4
発達障害と診断	30 100.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	3 10.0	5 16.7	2 6.7	0 0.0	0 0.0	4 13.3	2 6.7
高次脳機能障害と診断	25 100.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	5 20.0	8 32.0
認知症と診断	10 100.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0



図表 2-93 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕
(Q27③) - 年代別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指點字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	765 52.3	31 2.1	349 23.9	4 0.3	2 0.1	12 0.8	17 1.2	2 0.1	6 0.4	4 0.3
10代	27 100.0	15 55.6	0 0.0	5 18.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代	185 100.0	106 57.3	3 1.6	45 24.3	1 0.5	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	2 1.1	0 0.0
30代	176 100.0	100 56.8	5 2.8	55 31.3	0 0.0	0 0.0	2 1.1	2 1.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0
40代	191 100.0	133 69.6	4 2.1	59 30.9	0 0.0	1 0.5	4 2.1	4 2.1	1 0.5	2 1.0	0 0.0
50代	189 100.0	134 70.9	2 1.1	67 35.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
60代	248 100.0	140 56.5	7 2.8	66 26.6	1 0.4	0 0.0	2 0.8	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
70代	269 100.0	100 37.2	8 3.0	41 15.2	2 0.7	1 0.4	3 1.1	3 1.1	1 0.4	1 0.4	2 0.7
80代以上	170 100.0	36 21.2	1 0.6	10 5.9	0 0.0	0 0.0	1 0.6	4 2.4	0 0.0	0 0.0	2 1.2

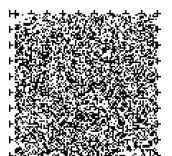
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	20 1.4	67 4.6	5 0.3	70 4.8	175 12.0	101 6.9	5 0.3	13 0.9	108 7.4	381 26.0
10代	27 100.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	2 7.4	6 22.2	5 18.5	0 0.0	0 0.0	3 11.1	3 11.1
20代	185 100.0	2 1.1	4 2.2	0 0.0	9 4.9	28 15.1	19 10.3	1 0.5	3 1.6	19 10.3	32 17.3
30代	176 100.0	3 1.7	6 3.4	1 0.6	4 2.3	31 17.6	15 8.5	0 0.0	2 1.1	20 11.4	29 16.5
40代	191 100.0	5 2.6	11 5.8	2 1.0	4 2.1	26 13.6	20 10.5	2 1.0	2 1.0	13 6.8	28 14.7
50代	189 100.0	3 1.6	6 3.2	0 0.0	5 2.6	21 11.1	9 4.8	0 0.0	2 1.1	13 6.9	29 15.3
60代	248 100.0	4 1.6	13 5.2	0 0.0	7 2.8	23 9.3	7 2.8	1 0.4	2 0.8	14 5.6	66 26.6
70代	269 100.0	3 1.1	17 6.3	2 0.7	18 6.7	26 9.7	12 4.5	0 0.0	2 0.7	13 4.8	110 40.9
80代以上	170 100.0	0 0.0	8 4.7	0 0.0	21 12.4	13 7.6	14 8.2	1 0.6	0 0.0	13 7.6	79 46.5



図表 2-94 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕
(Q27③) - 身体障害種別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
身体障害者総数	914 100.0	430 47.0	16 1.8	196 21.4	4 0.4	2 0.2	10 1.1	15 1.6	1 0.1	5 0.5	3 0.3
視覚	119 100.0	54 45.4	1 0.8	22 18.5	3 2.5	1 0.8	2 1.7	9 7.6	0 0.0	3 2.5	2 1.7
聴覚	133 100.0	52 39.1	4 3.0	32 24.1	0 0.0	0 0.0	5 3.8	2 1.5	0 0.0	1 0.8	0 0.0
平衡機能	28 100.0	8 28.6	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	24 25.8	1 1.1	17 18.3	0 0.0	2 2.2	3 3.2	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0
上肢	175 100.0	67 38.3	3 1.7	31 17.7	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
下肢	261 100.0	115 44.1	2 0.8	49 18.8	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	1 0.4	1 0.4
体幹	105 100.0	34 32.4	2 1.9	13 12.4	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
脳原性運動機能	72 100.0	28 38.9	2 2.8	11 15.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0
内部障害	259 100.0	151 58.3	7 2.7	63 24.3	1 0.4	0 0.0	1 0.4	2 0.8	1 0.4	0 0.0	1 0.4

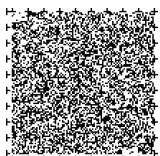
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
身体障害者総数	914 100.0	19 2.1	63 6.9	5 0.5	66 7.2	112 12.3	75 8.2	4 0.4	6 0.7	72 7.9	256 28.0
視覚	119 100.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	3 2.5	14 11.8	5 4.2	2 1.7	1 0.8	12 10.1	36 30.3
聴覚	133 100.0	17 12.8	39 29.3	5 3.8	58 43.6	26 19.5	22 16.5	1 0.8	0 0.0	3 2.3	21 15.8
平衡機能	28 100.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4 14.3	3 10.7	0 0.0	0 0.0	3 10.7	12 42.9
音声機能・言語機能・そしゃく機能	93 100.0	2 2.2	23 24.7	0 0.0	2 2.2	15 16.1	21 22.6	2 2.2	1 1.1	18 19.4	18 19.4
上肢	175 100.0	1 0.6	5 2.9	0 0.0	4 2.3	29 16.6	17 9.7	1 0.6	0 0.0	23 13.1	52 29.7
下肢	261 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.1	33 12.6	20 7.7	1 0.4	2 0.8	27 10.3	85 32.6
体幹	105 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	14 13.3	7 6.7	1 1.0	0 0.0	16 15.2	39 37.1
脳原性運動機能	72 100.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	4 5.6	16 22.2	14 19.4	1 1.4	0 0.0	9 12.5	20 27.8
内部障害	259 100.0	0 0.0	2 0.8	0 0.0	4 1.5	21 8.1	10 3.9	0 0.0	3 1.2	12 4.6	74 28.6



図表 2-95 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕
 (Q27③) - 障害になった時期別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字(てのひら書き)	拡大文字	録音物(デジタル版など)	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463 100.0	765 52.3	31 2.1	349 23.9	4 0.3	2 0.1	12 0.8	17 1.2	2 0.1	6 0.4	4 0.3
出生時	261 100.0	111 42.5	3 1.1	47 18.0	0 0.0	0 0.0	3 1.1	4 1.5	0 0.0	2 0.8	0 0.0
～10代	201 100.0	100 49.8	1 0.5	53 26.4	3 1.5	0 0.0	4 2.0	2 1.0	0 0.0	2 1.0	0 0.0
20代・30代	209 100.0	169 80.9	10 4.8	79 37.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40代・50代	295 100.0	190 64.4	3 1.0	86 29.2	0 0.0	1 0.3	2 0.7	3 1.0	0 0.0	2 0.7	1 0.3
60代以上	356 100.0	140 39.3	10 2.8	58 16.3	1 0.3	1 0.3	2 0.6	5 1.4	1 0.3	0 0.0	3 0.8

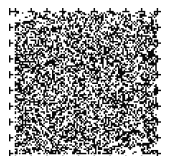
	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動(身振り・手振り)	会話を文字化するアプリ	絵文字(ピクトグラム)	その他	無回答
障害者等総数	1463 100.0	20 1.4	67 4.6	5 0.3	70 4.8	175 12.0	101 6.9	5 0.3	13 0.9	108 7.4	381 26.0
出生時	261 100.0	5 1.9	14 5.4	2 0.8	15 5.7	51 19.5	32 12.3	1 0.4	2 0.8	26 10.0	67 25.7
～10代	201 100.0	10 5.0	18 9.0	2 1.0	14 7.0	32 15.9	21 10.4	1 0.5	2 1.0	26 12.9	39 19.4
20代・30代	209 100.0	1 0.5	3 1.4	0 0.0	3 1.4	23 11.0	11 5.3	0 0.0	1 0.5	10 4.8	21 10.0
40代・50代	295 100.0	3 1.0	13 4.4	1 0.3	8 2.7	26 8.8	10 3.4	2 0.7	4 1.4	22 7.5	55 18.6
60代以上	356 100.0	0 0.0	16 4.5	0 0.0	24 6.7	31 8.7	20 5.6	0 0.0	3 0.8	20 5.6	133 37.4



図表 2-96 「その他の場所（駅やまちなど）」でのコミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕
(Q27③) - 情報入手先別

	総数	携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン	ファックス	メール	点字	指点字	手書き文字（てのひら書き）	拡大文字	録音物（デジタル版など）	読み上げソフト、アプリ等	朗読サービス
障害者等総数	1463	765	31	349	4	2	12	17	2	6	4
	100.0	52.3	2.1	23.9	0.3	0.1	0.8	1.2	0.1	0.4	0.3
家族や友人	834	513	21	248	3	1	9	12	2	6	2
	100.0	61.5	2.5	29.7	0.4	0.1	1.1	1.4	0.2	0.7	0.2
学校や職場、施設の人	383	223	12	121	2	1	5	2	1	4	0
	100.0	58.2	3.1	31.6	0.5	0.3	1.3	0.5	0.3	1.0	0.0
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	48	4	15	2	0	3	2	0	1	0
	100.0	41.0	3.4	12.8	1.7	0.0	2.6	1.7	0.0	0.9	0.0
テレビやラジオ	1054	625	30	292	4	2	9	14	2	4	3
	100.0	59.3	2.8	27.7	0.4	0.2	0.9	1.3	0.2	0.4	0.3
新聞	617	354	22	174	1	2	10	12	2	1	3
	100.0	57.4	3.6	28.2	0.2	0.3	1.6	1.9	0.3	0.2	0.5
区市町村等の広報紙	458	279	21	151	3	2	6	10	1	1	2
	100.0	60.9	4.6	33.0	0.7	0.4	1.3	2.2	0.2	0.2	0.4
障害者団体の会合や機関誌	108	61	3	28	2	0	3	1	1	1	1
	100.0	56.5	2.8	25.9	1.9	0.0	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9
インターネット	599	476	23	254	4	1	7	5	1	4	1
	100.0	79.5	3.8	42.4	0.7	0.2	1.2	0.8	0.2	0.7	0.2
SNS	177	157	10	94	1	1	5	2	0	4	0
	100.0	88.7	5.6	53.1	0.6	0.6	2.8	1.1	0.0	2.3	0.0
行政の窓口	88	56	6	26	0	0	1	4	0	0	0
	100.0	63.6	6.8	29.5	0.0	0.0	1.1	4.5	0.0	0.0	0.0
その他	26	11	0	7	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	42.3	0.0	26.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	29	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	13.8	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	総数	手話	筆談	要約筆記 通訳や手話通訳	補聴器・補聴援助機器	口話・読話	行動（身振り・手振り）	会話を文字化するアプリ	絵文字（ピクトグラム）	その他	無回答
障害者等総数	1463	20	67	5	70	175	101	5	13	108	381
	100.0	1.4	4.6	0.3	4.8	12.0	6.9	0.3	0.9	7.4	26.0
家族や友人	834	11	37	4	44	108	73	3	11	61	156
	100.0	1.3	4.4	0.5	5.3	12.9	8.8	0.4	1.3	7.3	18.7
学校や職場、施設の人	383	6	16	3	19	76	49	2	5	36	59
	100.0	1.6	4.2	0.8	5.0	19.8	12.8	0.5	1.3	9.4	15.4
ボランティア、ヘルパーなどの支援者	117	1	5	0	5	20	19	0	1	12	31
	100.0	0.9	4.3	0.0	4.3	17.1	16.2	0.0	0.9	10.3	26.5
テレビやラジオ	1054	11	47	4	56	126	61	2	11	72	226
	100.0	1.0	4.5	0.4	5.3	12.0	5.8	0.2	1.0	6.8	21.4
新聞	617	11	37	5	46	67	37	2	5	37	144
	100.0	1.8	6.0	0.8	7.5	10.9	6.0	0.3	0.8	6.0	23.3
区市町村等の広報紙	458	11	33	3	31	50	38	1	5	38	86
	100.0	2.4	7.2	0.7	6.8	10.9	8.3	0.2	1.1	8.3	18.8
障害者団体の会合や機関誌	108	3	11	3	2	8	11	1	0	11	23
	100.0	2.8	10.2	2.8	1.9	7.4	10.2	0.9	0.0	10.2	21.3
インターネット	599	12	27	4	27	75	36	3	8	32	53
	100.0	2.0	4.5	0.7	4.5	12.5	6.0	0.5	1.3	5.3	8.8
SNS	177	11	15	3	14	30	23	2	5	6	7
	100.0	6.2	8.5	1.7	7.9	16.9	13.0	1.1	2.8	3.4	4.0
行政の窓口	88	2	6	0	6	9	7	0	3	7	17
	100.0	2.3	6.8	0.0	6.8	10.2	8.0	0.0	3.4	8.0	19.3
その他	26	1	4	0	2	5	4	0	0	3	4
	100.0	3.8	15.4	0.0	7.7	19.2	15.4	0.0	0.0	11.5	15.4
わからない	29	0	0	0	0	1	4	0	0	6	16
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	13.8	0.0	0.0	20.7	55.2



(5) 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮

情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮として、「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」が各2割強と高い

情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮としては、「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」が22.4%、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」が22.2%となっている。一方、「特にない」は23.5%となっている。

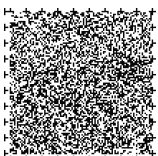
障害別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、身体障害者では「手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい」が、知的障害者では「わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」、「動画などでわかる資料を作成してほしい」が、発達障害と診断されている人では「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい」、「動画などでわかる資料を作成してほしい」が他の障害に比べて高くなっている。

年代別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、10代では「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい」、「動画などでわかる資料を作成してほしい」が、20代では「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい」、「わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」、「動画などでわかる資料を作成してほしい」を挙げる人の割合が高い。

身体障害者の障害種別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、視覚は「それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい」、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」、「パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい」が、聴覚は「問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」、「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい」、「手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい」が、脳原性運動機能は「動画などでわかる資料を作成してほしい」が他の身体障害種別に比べて高い。

障害になった時期別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では、出生時は「わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」、「動画などでわかる資料を作成してほしい」を、20代・30代は「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい」を挙げる割合が他に比べて高い。

仕事の有無別にみると、上位に挙がっているものに大きな違いはみられないものの、「仕事をしている」人は全体的にさまざまな配慮を挙げる割合が高く、特に「問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」、「SNSで発信してほしい」は、他に比べて高い。

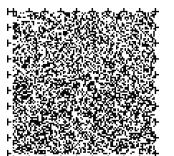


図表 2-97 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで〕(Q28) - 障害別

	総数	それ以外の障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい	誰かが読みやすい文字などを使用してほしい	パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい	問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい	SNS(ツイッター、フェイスブックなど)で発信してほしい	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	文字(ピクトグラム)を使用してほしい	わかりやすい文言・表現・絵成してほしい	動画などでわかる資料を作成してほしい	説明してくれる人がほしい	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	その他	特になし	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	247 16.9	325 22.2	82 5.6	195 13.3	88 6.0	70 4.8	221 15.1	126 8.6	328 22.4	43 2.9	344 23.5	130 8.9	165 11.3				
身体障害者	914 100.0	162 17.7	198 21.7	53 5.8	128 14.0	48 5.3	61 6.7	115 12.6	61 6.7	186 20.4	29 3.2	218 23.9	83 9.1	105 11.5				
知的障害者	362 100.0	44 12.2	95 26.2	16 4.4	26 7.2	12 3.3	9 2.5	93 25.7	48 13.3	116 32.0	8 2.2	53 14.6	50 13.8	35 9.7				
精神障害者	241 100.0	37 15.4	52 21.6	11 4.6	39 16.2	20 8.3	9 3.7	24 10.0	24 10.0	56 23.2	6 2.5	44 18.3	30 12.4	35 14.5				
自立支援医療受給者	108 100.0	17 15.7	24 22.2	4 3.7	23 21.3	12 11.1	5 4.6	19 17.6	17 15.7	47 43.5	4 3.7	26 24.1	9 8.3	1 0.9				
難病医療費助成者	316 100.0	61 19.3	79 25.0	21 6.6	46 14.6	20 6.3	5 1.6	46 14.6	22 7.0	57 18.0	6 1.9	97 30.7	23 7.3	21 6.6				
医療費助成対象外の難病患者	22 100.0	3 13.6	4 18.2	1 4.5	1 4.5	2 9.1	1 4.5	1 4.5	2 9.1	4 18.2	2 9.1	8 36.4	0 0.0	3 13.6				
発達障害と診断	30 100.0	6 20.0	7 23.3	2 6.7	3 10.0	7 23.3	1 3.3	7 23.3	9 30.0	13 43.3	2 6.7	2 6.7	2 6.7	1 3.3				
高次脳機能障害と診断	25 100.0	1 4.0	3 12.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	4 16.0	7 28.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0	4 16.0				
認知症と診断	10 100.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0				

図表 2-98 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで〕(Q28) - 年代別

	総数	それ以外の障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい	誰かが読みやすい文字などを使用してほしい	パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい	問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい	SNS(ツイッター、フェイスブックなど)で発信してほしい	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	文字(ピクトグラム)を使用してほしい	わかりやすい文言・表現・絵成してほしい	動画などでわかる資料を作成してほしい	説明してくれる人がほしい	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	その他	特になし	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	247 16.9	325 22.2	82 5.6	195 13.3	88 6.0	70 4.8	221 15.1	126 8.6	328 22.4	43 2.9	344 23.5	130 8.9	165 11.3				
10代	27 100.0	4 14.8	8 29.6	3 11.1	1 3.7	6 22.2	0 0.0	7 25.9	9 33.3	11 40.7	0 0.0	3 11.1	1 3.7	0 0.0				
20代	185 100.0	35 18.9	45 24.3	11 5.9	25 13.5	21 11.4	6 3.2	58 31.4	35 18.9	67 36.2	7 3.8	28 15.1	15 8.1	7 3.8				
30代	176 100.0	30 17.0	31 17.6	2 1.1	27 15.3	15 8.5	8 4.5	31 17.6	19 10.8	42 23.9	8 4.5	47 26.7	18 10.2	10 5.7				
40代	191 100.0	43 22.5	46 24.1	19 9.9	38 19.9	20 10.5	14 7.3	28 14.7	20 10.5	46 24.1	5 2.6	43 22.5	16 8.4	12 6.3				
50代	189 100.0	42 22.2	45 23.8	13 6.9	32 16.9	16 8.5	8 4.2	22 11.6	17 9.0	36 19.0	10 5.3	41 21.7	15 7.9	14 7.4				
60代	248 100.0	38 15.3	45 18.1	15 6.0	25 10.1	6 2.4	8 3.2	30 12.1	16 6.5	48 19.4	4 1.6	78 31.5	23 9.3	25 10.1				
70代	269 100.0	29 10.8	63 23.4	14 5.2	33 12.3	3 1.1	15 5.6	31 11.5	9 3.3	46 17.1	7 2.6	64 23.8	26 9.7	56 20.8				
80代以上	170 100.0	24 14.1	41 24.1	5 2.9	13 7.6	1 0.6	11 6.5	14 8.2	1 0.6	31 18.2	2 1.2	39 22.9	14 8.2	39 22.9				

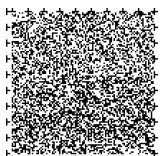


図表 2-99 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで〕(Q28)

	- 身体障害種別													
	総数	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	無回答
身体障害者総数	914 100.0	162 17.7	198 21.7	53 5.8	128 14.0	48 5.3	61 6.7	115 12.6	61 6.7	186 20.4	29 3.2	218 23.9	83 9.1	105 11.5
視覚	119 100.0	47 39.5	37 31.1	13 10.9	7 5.9	4 3.4	2 1.7	12 10.1	3 2.5	32 26.9	4 3.4	20 16.8	9 7.6	13 10.9
聴覚	133 100.0	29 21.8	31 23.3	5 3.8	43 32.3	15 11.3	41 30.8	14 10.5	9 6.8	28 21.1	5 3.8	18 13.5	8 6.0	12 9.0
平衡機能	28 100.0	3 10.7	5 17.9	1 3.6	1 3.6	0 0.0	1 3.6	7 25.0	1 3.6	9 32.1	0 0.0	2 7.1	5 17.9	8 28.6
音声機能・言語機能・そしやく機能	93 100.0	14 15.1	13 14.0	2 2.2	11 11.8	3 3.2	10 10.8	16 17.2	6 6.5	20 21.5	3 3.2	21 22.6	14 15.1	8 8.6
上肢	175 100.0	30 17.1	27 15.4	8 4.6	19 10.9	6 3.4	8 4.6	31 17.7	12 6.9	45 25.7	10 5.7	39 22.3	24 13.7	14 8.0
下肢	261 100.0	37 14.2	53 20.3	16 6.1	29 11.1	9 3.4	7 2.7	37 14.2	12 4.6	53 20.3	12 4.6	63 24.1	35 13.4	32 12.3
体幹	105 100.0	19 18.1	19 18.1	5 4.8	9 8.6	4 3.8	3 2.9	24 22.9	11 10.5	29 27.6	3 2.9	17 16.2	17 16.2	16 15.2
脳原性運動機能	72 100.0	14 19.4	11 15.3	3 4.2	10 13.9	6 8.3	2 2.8	11 15.3	14 19.4	20 27.8	7 9.7	10 13.9	11 15.3	4 5.6
内部障害	259 100.0	32 12.4	55 21.2	11 4.2	29 11.2	14 5.4	6 2.3	26 10.0	15 5.8	43 16.6	6 2.3	82 31.7	18 6.9	33 12.7

図表 2-100 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで〕(Q28)

	- 障害になった時期別													
	総数	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	誰もが読みやすい文字などを使用し てほしい	無回答
障害者等総数	1463 100.0	247 16.9	325 22.2	82 5.6	195 13.3	88 6.0	70 4.8	221 15.1	126 8.6	328 22.4	43 2.9	344 23.5	130 8.9	165 11.3
出生時	261 100.0	46 17.6	60 23.0	11 4.2	30 11.5	20 7.7	14 5.4	70 26.8	45 17.2	92 35.2	12 4.6	26 10.0	24 9.2	29 11.1
~10代	201 100.0	42 20.9	47 23.4	14 7.0	32 15.9	21 10.4	19 9.5	33 16.4	16 8.0	50 24.9	5 2.5	40 19.9	21 10.4	13 6.5
20代・30代	209 100.0	37 17.7	43 20.6	11 5.3	40 19.1	23 11.0	5 2.4	25 12.0	25 12.0	48 23.0	10 4.8	62 29.7	17 8.1	6 2.9
40代・50代	295 100.0	62 21.0	61 20.7	28 9.5	43 14.6	15 5.1	13 4.4	35 11.9	25 8.5	58 19.7	8 2.7	83 28.1	22 7.5	21 7.1
60代以上	356 100.0	47 13.2	92 25.8	16 4.5	39 11.0	5 1.4	17 4.8	45 12.6	8 2.2	61 17.1	6 1.7	92 25.8	31 8.7	61 17.1



図表 2-101 情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで〕(Q28)

－仕事の有無別

	総数	それぞれが読みやすい文字などを使用している （音声、点字、テキストデータなど）を提供してほしい	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい	パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい	問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい	SNS（ツイッター、フェイスブックなど）で発信してほしい	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい	動画などでわかる資料を作成してほしい	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	その他	特になし	わからない	無回答
障害者等総数	1463 100.0	247 16.9	325 22.2	82 5.6	195 13.3	88 6.0	70 4.8	221 15.1	126 8.6	328 22.4	43 2.9	344 23.5	130 8.9	165 11.3
仕事をしている	458 100.0	107 23.4	114 24.9	33 7.2	90 19.7	50 10.9	25 5.5	73 15.9	55 12.0	108 23.6	15 3.3	122 26.6	23 5.0	17 3.7
仕事をしていない	839 100.0	120 14.3	171 20.4	43 5.1	94 11.2	34 4.1	43 5.1	110 13.1	43 5.1	168 20.0	22 2.6	206 24.6	90 10.7	113 13.5
福祉的就労をしている	107 100.0	11 10.3	26 24.3	5 4.7	5 4.7	3 2.8	1 0.9	33 30.8	24 22.4	44 41.1	5 4.7	11 10.3	11 10.3	12 11.2

